DAIKIN

取扱説明書

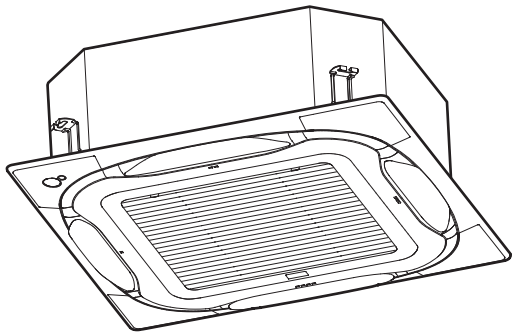
パッケージエアコン

スカイエア

《セパレート形》

天井埋込カセット形
S-ラウンドフロータイプ

二次元バーコードは
製造用コードです。
お客様用のバーコード
ではありません。



室内ユニット

新冷媒R32/R410A対応シリーズ

FHCP40EM	**FHCP80EM**
FHCP45EM	**FHCP112EM**
FHCP50EM	**FHCP140EM**
FHCP56EM	**FHCP160EM**
FHCP63EM	**FHCP63EN**
FHCP71EM	**FHCP80EN**
FHCP40FA	**FHCP80FA**
FHCP45FA	**FHCP112FA**
FHCP50FA	**FHCP140FA**
FHCP56FA	**FHCP160FA**
FHCP63FA	**FHCP63FB**
FHCP71FA	**FHCP80FB**
FHCP40FC	**FHCP80FC**
FHCP45FC	**FHCP112FC**
FHCP50FC	**FHCP140FC**
FHCP56FC	**FHCP160FC**
FHCP63FC	**FHCP63FD**
FHCP71FC	**FHCP80FD**

- このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
  正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
  お読みになったあと、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
  また、お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。
- この取扱説明書は室内ユニット専用ですので、室外ユニットおよびリモコンの取扱説明書をあわせてご覧ください。
  保証書はお買い上げの販売店からお受取りのうえ、大切に保管してください。

ご使用の前に

安全について
必ず守ってください …… 1
ご使用前に
必ずお読みください …… 2
各部の名前と働き …… 2

運転について

運転の特性 …… 3
複数台同時運転の場合 …… 6
上手な使いかた …… 6

お手入れについて

お手入れのしかた
日常のお手入れ …… 7
シーズン初め・終わりのお手入れ …… 10

知っておいてください

調子がおかしいときは …… 11
別売品について …… 15
製品の種類と運転音 …… 15
安全にお使いいただくために …… 16
アフターサービスと保証について …… 17
「ご購入製品の登録」のご案内 …… 18
お客様ご相談窓口 …… 裏表紙

上手に使って上手に節電

安全について　必ず守ってください

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

●ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果につながる可能性が大きいもの。	⚠注意	誤った取扱いにより、軽傷を負う可能性または物的損害の可能性があるもの。状況によっては重大な結果につながる可能性もあります。

●本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。

	絶対にしないでください。		絶対にぬれた手で触れないでください。		絶対に水にぬらさないでください。		必ず指示どおりに行ってください。

⚠警告 使用上の注意事項

●冷媒が漏れたら火気厳禁

室内ユニットに使用されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気にふれると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。
冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。

●吸込口・吹出口や風向羽根のすきまに指や棒などを入れない

ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。

●分解や改造・修理をしない

故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。

●可燃性スプレー(ヘアスプレー・殺虫剤・除菌剤・エアダスターなど)や消臭剤などを本体の近くで使用したり、直接吹きかけない
ベンジン・シンナーで本体をふかない

火災、水漏れ、冷媒漏れ、本体の変形、故障などの原因になります。

●異常時(焦げ臭いなど)は、すぐに運転を停止して電源ブレーカーを遮断する

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠注意 使用上の注意事項

●ぬれた手で操作しない

感電の原因になることがあります。

●エアフィルターを確実に固定する
吸込グリルをツマミ部で確実に固定する

エアフィルター・吸込グリルの落下の原因になることがあります。

●高所作業をするときは足場に気をつける

足場が不安定な場合、落下・転倒によりけがの原因になることがあります。

●エアコンを水洗いしない

漏電によって感電や火災の原因になることがあります。

●お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する

電源を遮断しないと、感電やけがの原因になることがあります。

⚠警告 据付上の注意事項

●据付工事は、自分でしない

据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。

●別売品の取付けは、自分でしない(交換用別売品は除きます)
別売品は当社指定以外のものは使用しない

取付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。(裏表紙参照)

●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。

据付場所について

●室外ユニットはまわりに障害物のない風通しの良いところに設置されていますか？

●次のような場所では使用しないでください。

- ●切削油など鉱物油の立ち込めるところ
- ●調理場など油の飛沫や蒸気の多いところ
- ●海浜地区など塩分の多いところ
- ●温泉地帯など硫化ガスのあるところ
- ●酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
- ●工場など電圧変動の多いところ
- ●車両・船舶への搭載など
- ●電磁波を発生する機械のあるところ

●室外ユニットは防雪対策されていますか？

防雪フードなど、詳細はお買い上げの販売店へご相談ください。

ドレン配管の排水について

●ドレン配管は確実に排水するよう施工されていますか？

冷房運転時、ドレン配管から排水されていない場合は、ドレン配管内でごみ・ホコリなどが詰り、室内ユニットから水が漏れる原因になることがあります。
運転を停止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

運転音にもご配慮を

●次のような場所を選んでいますか？

- ●エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ
- ●室外ユニットの吹出口からの風や運転音が近隣の迷惑にならないようなところ

●室外ユニットの吹出口近くに障害物がありませんか？

風量低下による機能低下や運転音増大・機器の故障の原因になることがあります。

●使用中に異常音がする場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

電気工事について

●電気工事・D種接地工事の施工には資格が必要です。

お買い上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。

●室外ユニットはエアコン専用の回路をご使用ですか？

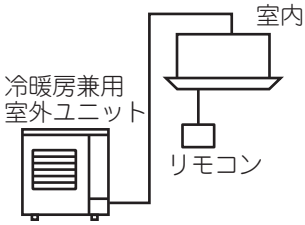
●電源配線が破損した場合、交換には資格が必要です。

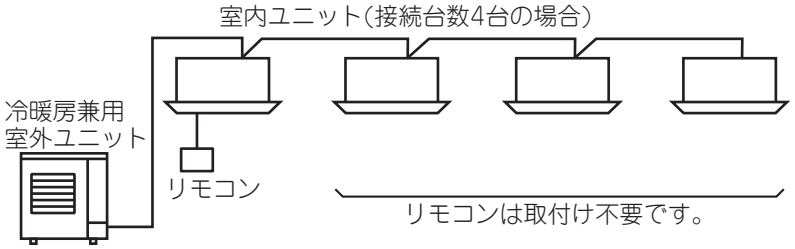
配線の交換は危険を防止するため、お買い上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。

同時運転マルチシステムの説明

本室内ユニットは、次のいずれかのシステムでご使用ください。詳細はお買い上げの販売店にご確認ください。

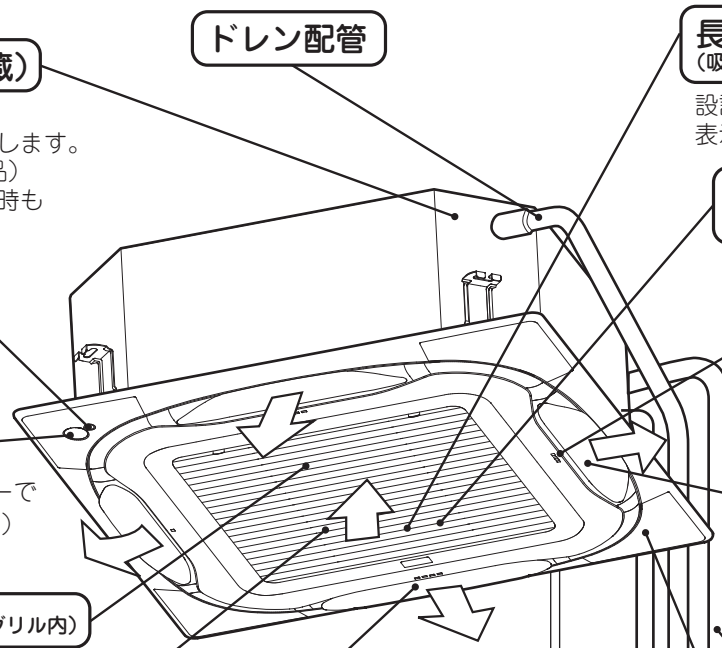
ペアシステムの場合	同時運転マルチシステムの場合
●冷房・暖房・自動・マイコンドライ・除湿冷房・送風運転ができます。	●冷房・暖房・自動・マイコンドライ・除湿冷房・送風運転ができます。





お願い
- **運転操作についてはリモコンの取扱説明書をご覧ください。**
  また、ワイヤレスリモコンをご使用の場合は、ワイヤレスリモコンキットの取扱説明書をご覧ください。
- **同時運転マルチシステムの接続可能な台数については、お買い上げ販売店にご確認ください。**

各部の名前と働き



ドレン排出装置(内蔵)
冷房運転中に取り除かれた室内ユニットの水分を排出します。
※自然蒸発式加湿器(別売品)組込みの場合、暖房運転時も作動します。

ドレン配管

床温度センサー
床面の平均温度を検知します。(※)

人検知センサー
各吹出口に対応したセンサーで人の有無を検知します。(※)

エアフィルター(吸込グリル内)
お手入れのしかたは 7,8 ページをご覧ください。

吸込グリル
お手入れのしかたは 9 ページをご覧ください。

吹出口
リモコンにより風量を自動または5段階に設定できます。

リモコン(別売品)
リモコンの取扱いについては、リモコンの取扱説明書をご覧ください。
システムの構成によってはリモコンが不要な場合があります。
(同時運転マルチシステムの場合)

長期使用製品安全表示銘板
(吸込グリル内)
設計上の標準使用期間などを表示しています。

室内ユニット機種名銘板
(吸込グリル内)
機種名などを表示しています。

吹出口識別マーク
(□、□□、□□□、□□□□)
風向調節はこのマークを目印にしてリモコンで設定します。

風向羽根
リモコンにより上下風向を自動、スイングまたは5段階に設定できます。

冷媒配管

化粧パネル機種名銘板
コーナーカバー内(冷媒配管側)

連絡配線

アース線(注)
(注) 万一の感電・火災防止のため室内ユニットから大地へ電気を逃がす線です。

(※) センシングタイプに装備

運転の特性

冷房運転の特性(冷房・自動冷房運転)

室内温度が低い場合について
- 室内温度が低い状態で冷房運転をした場合、室内ユニット熱交換器に霜が着き冷房能力が低下することがあります。その場合、しばらくの間、除霜運転を自動で行います。
  除霜運転中に溶けた水が飛ぶのを防ぐため、自動でコントロールされた風量(風量「弱」または微風)での運転になります。(リモコンには設定した風量が表示されます。)

外気温が高い場合について
- 外気温度が高い場合、設定温度になるまで時間がかかります。

自動冷房運転について
- 運転モードが「自動」で冷房と暖房の運転モードが切り換わるとき、設定温度も自動で変更します。

ニオイ抑制設定対象機です
- においが気になる場合、室内温度が設定温度に達したときの風量・風向を制限することができます。
  設定方法はリモコンの取扱説明書をご覧ください。

暖房運転の特性(暖房・自動暖房運転)

運転開始について
- 一般的に暖房運転の場合、冷房運転と比べ設定温度になるまで時間がかかります。
  タイマー運転を活用した事前の運転開始をおすすめします。

暖房能力の低下や冷風が吹き出すのを防ぐために次の運転をします。

運転開始時および除霜運転終了後
- お部屋全体を暖める温風循環方式なので、運転を開始してから温まるまで、時間がかかります。
  室内ユニット内部の温度がある程度高くなるまでは、室内ファンは自動で微風運転をします。
  (リモコンには設定した風量が表示されます。)
  そのときリモコンには「除霜／ホットスタート」が表示されます。

除霜運転(室外ユニットの霜取り運転)
- 室外ユニットに霜が着くと暖房能力が下がるため除霜運転に自動で切り換わります。
- 温風が止まり、リモコンに「除霜／ホットスタート」が表示されます。
  ワイヤレスリモコンの場合は、温風が止まり、受光ユニット表示部の除霜ランプが点灯します。
  (リモコンには設定した風量が表示されます。)
- 約6～8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。
- 除霜運転中や除霜運転終了後、暖房運転に切り換わったとき、吹出口から白い霧が出ます。
  (12 ページ参照)
- 特殊な運転のため、「チュルチュル」・「シュー」音などがするときがあります。(12 ページ参照)

外気温度と暖房能力について
- 外気温度が下がるにつれて暖房能力は低下します。このような場合はほかの暖房器具と併用してお使いください。(燃焼器具と併用の場合は、こまめな換気が必要です。)
  室内ユニットの風が直接当たるところで燃焼器具を使わないでください。
- 温風が天井にこもり、足下が寒いときは、サーキュレーター(室内循環ファン)のご使用をおすすめします。
  詳細はお買い上げの販売店にご相談ください。
- 室内温度が設定温度以上になった場合、室外ユニットは停止し、室内ユニットは微風運転になります。
  風向は水平になります。(リモコンには設定した風量が表示されます。)

自動暖房運転について
- 運転モードが「自動」で暖房と冷房の運転モードが切り換わるとき、設定温度も自動で変更します。

マイコンドライ運転・除湿冷房運転の特性

- ドライまたは除湿冷房のどちらかがリモコンに表示されます。
  除湿冷房は対応機種のみリモコンで表示されます。
- マイコンドライ運転は室内温度を下げずに湿度を下げる運転を行うため、運転ボタンを押したときの室内温度が設定温度になります。そのとき風量・温度を自動で設定するため、リモコンには風量・設定温度の表示はされません。室内温度と湿度を下げたいときは、冷房運転で室内温度を下げてからマイコンドライ運転をしてください。
  室内温度が下がった場合、室内ユニットの風が止まることがあります。
- 除湿冷房運転は、設定した温度と除湿レベルに応じて最適な除湿を行います。
  風量を自動で設定するため、リモコンには風量の表示はされません。
- 除湿冷房運転時は、除湿を優先するため設定温度よりも室温が下がる場合があります。
- 再熱除湿方式ではありません。
- 室内温度が低い状態でマイコンドライ運転または除湿冷房運転をした場合、室内ユニット熱交換器に霜が着くことがあります。
  その場合、しばらくの間、除霜運転を自動で行います。温度が上がるのを防ぐため、自動でコントロールされた風量(風量「弱」または微風)での運転になります。

エコ全自動運転の特性(センサー付パネル取付け時)

人検知センサーと床温度センサーにより人の有無と床温度を検知し、風量・風向を自動でコントロールすることで快適性と省エネ性を両立した運転を行います。
エコ全自動運転をする場合は、リモコンでメニューよりサーキュレーション気流(本ページ下参照)の設定を「無効」にしてから、風量・風向をそれぞれ「自動」に設定してください。
(サーキュレーション気流の設定方法については、リモコンの取扱説明書をご覧ください。)
- 風量はリモコンの設定温度と室内温度の差に応じて自動で5段階にきめ細かくコントロールします。
- 床温度センサーにより人付近温度を精度よく検知し、ムダな運転を防止し快適な運転を行います。
  (冷房時の足元の冷やしすぎの防止、暖房時の快適な足元暖房を行います。)

センサー部について

- 人検知センサー:各吹出口に対応したセンサーで人の有無を検知します。

ご注意
- **人検知センサーは熱の移動を検知しているため、連続的に高温の物体が移動する場合、「人が在室」と検知する場合があります。(例:動物の移動、赤外線ヒーターの首振り運転など)**
- **背を向けていたり、肌の露出が少ない場合、「人がいない」と検知する場合があります。**

- 床温度センサー:床面の平均温度を検知します。

ご注意
- **局所的な温度が室内温度と極端に異なる場合、室内温度の判定に影響が出る場合があります。(例:床暖房設置箇所、高温発熱機器設置箇所など)**

風向調節の内容と働き

風向調節は各吹出口ごとに個別に設定ができます。

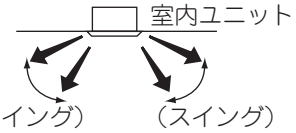
- 吹出口識別マーク(2 ページ参照)を確認してからリモコンで設定を行ってください。
  (詳細はリモコンの取扱説明書をご覧ください。)
- 停止中は吹出口の風向羽根を閉じます。

風向調節には次の4とおりがあります。

(停止中は吹出口の風向羽根を閉じます。)

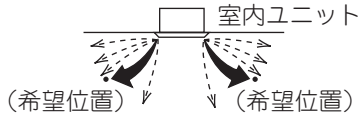
風向スイング

風向を自動で
上下させます。



風向固定

5段階に風向を
固定することができます。



風向自動

以下のように風向を自動でコントロールします。

●エコパネル(標準タイプ)使用時
室内吸込温度センサーにより風向を自動でコントロールします。
- 暖房時、吸込温度が低いと下吹きに自動でコントロールします。

●エコパネル(センシングタイプ)使用時
人検知センサーと床温度センサーおよび室内吸込温度センサーにより風向を自動でコントロールします。
- 人に直接風を当てないようにコントロールします。
- 暖房時、床面温度が低いと下吹きに自動でコントロールします。

サーキュレーション気流

運転開始時に水平吹きと下吹き(暖房時)、スイング(冷暖時)を交互に繰り返します。温度や時間で機器が自動判定し、通常の風量・風向自動運転に切り換わります。
サーキュレーション気流にするには、リモコンで風量・風向をそれぞれ「自動」に設定してください。
リモコンでメニューよりサーキュレーション気流の設定を「有効」にしてください。
(本機能は初期状態で設定が「有効」になります。サーキュレーション気流の設定方法については、リモコンの取扱説明書をご覧ください。)

風向羽根の動きについて

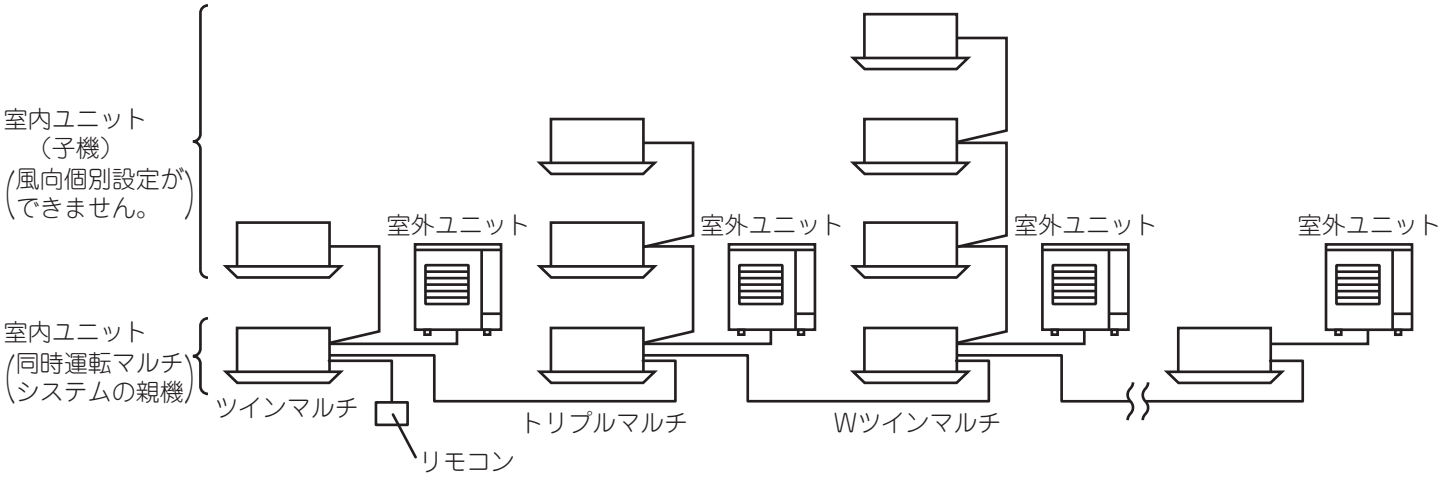
- エコ全自動運転、風向自動運転・サーキュレーション気流の場合は風向は表示されません。
- 下記運転状態のときは風向を自動でコントロールするので、リモコンの表示とは異なる場合があります。

運転状態	上下風向
暖房 自動暖房	●設定温度より室内温度が高いとき (直接風が体に当たらないように、水平吹出しとなります。) ●暖房運転開始時、除霜運転時(室外ユニットに霜が着いたとき) (直接風が体に当たらないように、水平吹出しとなります。)
冷房 自動冷房 マイコンドライ 除湿冷房	●水平吹出しの状態で連続運転したとき (風向羽根に結露しないように一定の間、風向を自動でコントロールします。)

ご注意

●同時運転マルチシステム(ツインマルチ、トリプルマルチ、Wツインマルチ)をグループ制御する場合、子機の風向個別設定ができません。

グループ制御の例

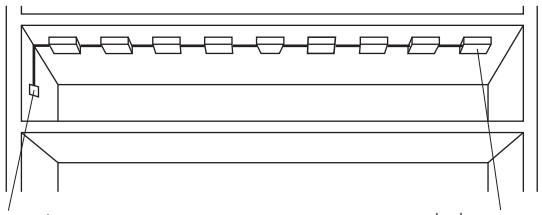
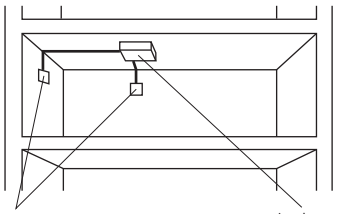


内部クリーン運転の特性

- ●冷房運転・マイコンドライ運転・除湿冷房運転を一定時間運転したのち停止すると、自動で室内ユニット内部(熱交換器)の洗浄と乾燥を行います。
- ●本機能動作中はリモコンの運転ランプは消えますが、基本画面に「内部クリーン中」が表示されます。運転ボタンを押すと運転ランプが緑色に点灯し、内部クリーン運転は解除されます。
- ●本機能はリモコンのメニューから「有効」・「無効」の設定が可能です。詳しくはリモコンの取扱説明書をご覧ください。
- ●本機能動作中は風が当たる場合があります。
- ●本機能動作中は室温が上昇または低下する場合があります。
- ●本機能は、付着したホコリを完全に取り除く機能ではありません。
- ●数時間(最大10時間)後、自動で内部クリーン運転を停止します。(運転状況によって時間は異なります。)
- ●本機能動作後の冷房運転開始時に、室内から大きな音が鳴る場合があります。

複数台同時運転の場合

複数台の室内ユニットを同時に運転できるシステムになっている場合

1つのリモコンでグループ制御	2リモコン制御
●1つのリモコンで最大16台まで運転操作できます。 ●各室内ユニットはそれぞれの吸込温度センサーでリモコンの設定温度に個別制御します。	2つのリモコンから1台(グループ制御の場合は1グループ)の室内ユニットを運転操作できます。
	

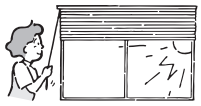
お願い

●グループ制御・2リモコン制御についての組合わせや設定については、必ずお買い上げの販売店にご確認ください。
●グループ制御・2リモコン制御についての組合わせや設定を変更される場合はご自分でなさらずに、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

上手な使いかた

●冷房中は直射日光を入れるのはやめましょう

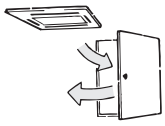
窓にはカーテンかブラインドをつけてください。



禁止

●ドアや窓を開けたままにするのはやめましょう

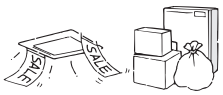
運転効率が悪くなります。



禁止

●吹出口・吸込口の近くにものを置くのはやめましょう

能力が低下、または運転が停止することがあります。



禁止

●冷やし過ぎ・暖め過ぎに注意しましょう

電気のムダ使いになります。

●エアフィルターはこまめに清掃しましょう

汚れたまま運転すると能力の低下・水漏れ、または故障の原因になることがあります。

7,8 ページ参照

●テレビ・ラジオ・ステレオなどは室内ユニットやリモコンから1m以上離しましょう

映像が乱れたり、雑音が入る場合があります。

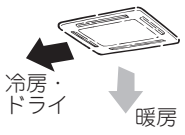
●長時間使用しないときは電源ブレーカーを遮断しましょう

電源ブレーカーが入っていると、数ワット～数十ワットの電力(※1)を消費するためです。
ただし、機械保護のため、運転するときは必ず6時間以上前に電源を入れてください。
(※2)

(※1) 停止中の消費電力は、室外ユニットの機種により異なります。
(※2) 設定は、電源ブレーカーを遮断する前の状態を記憶しています。(タイマー設定は消去されます。)

●風向調節・風向自動運転を上手に使いましょう

冷たい空気は下に、暖かい空気は上にたまります。
風向は、冷房・ドライ・除湿冷房時は水平に、暖房時は下向きをおすすめします。
風向自動運転は室内温度に応じて風向を自動で調節します。



●タイマー運転を有効に使いましょう

室内温度が設定温度になるまで時間がかかります。タイマー運転を活用し、事前に運転を開始してください。

お手入れのしかた

⚠警告

●可燃性スプレー(ヘアスプレー・殺虫剤・除菌剤・エアダスターなど)や消臭剤などを本体の近くで使用したり、直接吹きかけない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
火災、水漏れ、冷媒漏れ、本体の変形、故障などの原因になります。

禁止

⚠注意

●エアコンを水洗いしない
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。

水ぬれ禁止

●お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する
電源を遮断しないと、感電やけがの原因になることがあります。

●エアフィルターを確実に固定する
吸込グリルをツマミ部で確実に固定する
エアフィルター・吸込グリルの落下の原因になることがあります。

●高所作業をするときは足場に気をつける
足場が不安定な場合、落下・転倒によりけがの原因になることがあります。

お願い
●清掃時以外は、エアフィルターを外さないでください。故障の原因になることがあります。
●吸込口に正規のエアフィルター以外のもの(キッチンペーパーなど)を取り付けないでください。性能が低下し、凍結・水漏れの原因になることがあります。

日常のお手入れ

※本内容はエコパネル・標準パネル・オイルガードフィルター専用パネルの場合の説明になります。上記以外のパネルの場合は、該当パネルの取扱説明書をご覧ください。

エアフィルターの清掃のしかた①

リモコンに「フィルターのお手入れ時期です」または、「フィルターお手入れ」が表示されたら、清掃してください。(※1)

●一定時間運転すると表示されます。

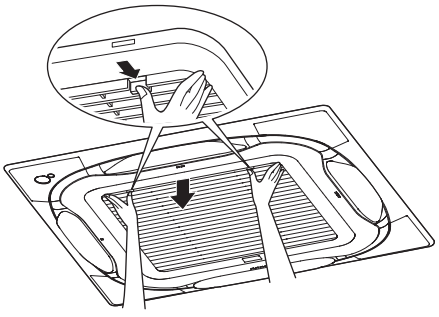
お願い
●表示されるまでの時間を変更することができます。汚れの多いところで使用される場合はお買い上げの販売店へご依頼ください。

汚れ	表示されるまでの時間
標準	2500時間(1年相当)
多い場合	1250時間(半年相当)

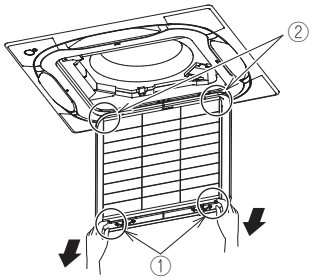
●汚れが取れなくなりましたらエアフィルターを交換してください。
(交換用ロングライフフィルターは別売品です。)

15 ページ参照

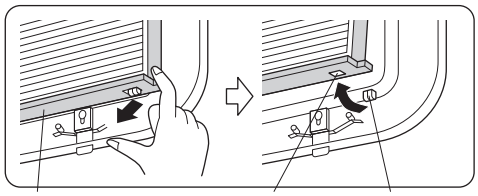
1.吸込グリルを開けます。
ツマミ部2ヵ所を押しながらゆっくりおろしてください。



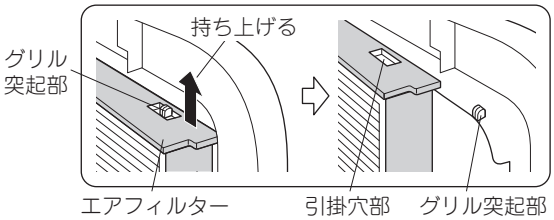
2.エアフィルターを取り出します。
次の順番で作業をしてください。



①エアフィルターの端部を斜め下に引いてグリル突起部からエアフィルターの引掛穴部を外してください。(左右共)



②エアフィルターを持ち上げてグリル上部の突起部からエアフィルターの引掛穴部を外してください。(左右共)



(次ページに続きます。)

エアフィルターの清掃のしかた②

3.清掃します。

汚れは電気掃除機または水洗いで清掃してください。

汚れがひどい場合、柔らかいブラシや中性洗剤を使って洗ってください。

水切り後、日陰で乾かしてください。

お願い

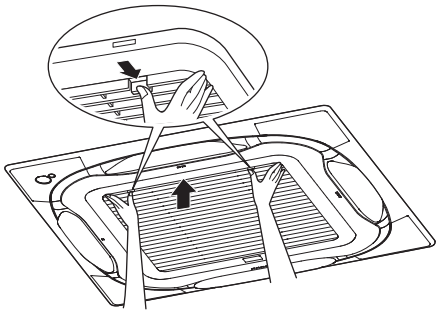
- **50℃以上のお湯で洗わないでください。変色や変形の原因になることがあります。**
- **乾燥させる場合は火であぶらないでください。燃える原因になることがあります。**
- **ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。**

4.エアフィルターを取り付けます。

2と逆の手順で取り付けてください。

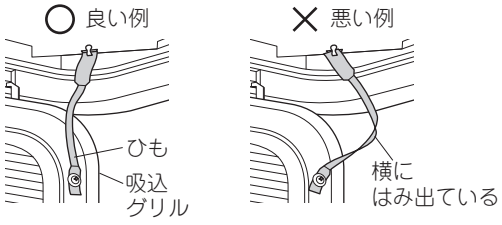
5.吸込グリルを閉めます。

吸込グリルをゆっくり押し上げ、最後に2ヵ所のツマミ部を押しながら、化粧パネルに確実に固定してください。



お願い

- **吸込グリルを閉めるとき、ひもをはさみ込むおそれがあります。閉める前にひもが吸込グリルの横からはみ出していないことを確認してください。**



6.リモコンの「フィルターのお手入れ時期です」または、「フィルターお手入れ」の表示を消します。

- リモコンのメインメニューより フィルターサインリセットを行ってください。（運転中と停止中のどちらの状態でも表示を消すことができます。）

詳細はリモコンの取扱説明書をご覧ください。（※1）

（※1）ワイヤレスリモコンの場合は、ワイヤレスリモコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

吹出口・外装・リモコンの清掃のしかた

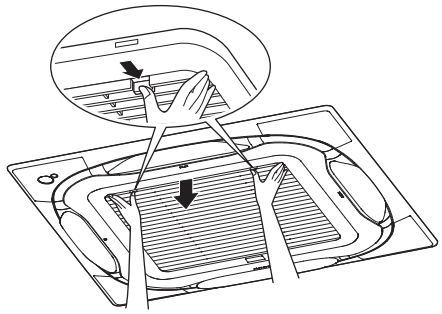
- 柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れが取れないときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたしてよく絞り汚れをふき取ったあと、乾いた布でからぶきしてください。

お願い

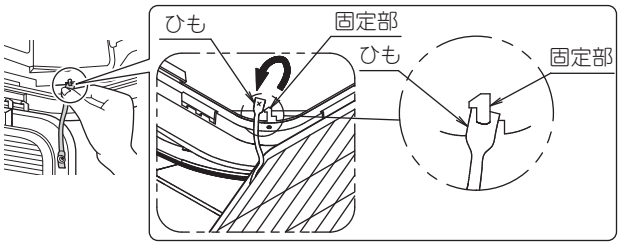
- **ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。**
- **50℃以上のお湯を使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。**
- **パネルセンサー部の表面に傷をつけないでください。センサーが正しく検知しなくなることがあります。（センシングタイプをご使用の場合）**

吸込グリルの清掃のしかた

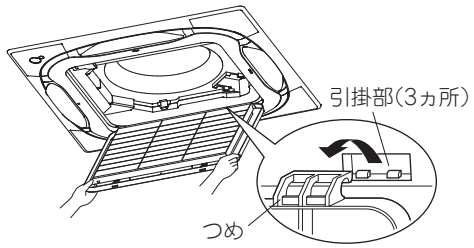
1.吸込グリルを開けます。
ツマミ部2ヵ所を押しながらゆっくりおろしてください。



2.吸込グリルのひもを外します。
化粧パネルの固定部に引っ掛けているひもを
取り外してください。(2ヵ所)



3.吸込グリルを取り外します。
吸込グリルを約45°開いた状態にし、持ち上げ、
引掛部から外してください。(3ヵ所)



4.エアフィルターを取り出します。
エアフィルターの清掃のしかた①の
2(7ページ)を参照してください。

5.清掃します。
水か中性洗剤で
柔らかいブラシを使って洗い、
水切りしたあと乾いた布で
水をふきとってください。

汚れがひどい場合

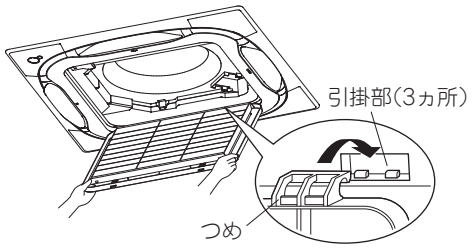
- 換気扇・レンジなどの洗剤を直接吹き付け、
  10分くらいそのままにします。
  その後、水でよく洗い流してください。

お願い

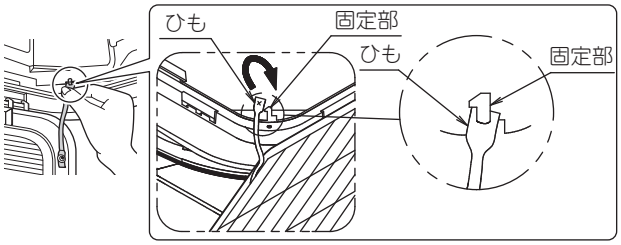
- **50℃以上のお湯で洗わないでください。
  変色や変形の原因になることがあります。**
- **乾燥させる場合は火であぶらないでください。
  燃える原因になることがあります。**
- **ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・
  市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。
  変色や変形の原因になることがあります。**

6.エアフィルターを取り付けます。
エアフィルターの清掃のしかた②の
4(8ページ)を参照してください。

7.吸込グリルを取り付けます。
吸込グリルを約45°開いた状態にし、
引掛部に引っ掛けてください。(3ヵ所)



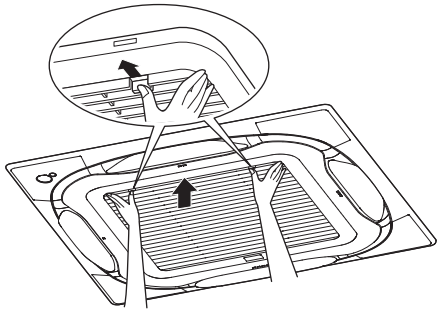
8.吸込グリルのひもを取り付けます。
吸込グリルのひもをパネル固定部に引っ掛けて
取り付けてください。(2ヵ所)



お願い

- **吸込グリルを閉めるとき、
  ひもをはさみ込むおそれがあります。
  閉める前にひもが吸込グリルの横から
  はみ出していないことを確認してください。**

9.吸込グリルを閉めます。
吸込グリルをゆっくり押し上げ、
最後に2ヵ所のツマミ部を押しながら、
化粧パネルに確実に固定してください。



シーズン初め・終わりのお手入れ

シーズン初め

確認してください。

- 室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？
  障害物がある場合は取り除いてください。
  障害物は風量低下による機能低下や運転音増大・機器の故障の原因になることがあります。

エアフィルターと外装を清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。（清掃のしかたは 7,8 ページ参照）
- 別売品のエアフィルターの取付方法・取外方法や清掃のしかたは別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。
- エアフィルターを確実に固定してください。
  吸込グリルのツマミ部で確実に固定してください。
- 清掃後は、電源を入れてリモコンのメインメニューよりフィルターサインリセットを実行してください。

6時間以上前に電源ブレーカーを入れてください。

- 機械保護のためと、始動を円滑にするためです。
- 電源ブレーカーを入れると、リモコン表示部に文字が表示されます。

電源ブレーカー投入後、6時間以内の暖房運転について

- 機種シリーズによっては、機器保護のため下記運転動作を行う場合があります。
  電源ブレーカー投入後、6時間以内に暖房運転をした場合、機器保護のために室内ファンは約10分間停止後に運転します。
  上記運転は据付け時のみでなく、電源ブレーカーをOFF/ONするごとに行います。
  暖房運転をスムーズに開始するために、暖房シーズン中は電源ブレーカーを遮断しないことをおすすめします。

シーズン終わり

晴れた日に半日ほど送風運転をし、内部をよく乾燥させてください。

- カビなどの発生を防止するためです。

電源ブレーカーを遮断してください。

- 電源ブレーカーが入っているときは、数ワット～数十ワットの電力を消費します。
  節電のためにも電源を遮断してください。
- 電源ブレーカーが遮断されると、リモコン表示部の文字が消えます。

エアフィルターと外装を清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。（清掃のしかたは 7,8 ページ参照）
- 別売品のエアフィルターの取付方法・取外方法や清掃のしかたは別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。
- エアフィルターを確実に固定してください。
  吸込グリルのツマミ部で確実に固定してください。

お願い

- **室内ユニットを数シーズンご使用になると内部の熱交換器やドレンパンが汚れ、性能低下や水漏れなどの原因になることがあります。**
  内部清掃には専門の技術が必要ですので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

調子がおかしいときは

次の場合は、故障ではありません。

●電源ブレーカー投入後、6時間以内の暖房運転について

機種シリーズによっては、機器保護のため下記運転動作を行う場合があります。
電源ブレーカー投入後、6時間以内に暖房運転をした場合、機器保護のために室内ファンは約10分間停止後に運転します。
上記運転は据付け時のみでなく、電源ブレーカーをOFF/ONするごとに行います。
暖房運転をスムーズに開始するために、暖房シーズン中は電源ブレーカーを遮断しないことをおすすめします。

症状		原因	確認内容
運転しない	停止後、すぐに運転したとき	機械に無理がかからないようにコントロールしているためです。	リモコンの運転ランプが点灯していれば正常です。 3分後に運転を自動で開始します。
	温度調節を行って、すぐ元の設定に戻したとき		リモコンの運転ランプが点灯していれば正常です。
	操作ボタンを押すとリモコンに「集中管理中このリモコンからは操作できません」または「集中管理されています。このリモコンからは操作できません。」と表示されたとき	集中機器により、コントロールされているためです。	そのリモコンで操作できないことを示します。
	電源ブレーカーを入れ6時間以内に暖房運転をしたとき	機器保護のためです。 （本ページ上参照）	約10分間停止後に室内ファンは運転します。 （6時間以上前に電源ブレーカーを入れてください。）
	室外ユニットが停止	室内温度が設定温度に達しているためです。 室内ユニットは送風運転を続けます。	〈冷房運転時〉 設定温度を下げてください。 〈暖房運転時〉 設定温度を上げてください。 しばらくして運転開始すれば正常です。
	リモコンに「除霜/ホットスタート」が表示され、風が止まる	室外ユニットに霜が着くと暖房能力が下がるので、除霜運転を自動でしているためです。	約6～8分（最長10分）で、元の運転に戻ります。
ときどき止まる	リモコンに「U4」・「U5」が表示され、停止するが数分で運転を再開する	室内ユニット以外の機器からの電気雑音（ノイズ）によりユニット間の通信が遮断されて停止しているためです。	電気雑音（ノイズ）がなくなると運転を自動で再開します。
運転し続ける	冷房・除湿冷房またはマイコンドライ運転を停止しても運転し続ける	内部クリーン運転をしているためです。 内部クリーン運転は途中で停止することもできます。（お好みに合わないときは、リモコンで内部クリーン運転の設定を「無効」にしてください。） 詳しくはリモコンの取扱説明書をご覧ください。	リモコンの基本画面に「内部クリーン中」と表示されていれば正常です。 内部クリーン運転の機能の有無については、カタログをご覧ください。 内部クリーン運転については、リモコンの取扱説明書をご覧ください。
風量が設定どおりにならない	風量調節を行っても風量が変わらない	〈冷房運転時〉溶けた水が飛ぶのを防ぐため、風量「弱」または微風運転になることがあります。	しばらくすると、風量を変えることができます。 （マイコンドライ運転または除湿冷房運転は風量設定できません。）
		〈暖房運転時〉室内温度が設定温度に達したときは室外ユニットは停止し、室内ユニットは微風運転になります。 風量が変わるまでに時間がかかります。 また、除霜運転中の場合、直接風が当たらないよう室内ユニットのファンは停止します。	設定温度を上げてください。 しばらくすると風量が変わります。 （3 ページ参照）

次の場合は、故障ではありません。

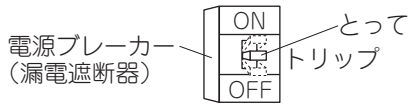
症状		原因	確認内容
風向が設定どおりにならないまたはリモコンの表示と異なる	リモコンにスイングが表示されているが風向羽根がスイングしない	〈暖房運転時〉運転開始直後や設定温度より室内温度が高いときに直接風が当たらないように風向を水平にコントロールしているためです。	しばらくするとスイングします。 （4 ページ参照）
	リモコンの風向表示と風向羽根の動きが異なる	〈冷房・マイコンドライまたは除湿冷房運転時〉 水平吹出しに設定された場合は風向羽根が結露しないように一定の時間表示と異なる風向にするためです。	しばらくすると設定の風向になります。 （4 ページ参照）
		〈暖房運転時〉運転開始直後や設定温度より室内温度が高いときに直接風が当たらないように風向を水平にコントロールしているためです。	
風向羽根が閉じない	運転停止しても風向羽根が閉じない	室内ユニットのファンが止まってから風向羽根が閉じるためです。	しばらくすると風向羽根が閉じます。
白い霧が出る	冷房時、湿度が高いとき（油分やホコリの多い場所）	室内ユニット内部の汚れがひどい場合に、温度ムラが生じるためです。（※1）	使用環境を確認してください。
	除霜運転中および除霜運転終了後の暖房運転に切り換わったとき	霜が溶け、湯気となって出てくるためです。	リモコンに「除霜/ホットスタート」の表示が出ていれば除霜運転中です。
音が出る	運転開始直後の「ジーン」という音	風向羽根を動かす電動機が始動している音です。	1分くらいで音が小さくなります。
	冷房時や除霜時の「シュー」というかすかな連続音や除霜時の「チュルチュル」という音	エアコン内部にガス（冷媒）が流れている音です。	－
	運転開始・停止直後、除霜開始・停止直後の「シュー」という音	ガス（冷媒）の流れが止まる音または流れが変わる音です。 暖房運転時は自動で除霜運転に切り換わりリモコンに「除霜/ホットスタート」が表示されます。	約6～8分（最長10分）で、元の運転に戻ります。
	運転中や停止後の「シャー」「ジュルジュル」というかすかな連続音	ドレン排出装置が作動している音です。（※2）	－
	運転中と運転停止後の「ピシピシ」というキシミ音	樹脂部品が温度変化により伸縮するためです。	－
ホコリが出る	長時間運転停止したあと、ふたたび運転を始めるとき	室内ユニット内部に付着したホコリが吹き出るためです。	ホコリがひどい場合は内部の洗浄が必要です。（※1）
においが出る	運転中	部屋のにおい・たばこのにおいなどが室内ユニット内部で吸着されて吹き出すためです。	においが気になる場合、「ニオイ抑制設定」ができます。設定方法はリモコンの取扱説明書をご覧ください。
よく冷えない	マイコンドライ運転または除湿冷房運転中	室内温度をできるだけ下げずに湿度を下げる運転をするためです。	冷房運転で室内温度を下げてからマイコンドライ運転または除湿冷房運転をしてください。 （3 ページ参照）

●冷房運転の特性・暖房運転の特性・マイコンドライ運転・除湿冷房運転の特性（3 ページ）をご覧ください。

（※1）室内ユニットの内部の洗浄が必要です。室内ユニット内部の洗浄は、お客様自身では行わず、必ずお買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご相談ください。

（※2）●冷房運転中に取り除かれた室内の水分を排出します。
●加湿器（別売品）が組み込まれている場合は暖房運転時も排出します。

サービスを依頼される前にお調べください。

症状	原因	処置
まったく運転しない	電源ブレーカーが遮断されていませんか？	●電源ブレーカーのとってがOFF位置の場合は、電源を入れてください。 ●電源ブレーカーのとってがトリップ位置の場合は、電源を入れないでお買い上げの販売店にご連絡ください。 
	停電ではありませんか？	停電復帰後、再運転してください。
運転するがすぐに止まる	室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？ ※停止中は吹出口の風向羽根は閉じます。	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰りしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。 エアフィルターの目詰りは風の流れを悪くし、冷房や暖房能力が低下し電気のムダ使いになります。また、吹出口などに結露する原因になることがあります。 （7,8 ページ参照）
	運転時、風向羽根が開いていますか？	お買い上げの販売店にご連絡ください。
よく冷えない、よく暖まらない	運転時、風向羽根が開いていますか？	お買い上げの販売店にご連絡ください。
	室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？ ※停止中は吹出口の風向羽根は閉じます。	障害物を取り除いてください。 障害物がある場合、風量低下や吹き出した風を吸い込み、能力低下や機器の故障の原因になることがあります。 電気のムダ使いにもなり、運転音増大や機器が停止する原因になることがあります。
	エアフィルターが目詰りしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。 エアフィルターの目詰りは風の流れを悪くし、冷房や暖房能力が低下し電気のムダ使いになります。また、吹出口などに結露する原因になることがあります。 （7,8 ページ参照）
	デマンドモード・節電設定になっていませんか？	デマンドモード・節電設定を解除してください。
	設定温度は適正ですか？	室温が設定温度になるとサーモオフし送風運転を行います。この際、風量を弱める場合があります。効きが悪いと感じる場合は設定温度の変更をおすすめします。
	設定風量が「弱」になっていませんか？	適正な風量・吹出風向に設定してください。
	風の吹出方向は適正ですか？	
	窓や扉が開いていませんか？	窓や扉をしっかり閉めてください。
	換気扇を運転されていませんか？	−
〔冷房時〕	直射日光が入っていませんか？	窓にカーテン・ブラインドをつけてください。
〔冷房時〕	在室人員が多すぎませんか？	−
〔冷房時〕	室内に熱源(OA機器など)が多すぎませんか？	
〔暖房時〕	リモコンに「除霜/ホットスタート」が表示されていませんか？	除霜中はファンが停止します。 約6～8分(最長10分)で元の運転に戻ります。

サービスを依頼される前にお調べください。

症状	原因	処置
運転/停止ボタンを押さないのに運転・停止した	入切タイマー運転または不在時停止機能を有効にしていませんか？ (不在時停止機能についてはリモコンの取扱説明書をご覧ください)	有効/無効設定で 無効 にしてください。 (リモコンの取扱説明書をご覧ください。)
	遠方制御機器を接続していませんか？	停止を指示した集中管理室などへ連絡・確認をしてください。
	集中管理中の表示が点灯していませんか？	
	停電自動復帰を設定していませんか？	運転/停止ボタンを押して停止してください。
	高温みまもりモードを設定していませんか？	有効/無効設定で 無効 にしてください。 (リモコンの取扱説明書をご覧ください。)

以上のことをお調べになったうえで、なお調子が良くないときはご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店にご相談ください。
このとき、症状と機種名(保証書またはリモコンでの確認(詳細はリモコンの取扱説明書をご覧ください)または吸込グリル内の室内ユニット機種名銘板・冷媒配管側コーナーカバー内の化粧パネル機種名銘板(2 ページ参照)に記載)をお知らせください。

次の場合は販売店へご連絡ください。

⚠警告

●異常時(焦げ臭いなど)は、すぐに運転を停止して電源ブレーカーを遮断する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご連絡ください。

症状	次の処置をしてから連絡を
電源ブレーカー・漏電遮断器などの安全装置が作動する。	電源を遮断してください。
運転スイッチの作動が不確実。	電源を遮断してください。
エアコンから水が漏れる。	運転を停止してください。

別売品について

エアコンの機能を幅広くご利用いただけるように、専用部品を用意しております。
ご入用のときには弊社純正品とご指定ください。ただし同時組込みできないものがあります。
詳細はお買い上げの販売店にお問合わせください。

⚠警告

●別売品の取付けは、自分でしない（交換用別売品は除きます）
別売品は当社指定以外のものは使用しない
取付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。（裏表紙参照）

禁止

交換用別売品
●交換用ロングライフフィルター ……汚れが取れなくなったとき、交換してください。

別売品
●自然蒸発式加湿器……室内を適当な湿度に保ち、快適な暖房運転ができます。
●空気清浄ユニット……高効率電気集塵エレメントにより、室内からタバコの煙やホコリを取り除きます。
●ストリーマ除菌ユニット ……ストリーマ放電によりウィルス・菌を強力に除去します。
●ストリーマ脱臭ユニット ……ストリーマ放電により悪臭成分を分解し、いやな臭いを取り除きます。
●超ロングライフフィルター ……メンテナンス期間を標準のフィルターより延長します。
●高性能フィルター……捕集しにくい微細なチリやホコリを捕集し、空気を高度な清浄度に保ちます。

製品の種類と運転音

項目＼機種		FHCP40EM FHCP40FA FHCP40FC	FHCP45EM FHCP45FA FHCP45FC	FHCP50EM FHCP50FA FHCP50FC	FHCP56EM FHCP56FA FHCP56FC	FHCP63EM FHCP63FA FHCP63FC FHCP63EN FHCP63FB FHCP63FD	FHCP71EM FHCP71FA FHCP71FC
種類	機能	冷暖房兼用形					
	ユニット構成	分離形					
	凝縮器の冷却方式	空冷式					
	送風方式	直接吹出形					
	定格冷房標準能力(kW)	3.6	4.0	4.5	5.0	5.6	6.3
	定格暖房標準能力(kW)	4.0	4.5	5.0	5.6	6.3	7.1
運転音（dB）	音響パワーレベル（急/強/弱）	48/47/45	48/47/45	48/47/45	49/48/46	50/49/46	51/49/46

項目＼機種		FHCP80EN FHCP80FB FHCP80FD	FHCP80EM FHCP80FA FHCP80FC	FHCP112EM FHCP112FA FHCP112FC	FHCP140EM FHCP140FA FHCP140FC	FHCP160EM FHCP160FA FHCP160FC
種類	機能	冷暖房兼用形				
	ユニット構成	分離形				
	凝縮器の冷却方式	空冷式				
	送風方式	直接吹出形				
	定格冷房標準能力(kW)	7.1	7.1	10.0	12.5	14.0
	定格暖房標準能力(kW)	8.0	8.0	11.2	14.0	16.0
運転音（dB）	音響パワーレベル（急/強/弱）	52/50/46	58/51/46	61/56/50	62/58/52	62/58/54

（注）●音響パワーレベルはJIS B 8616：2015に準拠した値です。
●この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。
●能力はJIS B 8616：2015に定める試験条件のもとの値です。

●本機は業務用エアコンです。
「点検周期」および「保全周期」の一覧にしたがい適切な保全行為を行ってください。（17 ページ表1参照）

●家庭用として設計上の標準使用期間を超えて使用する場合は、お買い上げの販売店に点検を依頼してください。
設計上の標準使用期間は長期使用製品安全表示銘板に表示しています。
（銘板位置は 2 ページ参照）
設計上の標準使用期間についての詳細は下記をご覧ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

■本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を行っています。

※【設計上の標準使用期間】　10 年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

※設計上の標準使用期間とは

●運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件下での経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。製造年は室内ユニットの機種名銘板の中に西暦4桁で表示してあります。
●設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件　JIS C 9921-3による

	項　　目	規　　定
環境条件	電源電圧	単相200V または三相200V
	周波数	50/60Hz
	冷房室内温度	27 ℃(乾球温度)
	冷房室内湿度	47%(湿球温度19 ℃)
	冷房室外温度	35 ℃(乾球温度)
	冷房室外湿度	40%(湿球温度24 ℃)
	暖房室内温度	20 ℃(乾球温度)
	暖房室内湿度	59%(湿球温度15 ℃)
	暖房室外温度	7 ℃(乾球温度)
	暖房室外湿度	87%(湿球温度6 ℃)
	設置条件	製品の据付説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋，南向き和室，居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋(畳数)
想定時間	1年当たりの使用日数	東京モデル 冷房：6月2日から9月21日までの112日間 暖房：10月28日から4月14日までの169日間
	1日当たりの使用時間	冷房：9時間／日 暖房：7時間／日
	1年間の使用時間	冷房：1,008時間／年 暖房：1,183時間／年

●設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

アフターサービスと保証について

アフターサービスについて

⚠警告

●分解や改造・修理をしない

故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、
故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●冷媒が漏れたら火気厳禁

室内ユニットに使用されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、
ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気にふれると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。
冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことを
サービスマンに確認のうえ、運転してください。

禁止

フロンについて

本機に使用される冷媒種、およびGWP(地球温暖化係数)は
下表になります。

種類	冷媒番号	GWP
HFC	R32	675
HFC	R410A	2090

本機が接続されているシステムの冷媒種は、室外ユニットに表示されています。
地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄する場合にはフロン類の回収が必要です。

この表示はエアコンに温暖化ガス
(フロン類)が封入されていることを、
ご認識いただくための表示です。

■修理を依頼されるときは次のことをお知らせください。

- ●機種名
- ●製造番号と据付年月日

} 保証書に記載してあります。

- ●故障状況 ── できるだけ詳しく(リモコンの表示内容もお知らせください。)
- ●ご住所・お名前・お電話番号

■無料修理保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
当社は、この室内ユニットの補修用性能部品を製造打切り後10年間保有しています。

■保守点検契約のおすすめ

室内ユニットを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能低下や水漏れの原因になることがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。

■点検と保全周期の目安について

[保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

表1は次の使用条件が前提となります。
①頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
(機種により異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。)
②製品の運転時間は、10時間／日、2500時間／年としています。

●表1.「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期[交換または修理]
圧縮機	1 年	20,000時間
電動機(ファン・ルーバー・ドレンポンプ用など)		20,000時間
空気清浄ユニット		8 年
プリント基板類		25,000時間
熱交換器		5 年
電子膨張弁		20,000時間

主要部品名	点検周期	保全周期[交換または修理]
バルブ(電磁弁・四方弁など)	1 年	20,000時間
センサー(サーミスタ・圧力センサーなど)		5 年
ドレンパン(※)		8 年
リモコンおよびスイッチ類		25,000時間
ファン		室外:10年、室内:13年

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。
適切な保全設計(保守点検費用の予算化など)のためにお役立てください。
また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
注3. 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件(運転時間が長い、発停頻度が高いなど)や使用環境(高温・多湿など)がきびしくなると短縮する必要があります。
※建築物衛生法(旧ビル管理法)の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。
ドレンパンに付属の抗菌剤(銀イオン)に含まれる成分が析出し排水経路に付着することがあります。

詳細は、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

■消耗部品の交換周期目安について

[交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

●表2.「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1 年	5 年
高性能フィルター		1 年
ヒューズ		10年

主要部品名	点検周期	交換周期
クランクケースヒーター	1 年	8 年
自然蒸発式加湿器(※)		3 年
ドレンパン抗菌剤(銀イオン)		8 年

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。
適切な保全設計(部品交換費用の予算化など)のためにお役立てください。
注3. 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件(運転時間が長い、発停頻度が高いなど)や使用環境(高温・多湿など)がきびしくなると消耗期間が短くなる場合があります。
※建築物衛生法(旧ビル管理法)の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。

詳細は、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。
なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となることがありますのでご注意ください。

■移設および廃棄などについて

転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

●この製品を廃棄またはリサイクル(部品や材料の再利用)する場合には「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・再生または破壊・書面管理が義務付けられています。
●この製品を移動・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・再生または破壊が義務付けられています。
いずれの場合も、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
●製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。

■ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

保証書について

●この製品には保証書がついています。
保証書は、お買い上げの販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、エアコンを管理している方が大切に保管してください。

保証期間…据付日から1年

詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間内に無料修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご連絡のうえ、修理のときは「保証書」を必ずご提示ください。
ご提示のない場合は、無料修理保証期間中であってもサービス料をいただくことがありますので、保証書は大切に保管してください。

「ご購入製品の登録」のご案内

製品を安心・便利にご使用いただくために
当社会員制サイト「CLUB DAIKIN」へのご登録をお願いします。
詳しくはこちら ⟶ https://club.ac.daikin.co.jp/
※登録には製品の機種名銘板に記載の機種名、製造番号が必要です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

お客様ご相談窓口

商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問合わせは下記の ご購入店 へご連絡ください。

ご購入店名	TEL	据付年月日　　年　　月　　日

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。
電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

WEBから

■よくあるご質問、取扱説明書をご覧いただけます。
■簡単・便利に修理依頼、リモコン・フィルターなどのご購入ができます。

ダイキンコンタクトセンター　検索

https://www.daikincc.com

WEB受付の流れ：修理依頼内容を入力 → ご訪問日の確認・登録 → 受付完了メールが届く → ご訪問

QRコードからもアクセスできます。

24時間365日、安心つながる。

お客さま総合窓口 **コンタクトセンター**

お電話から（フリーダイヤル）0120-88-1081　FAXから（フリーダイヤル）0120-07-0881

非通知設定の方は、最初に186をダイヤルいただき発信番号の通知をお願いしております。

1907

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

工事責任者様へ

据付工事後に下記項目の確認を行い、チェック欄に印を記入してください。
記入後、引き渡し時にお客様に渡して頂くようお願いします

据付工事完了報告

区分	確　認　内　容	チェック欄
据付け	室外ユニットは吹出口正面から強風が吹きつけないよう設置し、基礎にボルトで確実に固定しました	
据付け	室内・室外ユニットを、吹出口・吸込口の前に障害物がなく、通風が十分に確保できる場所に設置しました	
配線	電気配線は途中で継ぎ足さないように工事し、誤配線やゆるみ、固定忘れがないことを確認しました	
配線	アース工事を実施しました	
配線	接続するユニットに応じた、適切な遮断容量の漏電遮断器(高調波対応品)を施設しました	
配管	閉鎖弁は液側・ガス側共に全開にしました	
配管	配管ろう付けを行った場合、リン銅ろうを使用し、窒素置換を行ってから実施しました	
配管	気密試験を実施し、配管工事箇所から漏れがないことを確認しました	
配管・配線	ユニット内への小動物の侵入や水の浸入を防止するため、冷媒配管や電気配線の貫通部を養生しました	
配管・配線	複数のユニットを併設設置した場合、個別に動作させて誤配線や誤配管がないことを確認しました	
断熱	冷媒配管やドレン配管が露出しないよう、確実に断熱しました	
冷媒充てん	真空引きを実施したあと、冷媒配管長さおよびサイズに応じた冷媒量を封入しました 充てん量・接続配管長さおよびサイズなどを、室外ユニットの注意銘板に記入しました	
ドレン	ドレンは配管の接続箇所で漏れがなく、スムーズに排水されていることを確認しました	
その他	保守点検・修理作業が行えるよう、サービススペースの確保を実施しました	
その他	その他、据付説明書を確認したうえで、確実に工事・設定・確認を実施しました	

工事責任者

ダイキン工業株式会社
本　　社　大阪府大阪市北区梅田一丁目13番1号　大阪梅田ツインタワーズ・サウス
郵便番号　530-0001

3P420398-4K　M19A045E　(2309)　FS

二次元バーコードは製造用コードです。
お客様用のバーコードではありません。

DAIKIN

取扱説明書

二次元バーコードは
製造用コードです。
お客様用のバーコード
ではありません。

パッケージエアコン 新冷媒(R32)シリーズ

スカイエア

空冷ヒートポンプエアコン
≪セパレート形≫

- このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
  正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
  お読みになったあと、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
  また、お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。
- この取扱説明書は室外ユニット専用ですので、室内ユニット付属の取扱説明書をあわせてご覧ください。

室外ユニット

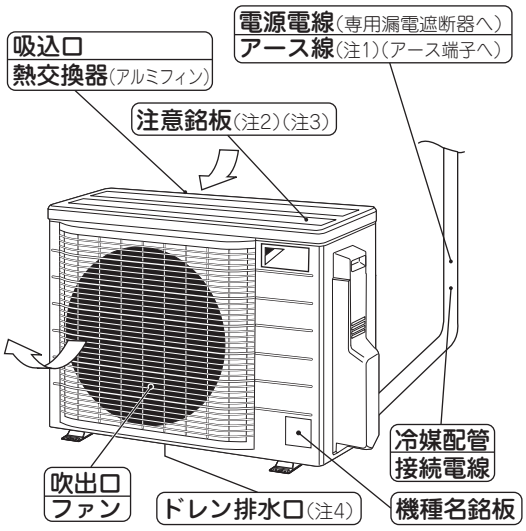
FIVE STAR ZEAS 冷暖房兼用形

RSRP40BYV(E)(H) **RSRP40BYT(E)(H)**
RSRP45BYV(E)(H) **RSRP45BYT(E)(H)**
RSRP50BYV(E)(H) **RSRP50BYT(E)(H)**
RSRP56BYV(E)(H) **RSRP56BYT(E)(H)**
RSRP63BYV(E)(H) **RSRP63BYT(E)(H)**

Eco ZEAS 冷暖房兼用形

RZRP40BYV(E)(H) **RZRP40BYT(E)(H)**
RZRP45BYV(E)(H) **RZRP45BYT(E)(H)**
RZRP50BYV(E)(H) **RZRP50BYT(E)(H)**
RZRP56BYV(E)(H) **RZRP56BYT(E)(H)**
RZRP63BYV(E)(H) **RZRP63BYT(E)(H)**
RZRP80BYV(E)(H) **RZRP80BYT(E)(H)**

各部の名前と働き



(注1) アース線は、万一の感電・火災防止のため室外ユニットから大地へ電気を逃がす線です。
(注2) 工場出荷時の冷媒量と使用している冷媒のGWP(地球温暖化係数)が記載されています。
(注3) 据付状態により追加充てんまたは再充てんされた冷媒量が記載されています。
(注4) 暖房運転時、室外ユニットから出た水を排出します。(底面後方)

安全について　必ず守ってください

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

●ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果につながる可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いにより、軽傷を負う可能性または物的損害の可能性があるもの。 状況によっては重大な結果につながる可能性もあります。

●本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。

絶対にしないでください。	必ず指示どおりに行ってください。	必ずアース工事をしてください。

⚠警告 使用上の注意事項

●吸込口や吹出口に指や棒などを入れない
ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。
禁止

●分解や改造・修理をしない
故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。
禁止

●移動・再設置は、自分でしない
据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。
禁止

●可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
引火・ひび割れの原因になります。
禁止

●電源ブレーカーでエアコンの運転や停止をしない
火災や水漏れの原因になります。
また、停電補償が有効に設定されている場合、ファンが突然回り、けがの原因になります。
禁止

●調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属性のホコリのある場所では使用しない
火災や故障の原因になります。
禁止

●別売品の取付けは、自分でしない
別売品は当社指定以外のものは使用しない
取付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。
(4 ページ参照)
禁止

●異常時(焦げ臭いなど)は、すぐに運転を停止して電源ブレーカーを遮断する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご連絡ください。

●洪水・台風などでエアコンが水没したときは、すぐに電源ブレーカーを遮断し、お買い上げの販売店に相談する
運転をすると、故障や感電・火災などの原因になります。

●室内・室外ユニット内部の洗浄はお客様自身で行わず、必ずお買い上げの販売店に依頼する
誤った方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水漏れなどの原因になります。
また、洗浄剤が電気部品や電動機にかかると故障や発煙・発火の原因になります。

⚠注意 使用上の注意事項

●室外ユニットの吹出口を取り外さない
高速で回転するファンにより、けがの原因になることがあります。
禁止

●室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない
落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。
禁止

●動植物に直接風を当てない
動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。
禁止

●室内・室外ユニットの吸込口・吹出口やアルミフィンにさわらない
けがの原因になることがあります。
禁止

●室内・室外ユニットの真下や近くにぬれて困るものは置かない
運転条件によっては、本体や冷媒配管への結露・エアフィルターの汚れ・ドレン出口の詰りで水が滴下し、家財などをぬらす原因になることがあります。
禁止

●吹出口の近くにスプレー缶などを置かない
室内・室外ユニットからの温風によりスプレー缶などが爆発するおそれがあります。
禁止

●吸込口や吹出口をふさがない
能力低下や故障の原因になることがあります。
禁止

●本体やリモコンで遊ばせない
誤った操作による体調悪化や健康障害の原因になることがあります。
禁止

●室外ユニットの周辺に、物を置いたり、落ち葉をためない
落ち葉などから侵入した小動物が、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。
禁止

●焦げ臭い場合や、お手入れ、点検時以外は電源ブレーカーを遮断しない(床置形の室内ユニットを接続する場合)
冷媒の漏洩を検知できなくなります。
禁止

●高圧洗浄機などを用いた室外ユニットの洗浄を行わない
アルミフィンの変形・能力低下の原因になることがあります。
また、電気部品や電動機にかかると故障や発煙・発火の原因になることがあります。
禁止

●お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する
電源を遮断しないと、感電やけがの原因になることがあります。

●長期間使用しないときは、電源ブレーカーを遮断する(床置形の室内ユニットを接続する場合を除く)
ホコリがたまって発熱・発火の原因になることがあります。

⚠警告 据付上の注意事項

●据付工事は、自分でしない
据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。
(4 ページ参照)
禁止

●調理用油や機械油など油成分が浮遊している場所では使用しない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。
禁止

●冷凍サイクル内に指定冷媒以外やプロパンなどの可燃性物質を入れない
冷凍サイクル内が異常高圧になり、爆発・火災・けがなどの原因になります。
指定冷媒以外が封入・混入された場合に発生した故障・誤作動などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。
禁止

●アース工事を行う
アースが不完全な場合は、感電や火災の原因になります。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
アース線を接続せよ

●指定の漏電遮断器を取り付ける
取り付けないと感電や火災の原因になります。

●電源は必ずエアコン専用の電源を使用する
専用以外の電源を使用すると発熱・火災・故障の原因になります。

⚠注意 据付上の注意事項

●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは設置しない
万一、ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。
禁止

●長期使用などで傷んだ据付台を使用しない
傷んだ状態で放置すると室内・室外ユニットの落下につながり、けがなどの原因になることがあります。
禁止

●ドレン配管は、確実に排水できるように施工する
不備があると、屋内に水漏れし、汚れや故障の原因になることがあります。

据付けについて（必ずお読みください）

据付場所について

●まわりに障害物のない、風通しの良いところに設置されていますか？
●次のような場所では使用しないでください。
- ●調理油や鉱物油など油成分が浮遊しているところ
- ●調理室など油煙の多いところ
- ●海浜地区など塩分の多いところ
- ●温泉地帯など腐食性ガスのあるところ
- ●酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
- ●工場など電圧変動の多いところ
- ●車両・船舶など振動の影響を受けるところ
- ●電磁波を発生する機械のあるところ
- ●可燃性ガスの漏れるおそれのあるところ
- ●カーボン繊維や引火性粉塵の浮遊するところ
- ●シンナー・ガソリンなど揮発性引火物を取り扱うところ
- ●落ち葉が堆積するところや雑草が生い茂るところ
- ●小動物のすみかになるようなところ

●テレビ・ラジオ・ステレオなどは室外ユニットや電源配線・連絡配線から1.5m以上離してください。
映像が乱れたり、雑音が入ったりすることがあります。

●積雪が予想される地域では、室外ユニットの吸込口・吹出口や底フレーム下部が雪で閉塞するおそれがありますので、次のような対策を実施してください。
- ●降雪・積雪・落雪で埋まらないよう、室外ユニットを架台の上に設置し、底フレームが予想される雪面より500mm以上高くなるようにする。
- ●防雪フード(別売品)・雪除けの屋根および囲い(現地調達品)などを取り付ける。
- ●雪が後部フィンなどにたまらないように、防雪フード(別売品)を取り付ける。
- ●雪が吹きだまる場所への設置は避ける。

●除霜運転時に出るドレンが凍結するおそれがありますので、次のような対策を実施してください。
- ●室外ユニットの底フレームの下面に氷が成長しないように、室外ユニットの底フレームが予想される雪面より十分な高さに据え付ける。(500mm以上空けることを推奨)
- ●底フレーム内でドレンが凍結しないよう、ドレンパンヒータ(別売品)を使用する。
- ●集中ドレンプラグ(別売品)を使用しない。(ドレンプラグやドレン管を使用すると凍結するおそれがあります。)
- ●ドレンが滴下して問題がある場合には、室外ユニットの下方に屋根を設けるなどの対策をする。

電気工事について

●電気工事・D種接地工事の施工には資格が必要です。
お買い上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。
●エアコン専用の回路をご使用ですか？
専用以外の回路を使用すると、発熱・火災・故障などの原因になります。
●電源配線が破損した場合、交換には資格が必要です。
配線の交換は危険を防止するため、お買い上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。

ドレン配管の排水について

●室内ユニットのドレン配管は確実に排水するよう施工されていますか？
冷房運転時、ドレン配管から排水されていない場合は、ドレン配管内でごみ・ホコリなどが詰り、室内ユニットから水が漏れる原因になることがあります。
運転を停止して、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

運転音にもご配慮を

●次のような場所を選んでいますか？
- ●エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ
- ●室外ユニットの吹出口からの風や運転音が近隣の迷惑にならないようなところ

●室外ユニットの吹出口近くに障害物がありませんか？
風量低下による機能低下や運転音増大・機器の故障の原因になります。
●使用中に異常音がする場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

据付け時のご注意

●冷凍サイクル内に指定冷媒以外やプロパンなどの可燃性物質を混入させないでください。
指定冷媒は室外ユニット前板に表示されていますのでご確認ください。

据付け後のご注意

●室外ユニットの吸込口・吹出口を閉鎖してしまうと、リモコンにエラーコード(E3・E4・L4・L8など)が表示される場合があります。このような場合には、吸込口・吹出口に物を置いたり、載せたりして、閉鎖していないかご確認ください。

⚠警告	**●冷凍サイクル内に指定冷媒以外やプロパンなどの可燃性物質を入れない** 冷凍サイクル内が異常高圧になり、爆発・火災・けがなどの原因になります。 指定冷媒以外が封入・混入された場合に発生した故障・誤作動などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。

調子がおかしいときは

症状	次の処置をしてから連絡を
電源ブレーカー・漏電遮断器などの安全装置が作動する	電源を入れないでください。
運転ボタンの作動が不確実	電源を遮断してください。

お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご連絡ください。

次の場合は、故障ではありません。

症状		原因
白い霧が出る	除霜運転中および除霜終了後、暖房運転に切り換わったとき	霜が溶け、湯気となるためです。
ドレンが出る	暖房運転中	空気中に含まれる水分が室外ユニット熱交換器で結露するためです。
	除霜運転中	暖房運転中に室外ユニット熱交換器に着いた霜が溶けるためです。
室外ユニット内部が熱い	停止中	これは機械の始動を円滑にするため、圧縮機を温めているためです。
室外ユニットの圧縮機や室外ファンが止まらない	運転停止後	油や冷媒が滞留するのを防ぐためです。 約5～10分間で停止します。
室外ファンが止まる	運転中	製品の運転を最適な状態にするためにファンの回転数を制御しているためです。
音が出る	除霜開始・終了直後	冷媒の流れが止まる音、および流れが変わる音です。

別売品について

エアコンの機能を幅広くご利用いただけるように、専用部品を用意しております。ご入用のときには弊社純正品とご指定ください。
また、機種により装着できる別売品が異なります。詳細はお買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

防雪フード …… 降雪地域でも雪の影響を受けにくくします。
防護ネット …… 頑丈な鉄製ネットで室外ユニットの吸込口と吹出口をガードし、人が直接触れないようにします。
背面保護金網 …… 室外ユニットの熱交換器フィンからガードします。人が近づくおそれのある場所では、設置することを推奨します。
上吹出ガイド …… 室外ユニットの吹出方向を真上に変え、人に直接吹出口からの風が当たらないようにします。
風向調整板 …… 風の吹出方向に障害物がある場合などに、風向を上方向または下方向に変更することができます。
集中ドレンプラグ …… エアコンの排水を1ヵ所に集合させることができます。
デマンドアダプター …… デマンド運転・低騒音運転の設定が行えます。
ドレンパンヒーター …… 室外ユニットの底フレーム上に組み込み、室外ユニットに吹き込む雪を溶かす熱源として使用します。
防風板 …… 台風やビル風などの強風が吹出側正面から連続的に吹きつける場所で、低回転時のファン逆回転を防止し、ファンを保護します。
内外配線2線化キット …… 室外-室内ユニット間の連絡配線を3線式から2線式に変更することができます。

省エネ・快適機能・冷房専用設定について

「高顕熱モード」・「夜間自動静音モード」・「冷房専用設定」などの機能があります。詳細は、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

安全にお使いいただくために

●本機は業務用エアコンです。
室内ユニットの取扱説明書に記載の「点検周期」と「保全周期」の一覧にしたがい適切な保全行為を行ってください。
●家庭用として設計上の標準使用期間(10年)を超えて使用する場合は、お買い上げの販売店に点検を依頼してください。
設計上の標準使用期間についての詳細は室内ユニットの取扱説明書をご覧ください。

自動運転について

冷房時には「オートエコレッシュ機能」により、湿度を検知しながら快適湿度に近づけます。(一部の室内ユニット接続時に限ります。)
また、リモコンで自動運転に設定すると、省エネ運転のため室内ユニットの風量が自動で変化することがあります。

製品の種類と運転音

(音響パワーレベル：PWL)

		RSRP～(E)(H)・RZRP～(E)(H)					RZRP～(E)(H)
		40BYV 40BYT	45BYV 45BYT	50BYV 50BYT	56BYV 56BYT	63BYV 63BYT	80BYV 80BYT
種　類		機能：冷暖房兼用形　凝縮器の冷却方式：空冷式　ユニット構成：分離形　送風方式：直接吹出形					
PWL運転音 (dB)	冷房	63		63	64	67	68
	暖房	66		67	67	68	69

(注) ●音響パワーレベル(PWL)は、JIS B 8616：2015(パッケージエアコンディショナ)の附属書Dの騒音試験方法に基づいています。
●この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。

(音圧レベル：SPL)

		RSRP～(E)(H)・RZRP～(E)(H)		RSRP～(E)(H)	RZRP～(E)(H)	RSRP～(E)(H)・RZRP～(E)(H)		RZRP～(E)(H)
		40BYV 40BYT	45BYV 45BYT	50BYV 50BYT	50BYV 50BYT	56BYV 56BYT	63BYV 63BYT	80BYV 80BYT
SPL運転音 (dB)	冷房	42		42	45	43	46	48
	暖房	45		46	47	46	47	51

(注) ●音圧レベル(SPL)は、本体前方1m、高さ1.5mの位置における測定値を無響室換算したときの値です。
実際に据え付けた状態で測定すると周囲の騒音や反射を受け、表示値より大きくなるのが普通です。
●この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。

＜使用条件＞※右表は室外ユニットの吸込口空気温度を示します。
正しく使っていただくために、右表の条件で運転してください。
右表の条件外で運転すると、安全装置が働き運転しない場合があります。

	冷房	暖房
RSRP40～63BY・RZRP40～80BY	−15～50℃	−25～21℃

移設および廃棄などについて (必ずお読みください)

●転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、あらかじめお買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
●エアコンを再設置する場合は(3)の「据付けについて」を必ず確認してください。
●この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。
・この製品を廃棄またはリサイクル(部品や材料の再利用)する場合には「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。
・この製品を移動・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊が義務付けられています。
いずれの場合も、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
●製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。

フロン排出抑制法　第一種特定製品

(1)フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
(2)この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
右記の冷媒初期充てん量の数値は、工場出荷時の値であり、実際の冷媒量は据付状態や機種により異なります。
詳細の数値は室外ユニット天板に表示されていますので確認してください。
(3)冷媒が未回収の機器を引渡してはいけません。

(4)フロン類の種類・冷媒番号・地球温暖化係数(GWP)および冷媒初期充てん量

種類	冷媒番号	地球温暖化係数(GWP)	冷媒初期充てん量(kg)
HFC	R32	675	RZRP40～50形：1.00kg RSRP40～63形：1.35kg RZRP56・63形：1.35kg RZRP80形：1.70kg

フロンの見える化

アフターサービスと保証について

●無料修理保証期間経過後の修理について
お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

●補修用性能部品の保有期間について
当社は、このエアコンの補修用性能部品を製造打切後10年間保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

●点検と保全周期の目安、消耗部品の交換周期目安について
室内ユニット付属の取扱説明書をご覧ください。

●保守点検契約のおすすめ
エアコンを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能が低下することがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、
通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。
また耐塩害・耐重塩害仕様の室外ユニットを使用した場合でも腐食に対して万全ではありません。機械の設置・メンテナンスについてはお買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

●ご不明の場合は
アフターサービスについては、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

24時間365日、安心つながる。
お客さま総合窓口 コンタクトセンター
お電話から フリーダイヤル 0120-88-1081
FAXから フリーダイヤル 0120-07-0881
非通知設定の方は、最初に186をダイヤルいただき発信番号の通知をお願いしております。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

ダイキン工業株式会社
大阪市北区梅田一丁目13番1号　大阪梅田ツインタワーズ・サウス
郵便番号 530-0001

本製品を所有されているお客様へのお願い　（必ずお読みください）

「フロン排出抑制法」に基づく冷凍空調機器の点検について

本製品の適性な管理とフロン類の排出抑制のために、所有されているお客様ご自身による簡易点検の実施と記録が義務付けられています。

点検頻度	点検方法	点検項目	
3か月に1回以上	お客様による「目視での外観点検」 ※点検方法詳細、注意点は下記サイトの「簡易点検の方法」をご確認ください。	室外ユニット	異常振動、異常運転音
			本体および本体周辺の油のにじみ
			本体の損傷、熱交換器の腐食・錆など
		室内ユニット	熱交換器の着霜

異常が見受けられる場合、ご不明な点がある場合は、販売店またはコンタクトセンターにお問合わせ、または下記サイトをご覧ください。

- フロン排出抑制法関連　http://www.jarac.or.jp/ （JARACホームページ）
- 本機器は、冷媒漏洩検知機能を備えています。
  （冷媒漏洩検知機能を有効にする場合は、別途サービス契約を行う必要があります。）
- 冷媒漏洩検知機能を有効にした場合、24時間、冷房運転または暖房運転しないと、冷媒漏洩検知のために、リモコンOFFの状態で10分程度自動運転します。（運転開始時間午前3～4時）その際、設定された風量と異なる運転をすることがあります。
- 停止中に自動運転した場合、室温が低下または上昇することがあります。
- 室内ユニットのフィルター清掃などは、冷媒漏洩検知運転の時刻を避けていただくか、電源ブレーカーを遮断して実施してください。

JRA GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏洩点検のお願い

JRA：一般社団法人 日本冷凍空調工業会

製品の性能を維持していただくために、また、冷媒フロン類を適切に管理していただくために、設置時および設置後の定期的な冷媒漏洩点検（保守点検などによる遠隔からの冷媒漏洩の確認などの総合的サービスも含む：いずれも有償）をお願いいたします。

上記の漏洩点検は、漏洩点検資格者が実施し、「冷媒漏洩点検記録簿（下表参照）」にその結果と、廃棄する時までのすべての点検記録が記載されますので、お客様による内容の確認とその管理（管理委託含む）をお願いいたします。

詳細につきましては、販売店またはコンタクトセンターにお問合わせ、または下記サイトをご覧ください。

- JRA GL-14について　http://www.jraia.or.jp/ （JRAIAホームページ）
- フロン漏洩点検制度について　http://www.jarac.or.jp/ （JARACホームページ）

冷媒漏洩点検記録簿（汎用版）

冷媒漏洩点検・整備記録簿	年　月　日　～　年　月　日	管理番号		補足事項

機器管理者の	氏名・名称		系統名		設備製造者				
	住　所				設置年月日	西暦　年　月　日			
機器の所在	施設名称		TEL		使用機器	分類		型式	
	住　所		TEL			製番		用途	
運転管理責任者			TEL			圧縮機の電動機定格出力(kW)			

点検業者名など				冷媒量(kg)	合計充てん量	合計回収量	合計排出量	CO_2トン	主要冷媒のGWP値
			TEL						R32
			TEL	使用冷媒		初期総充てん量(kg)			675

作業年月日	点検・整備区分	充てん量(kg)	回収戻し充てん量(kg)	回収量(kg)	点検内容	点検結果	漏洩・故障の原因	漏洩・故障箇所	修理の内容	点検・修理・回収・充てん業者名	技術者氏名	技術者No.	修理困難理由	修理予定日
	出荷時初期充てん量													
	設置時追加充てん量													
計														

「ご購入製品の登録」のご案内

製品を安心・便利にご使用いただくために
当社会員制サイト「CLUB DAIKIN」へのご登録をお願いします。
詳しくはこちら ➡ https://www.clubdaikin.jp/
※登録には製品の機種名銘板に記載の機種名、製造番号が必要です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

●この取扱説明書には、エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく経済産業省告示213号(平成21年)による表示事項を記載しております。

〈通年エネルギー消費効率(APF)〉

FIVE STAR ZEASシリーズ

室外ユニット	室内ユニット		通年エネルギー消費効率(APF)
形式	形式	台数	
RSRP40BYT	FHCP40FC	1	6.7
	FAP40FB	1	5.6
	FUP40FB	1	5.6
	FHP40FB	1	5.6
	FHGP40FB	1	5.6
	FHKP40FB	1	5.6
	FHNP40FB	1	4.6
	FHBP40FB	1	5.6
	FHUP40FA	1	5.7
RSRP40BYV	FHCP40FC	1	6.7
	FAP40FB	1	5.6
	FUP40FB	1	5.6
	FHP40FB	1	5.6
	FHGP40FB	1	5.6
	FHKP40FB	1	5.6
	FHNP40FB	1	4.6
	FHBP40FB	1	5.6
	FHUP40FA	1	5.7
RSRP45BYT	FHCP45FC	1	6.7
	FAP45FB	1	5.4
	FHP45FB	1	5.4
	FHGP45FB	1	5.6
	FHKP45FB	1	5.3
	FHNP45FB	1	4.6
	FHBP45FB	1	5.4
RSRP45BYV	FHCP45FC	1	6.7
	FAP45FB	1	5.4
	FHP45FB	1	5.4
	FHGP45FB	1	5.6
	FHKP45FB	1	5.3
	FHNP45FB	1	4.6
	FHBP45FB	1	5.4
RSRP50BYT	FHCP50FC	1	6.6
	FAP50FB	1	5.2
	FUP50FB	1	5.4
	FHP50FB	1	5.4
	FHGP50FB	1	5.4
	FHKP50FB	1	5.2
	FHNP50FB	1	4.6
	FHBP50FB	1	5.4
	FHMP50FB	1	4.8
	FHMMP50FB	1	5.3
	FVP50FB	1	5.4
	FHUP50FA	1	5.5
RSRP50BYV	FHCP50FC	1	6.6
	FAP50FB	1	5.2
	FUP50FB	1	5.4
	FHP50FB	1	5.4
	FHGP50FB	1	5.4
	FHKP50FB	1	5.2
	FHNP50FB	1	4.6
	FHBP50FB	1	5.4
	FHMP50FB	1	4.8
	FHMMP50FB	1	5.3
	FVP50FB	1	5.4
	FHUP50FA	1	5.5
RSRP56BYT	FHCP56FC	1	6.4
	FAP56FB	1	5.2
	FHP56FB	1	5.3
	FHGP56FB	1	5.2
	FHKP56FB	1	5.2
	FHNP56FB	1	4.6
	FHBP56FB	1	5.3
	FVP56FB	1	5.3

室外ユニット	室内ユニット		通年エネルギー消費効率(APF)
形式	形式	台数	
RSRP56BYV	FHCP56FC	1	6.4
	FAP56FB	1	5.2
	FHP56FB	1	5.3
	FHGP56FB	1	5.2
	FHKP56FB	1	5.2
	FHNP56FB	1	4.6
	FHBP56FB	1	5.3
	FVP56FB	1	5.3
RSRP63BYT	FHCP63FC	1	6.3
	FAP63FB	1	5.3
	FUP63FB	1	5.2
	FHP63FB	1	5.3
	FHGP63FB	1	5.2
	FHKP63FB	1	5.3
	FHNP63FB	1	4.5
	FHBP63FB	1	5.3
	FHMP63FB	1	4.8
	FHMMP63FB	1	5.3
	FVP63FB	1	5.3
	FHUP63FA	1	5.5
RSRP63BYV	FHCP63FC	1	6.3
	FAP63FB	1	5.3
	FUP63FB	1	5.2
	FHP63FB	1	5.3
	FHGP63FB	1	5.2
	FHKP63FB	1	5.3
	FHNP63FB	1	4.5
	FHBP63FB	1	5.3
	FHMP63FB	1	4.8
	FHMMP63FB	1	5.3
	FVP63FB	1	5.3
	FHUP63FA	1	5.5

Eco-ZEASシリーズ

室外ユニット	室内ユニット		通年エネルギー消費効率(APF)
形式	形式	台数	
RZRP40BYT	FHCP40FC	1	6.3
	FAP40FB	1	5.4
	FUP40FB	1	5.5
	FHP40FB	1	5.4
	FHGP40FB	1	5.4
	FHKP40FB	1	5.4
	FHNP40FB	1	4.4
	FHBP40FB	1	5.4
	FHUP40FA	1	5.4
RZRP40BYV	FHCP40FC	1	6.3
	FAP40FB	1	5.4
	FUP40FB	1	5.5
	FHP40FB	1	5.4
	FHGP40FB	1	5.4
	FHKP40FB	1	5.4
	FHNP40FB	1	4.4
	FHBP40FB	1	5.4
	FHUP40FA	1	5.4
RZRP45BYT	FHCP45FC	1	6.3
	FAP45FB	1	5.2
	FHP45FB	1	5.2
	FHGP45FB	1	5.4
	FHKP45FB	1	5.2
	FHNP45FB	1	4.4
	FHBP45FB	1	5.2

室外ユニット	室内ユニット		通年エネルギー消費効率(APF)
形式	形式	台数	
RZRP45BYV	FHCP45FC	1	6.3
	FAP45FB	1	5.2
	FHP45FB	1	5.2
	FHGP45FB	1	5.4
	FHKP45FB	1	5.2
	FHNP45FB	1	4.4
	FHBP45FB	1	5.2
RZRP50BYT	FHCP50FC	1	6.2
	FAP50FB	1	5.0
	FUP50FB	1	5.3
	FHP50FB	1	5.2
	FHGP50FB	1	5.2
	FHKP50FB	1	5.0
	FHNP50FB	1	4.4
	FHBP50FB	1	5.2
	FHMP50FB	1	4.6
	FHMMP50FB	1	5.2
	FVP50FB	1	5.2
	FHUP50FA	1	5.2
RZRP50BYV	FHCP50FC	1	6.2
	FAP50FB	1	5.0
	FUP50FB	1	5.3
	FHP50FB	1	5.2
	FHGP50FB	1	5.2
	FHKP50FB	1	5.0
	FHNP50FB	1	4.4
	FHBP50FB	1	5.2
	FHMP50FB	1	4.6
	FHMMP50FB	1	5.2
	FVP50FB	1	5.2
	FHUP50FA	1	5.2
RZRP56BYT	FHCP56FC	1	6.1
	FAP56FB	1	5.1
	FHP56FB	1	5.1
	FHGP56FB	1	5.1
	FHKP56FB	1	5.1
	FHNP56FB	1	4.4
	FHBP56FB	1	5.1
	FVP56FB	1	5.1
RZRP56BYV	FHCP56FC	1	6.1
	FAP56FB	1	5.1
	FHP56FB	1	5.1
	FHGP56FB	1	5.1
	FHKP56FB	1	5.1
	FHNP56FB	1	4.4
	FHBP56FB	1	5.1
	FVP56FB	1	5.1
RZRP63BYT	FHCP63FD	1	6.1
	FAP63FB	1	5.1
	FUP63FB	1	5.1
	FHP63FB	1	5.1
	FHGP63FB	1	5.1
	FHKP63FB	1	5.1
	FHNP63FB	1	4.3
	FHBP63FB	1	5.1
	FHMP63FB	1	4.6
	FHMMP63FB	1	5.1
	FHUP63FA	1	5.1

室外ユニット	室内ユニット		通年エネルギー消費効率(APF)
形式	形式	台数	
RZRP63BYV	FHCP63FD	1	6.1
	FAP63FB	1	5.1
	FUP63FB	1	5.1
	FHP63FB	1	5.1
	FHGP63FB	1	5.1
	FHKP63FB	1	5.1
	FHNP63FB	1	4.3
	FHBP63FB	1	5.1
	FHMP63FB	1	4.6
	FHMMP63FB	1	5.1
	FVP63FB	1	5.1
	FHUP63FA	1	5.1
RZRP80BYT	FHCP80FD	1	5.7
	FHCP40FC	2	6.0
	FAP80FB	1	5.0
	FAP40FB	2	5.3
	FUP80FB	1	5.2
	FUP40FB	2	5.4
	FHP80FB	1	5.0
	FHP40FB	2	5.1
	FHGP80FB	1	4.8
	FHGP40FB	2	5.1
	FHKP80FB	1	4.8
	FHKP40FB	2	5.0
	FHBP80FB	1	5.0
	FHBP40FB	2	5.0
	FHMMP80FB	1	4.8
	FHMP80FB	1	4.4
	FVP80FB	1	4.8
	FHTP80FB	1	4.2
	FHNP40FB	2	5.0
	FHUP80FA	1	4.8
	FHUP40FA	2	5.0
RZRP80BYV	FHCP80FD	1	5.7
	FHCP40FC	2	6.0
	FAP80FB	1	5.0
	FAP40FB	2	5.3
	FUP80FB	1	5.2
	FUP40FB	2	5.4
	FHP80FB	1	5.0
	FHP40FB	2	5.1
	FHGP80FB	1	4.8
	FHGP40FB	2	5.1
	FHKP80FB	1	4.8
	FHKP40FB	2	5.0
	FHBP80FB	1	5.0
	FHBP40FB	2	5.0
	FHMMP80FB	1	4.8
	FHMP80FB	1	4.4
	FVP80FB	1	4.8
	FHTP80FB	1	4.2
	FHNP40FB	2	5.0
	FHUP80FA	1	4.8
	FHUP40FA	2	5.0

●通年エネルギー消費効率(APF)について

APF表示は、JIS B 8616：2006(パッケージエアーコンディショナ)とJRA4048：2006(※)(パッケージエアーコンディショナの期間エネルギー消費効率)に基づいて行います。

※JRA4048：2006は、JIS B 8616：2006を実施するために一般社団法人 日本冷凍空調工業会が作成した規格です。

・APF＝期間総合負荷(能力)÷期間消費電力量

●省エネ基準について

室内ユニット形式	冷房能力(kW)	基準エネルギー消費効率(APF)	区分名
FHCP～形 FHNP～形	3.6	6.0	ab
	4.0	5.9	
	4.5	5.9	
	5.0	5.8	
	5.6	5.8	
	7.1	5.7	

室内ユニット形式	冷房能力(kW)	基準エネルギー消費効率(APF)	区分名
FHCP～形 FHNP～形	10.0	6.0	ac
	12.5	5.7	
	14.0	5.5	
FHCP～形 FHNP～形以外	3.6	5.1	af
	4.0	5.0	
	4.5	5.0	

室内ユニット形式	冷房能力(kW)	基準エネルギー消費効率(APF)	区分名
FHCP～形 FHNP～形以外	5.0	4.9	af
	5.6	4.9	
	7.1	4.8	
	10.0	5.1	ag
	12.5	4.8	
	14.0	4.7	

JIS B 8616：2015(パッケージエアコンディショナ)の施行に伴う表示の変更について

JIS B 8616の改正に伴い、新しいAPF(APF2015：通年エネルギー消費効率)と運転音(音響パワーレベル：PWL)を表示します。
従来のAPFは6ページに、運転音(音圧レベル：SPLおよび音響パワーレベル：PWL)は4ページに表記しております。

●APF2015とは
現状のAPFに対して空調負荷や外気温度発生時間などをより実態に合った指標として算出方法が変更となったものです。

●音響パワーレベル(PWL)とは
JIS B 8616：2015(パッケージエアコンディショナ)の附属書Dの騒音試験方法に基づき従来の音圧レベル(SPL)から測定方法を変更したものです。

FIVE STAR ZEASシリーズ

室外ユニット	室内ユニット		冷房能力	暖房能力	冷房消費電力	暖房消費電力	通年エネルギー消費効率
形式	形式	台数	(kW)	(kW)	(kW)	(kW)	(APF2015)
RSRP40BYT	FHCP40FC	1	3.6	4.0	0.715	0.788	7.7
	FAP40FB	1	3.6	4.0	0.850	0.910	5.7
	FUP40FB	1	3.6	4.0	0.780	0.870	6.0
	FHP40FB	1	3.6	4.0	0.850	0.900	5.9
	FHGP40FB	1	3.6	4.0	0.800	0.880	5.9
	FHKP40FB	1	3.6	4.0	0.850	1.00	5.6
	FHNP40FB	1	3.6	4.0	1.01	0.950	4.6
	FHBP40FB	1	3.6	4.0	1.04	0.950	5.6
	FHUP40FA	1	3.6	4.0	0.905	0.850	5.5
RSRP40BYV	FHCP40FC	1	3.6	4.0	0.715	0.788	7.7
	FAP40FB	1	3.6	4.0	0.850	0.910	5.7
	FUP40FB	1	3.6	4.0	0.780	0.870	6.0
	FHP40FB	1	3.6	4.0	0.850	0.900	5.9
	FHGP40FB	1	3.6	4.0	0.800	0.880	5.9
	FHKP40FB	1	3.6	4.0	0.850	1.00	5.6
	FHNP40FB	1	3.6	4.0	1.01	0.950	4.6
	FHBP40FB	1	3.6	4.0	1.04	0.950	5.6
	FHUP40FA	1	3.6	4.0	0.905	0.850	5.5
RSRP45BYT	FHCP45FC	1	4.0	4.5	0.870	0.885	7.5
	FAP45FB	1	4.0	4.5	0.995	1.12	5.7
	FHP45FB	1	4.0	4.5	1.05	1.00	5.8
	FHGP45FB	1	4.0	4.5	0.970	1.10	5.9
	FHKP45FB	1	4.0	4.5	1.03	1.15	5.5
	FHNP45FB	1	4.0	4.5	1.21	1.11	4.6
	FHBP45FB	1	4.0	4.5	1.25	1.15	5.5
RSRP45BYV	FHCP45FC	1	4.0	4.5	0.870	0.885	7.5
	FAP45FB	1	4.0	4.5	0.995	1.12	5.7
	FHP45FB	1	4.0	4.5	1.05	1.00	5.8
	FHGP45FB	1	4.0	4.5	0.970	1.10	5.9
	FHKP45FB	1	4.0	4.5	1.03	1.15	5.5
	FHNP45FB	1	4.0	4.5	1.21	1.11	4.6
	FHBP45FB	1	4.0	4.5	1.25	1.15	5.5
RSRP50BYT	FHCP50FC	1	4.5	5.0	0.999	1.03	7.4
	FAP50FB	1	4.5	5.0	1.15	1.28	5.6
	FUP50FB	1	4.5	5.0	1.15	1.20	5.8
	FHP50FB	1	4.5	5.0	1.25	1.23	5.8
	FHGP50FB	1	4.5	5.0	1.20	1.22	5.6
	FHKP50FB	1	4.5	5.0	1.20	1.30	5.4
	FHNP50FB	1	4.5	5.0	1.44	1.32	4.6
	FHBP50FB	1	4.5	5.0	1.49	1.25	5.5
	FHMP50FB	1	4.5	5.0	1.60	1.20	5.1
	FHMMP50FB	1	4.5	5.0	1.53	1.20	5.2
	FVP50FB	1	4.5	5.0	1.15	1.17	5.7
	FHUP50FA	1	4.5	5.0	1.28	1.18	5.4
RSRP50BYV	FHCP50FC	1	4.5	5.0	0.999	1.03	7.4
	FAP50FB	1	4.5	5.0	1.15	1.28	5.6
	FUP50FB	1	4.5	5.0	1.15	1.20	5.8
	FHP50FB	1	4.5	5.0	1.25	1.23	5.8
	FHGP50FB	1	4.5	5.0	1.20	1.22	5.6
	FHKP50FB	1	4.5	5.0	1.20	1.30	5.4
	FHNP50FB	1	4.5	5.0	1.44	1.32	4.6
	FHBP50FB	1	4.5	5.0	1.49	1.25	5.5
	FHMP50FB	1	4.5	5.0	1.60	1.20	5.1
	FHMMP50FB	1	4.5	5.0	1.53	1.20	5.2
	FVP50FB	1	4.5	5.0	1.15	1.17	5.7
	FHUP50FA	1	4.5	5.0	1.28	1.18	5.4
RSRP56BYT	FHCP56FC	1	5.0	5.6	1.15	1.25	7.2
	FAP56FB	1	5.0	5.6	1.30	1.55	5.4
	FHP56FB	1	5.0	5.6	1.39	1.38	5.7
	FHGP56FB	1	5.0	5.6	1.42	1.58	5.3
	FHKP56FB	1	5.0	5.6	1.40	1.53	5.3
	FHNP56FB	1	5.0	5.6	1.56	1.51	4.6
	FHBP56FB	1	5.0	5.6	1.56	1.48	5.4
	FVP56FB	1	5.0	5.6	1.30	1.40	5.6
RSRP56BYV	FHCP56FC	1	5.0	5.6	1.15	1.25	7.2
	FAP56FB	1	5.0	5.6	1.30	1.55	5.4
	FHP56FB	1	5.0	5.6	1.39	1.38	5.7
	FHGP56FB	1	5.0	5.6	1.42	1.58	5.3
	FHKP56FB	1	5.0	5.6	1.40	1.53	5.3
	FHNP56FB	1	5.0	5.6	1.56	1.51	4.6
	FHBP56FB	1	5.0	5.6	1.56	1.48	5.4
	FVP56FB	1	5.0	5.6	1.30	1.40	5.6

室外ユニット	室内ユニット		冷房能力	暖房能力	冷房消費電力	暖房消費電力	通年エネルギー消費効率
形式	形式	台数	(kW)	(kW)	(kW)	(kW)	(APF2015)
RSRP63BYT	FHCP63FC	1	5.6	6.3	1.34	1.34	7.3
	FAP63FB	1	5.6	6.3	1.58	1.60	5.6
	FUP63FB	1	5.6	6.3	1.55	1.63	5.6
	FHP63FB	1	5.6	6.3	1.62	1.60	6.0
	FHGP63FB	1	5.6	6.3	1.59	1.65	5.5
	FHKP63FB	1	5.6	6.3	1.65	1.64	5.4
	FHNP63FB	1	5.6	6.3	2.05	1.74	4.5
	FHBP63FB	1	5.6	6.3	1.67	1.70	5.4
	FHMP63FB	1	5.6	6.3	1.55	1.62	5.2
	FHMMP63FB	1	5.6	6.3	1.55	1.60	5.1
	FVP63FB	1	5.6	6.3	1.52	1.58	5.6
	FHUP63FA	1	5.6	6.3	1.65	1.65	5.3
RSRP63BYV	FHCP63FC	1	5.6	6.3	1.34	1.34	7.3
	FAP63FB	1	5.6	6.3	1.58	1.60	5.6
	FUP63FB	1	5.6	6.3	1.55	1.63	5.6
	FHP63FB	1	5.6	6.3	1.62	1.60	6.0
	FHGP63FB	1	5.6	6.3	1.59	1.65	5.5
	FHKP63FB	1	5.6	6.3	1.65	1.64	5.4
	FHNP63FB	1	5.6	6.3	2.05	1.74	4.5
	FHBP63FB	1	5.6	6.3	1.67	1.70	5.4
	FHMP63FB	1	5.6	6.3	1.55	1.62	5.2
	FHMMP63FB	1	5.6	6.3	1.55	1.60	5.1
	FVP63FB	1	5.6	6.3	1.52	1.58	5.6
	FHUP63FA	1	5.6	6.3	1.65	1.65	5.3

Eco-ZEASシリーズ

室外ユニット	室内ユニット		冷房能力	暖房能力	冷房消費電力	暖房消費電力	通年エネルギー消費効率
形式	形式	台数	(kW)	(kW)	(kW)	(kW)	(APF2015)
RZRP40BYT	FHCP40FC	1	3.6	4.0	0.805	0.810	6.5
	FAP40FB	1	3.6	4.0	0.940	0.980	5.5
	FUP40FB	1	3.6	4.0	0.880	0.900	5.5
	FHP40FB	1	3.6	4.0	0.950	0.950	5.5
	FHGP40FB	1	3.6	4.0	0.890	0.980	5.4
	FHKP40FB	1	3.6	4.0	0.944	1.06	5.1
	FHNP40FB	1	3.6	4.0	1.16	1.02	4.4
	FHBP40FB	1	3.6	4.0	1.04	1.02	5.1
	FHUP40FA	1	3.6	4.0	0.980	0.880	5.1
RZRP40BYV	FHCP40FC	1	3.6	4.0	0.805	0.810	6.5
	FAP40FB	1	3.6	4.0	0.940	0.980	5.5
	FUP40FB	1	3.6	4.0	0.880	0.900	5.5
	FHP40FB	1	3.6	4.0	0.950	0.950	5.5
	FHGP40FB	1	3.6	4.0	0.890	0.980	5.4
	FHKP40FB	1	3.6	4.0	0.944	1.06	5.1
	FHNP40FB	1	3.6	4.0	1.16	1.02	4.4
	FHBP40FB	1	3.6	4.0	1.04	1.02	5.1
	FHUP40FA	1	3.6	4.0	0.980	0.880	5.1
RZRP45BYT	FHCP45FC	1	4.0	4.5	0.960	0.960	6.5
	FAP45FB	1	4.0	4.5	1.10	1.20	5.3
	FHP45FB	1	4.0	4.5	1.11	1.10	5.3
	FHGP45FB	1	4.0	4.5	1.07	1.20	5.4
	FHKP45FB	1	4.0	4.5	1.15	1.29	5.0
	FHNP45FB	1	4.0	4.5	1.44	1.22	4.4
	FHBP45FB	1	4.0	4.5	1.25	1.21	5.0
RZRP45BYV	FHCP45FC	1	4.0	4.5	0.960	0.960	6.5
	FAP45FB	1	4.0	4.5	1.10	1.20	5.3
	FHP45FB	1	4.0	4.5	1.11	1.10	5.3
	FHGP45FB	1	4.0	4.5	1.07	1.20	5.4
	FHKP45FB	1	4.0	4.5	1.15	1.29	5.0
	FHNP45FB	1	4.0	4.5	1.44	1.22	4.4
	FHBP45FB	1	4.0	4.5	1.25	1.21	5.0
RZRP50BYT	FHCP50FC	1	4.5	5.0	1.19	1.13	6.4
	FAP50FB	1	4.5	5.0	1.35	1.44	5.2
	FUP50FB	1	4.5	5.0	1.26	1.27	5.3
	FHP50FB	1	4.5	5.0	1.26	1.24	5.4
	FHGP50FB	1	4.5	5.0	1.32	1.37	5.1
	FHKP50FB	1	4.5	5.0	1.35	1.40	5.0
	FHNP50FB	1	4.5	5.0	1.68	1.40	4.4
	FHBP50FB	1	4.5	5.0	1.49	1.33	5.0
	FHMP50FB	1	4.5	5.0	2.00	1.25	4.9
	FHMMP50FB	1	4.5	5.0	1.90	1.29	5.0
	FVP50FB	1	4.5	5.0	1.27	1.20	5.2
	FHUP50FA	1	4.5	5.0	1.41	1.22	4.9

室外ユニット	室内ユニット		冷房能力	暖房能力	冷房消費電力	暖房消費電力	通年エネルギー消費効率
形式	形式	台数	(kW)	(kW)	(kW)	(kW)	(APF2015)
RZRP50BYV	FHCP50FC	1	4.5	5.0	1.19	1.13	6.4
	FAP50FB	1	4.5	5.0	1.35	1.44	5.2
	FUP50FB	1	4.5	5.0	1.26	1.27	5.3
	FHP50FB	1	4.5	5.0	1.26	1.24	5.4
	FHGP50FB	1	4.5	5.0	1.32	1.37	5.1
	FHKP50FB	1	4.5	5.0	1.35	1.40	5.0
	FHNP50FB	1	4.5	5.0	1.68	1.40	4.4
	FHBP50FB	1	4.5	5.0	1.49	1.33	5.0
	FHMP50FB	1	4.5	5.0	2.00	1.25	4.9
	FHMMP50FB	1	4.5	5.0	1.90	1.29	5.0
	FVP50FB	1	4.5	5.0	1.27	1.20	5.2
	FHUP50FA	1	4.5	5.0	1.41	1.22	4.9
RZRP56BYT	FHCP56FC	1	5.0	5.6	1.21	1.25	6.4
	FAP56FB	1	5.0	5.6	1.31	1.52	5.2
	FHP56FB	1	5.0	5.6	1.42	1.39	5.1
	FHGP56FB	1	5.0	5.6	1.59	1.68	4.9
	FHKP56FB	1	5.0	5.6	1.49	1.63	4.9
	FHNP56FB	1	5.0	5.6	1.63	1.59	4.4
	FHBP56FB	1	5.0	5.6	1.56	1.59	4.9
	FVP56FB	1	5.0	5.6	1.33	1.42	5.1
RZRP56BYV	FHCP56FC	1	5.0	5.6	1.21	1.25	6.4
	FAP56FB	1	5.0	5.6	1.31	1.52	5.2
	FHP56FB	1	5.0	5.6	1.42	1.39	5.1
	FHGP56FB	1	5.0	5.6	1.59	1.68	4.9
	FHKP56FB	1	5.0	5.6	1.49	1.63	4.9
	FHNP56FB	1	5.0	5.6	1.63	1.59	4.4
	FHBP56FB	1	5.0	5.6	1.56	1.59	4.9
	FVP56FB	1	5.0	5.6	1.33	1.42	5.1
RZRP63BYT	FHCP63FD	1	5.6	6.3	1.44	1.45	6.5
	FAP63FB	1	5.6	6.3	1.61	1.62	5.2
	FUP63FB	1	5.6	6.3	1.64	1.78	5.1
	FHP63FB	1	5.6	6.3	1.68	1.63	5.1
	FHGP63FB	1	5.6	6.3	1.64	1.78	5.0
	FHKP63FB	1	5.6	6.3	1.76	1.81	4.9
	FHNP63FB	1	5.6	6.3	2.05	1.78	4.3
	FHBP63FB	1	5.6	6.3	1.74	1.79	4.9
	FHMP63FB	1	5.6	6.3	1.61	1.67	5.0
	FHMMP63FB	1	5.6	6.3	1.61	1.67	4.9
	FVP63FB	1	5.6	6.3	1.57	1.63	5.1
	FHUP63FA	1	5.6	6.3	2.07	1.68	4.9
RZRP63BYV	FHCP63FD	1	5.6	6.3	1.44	1.45	6.5
	FAP63FB	1	5.6	6.3	1.61	1.62	5.2
	FUP63FB	1	5.6	6.3	1.64	1.78	5.1
	FHP63FB	1	5.6	6.3	1.68	1.63	5.1
	FHGP63FB	1	5.6	6.3	1.64	1.78	5.0
	FHKP63FB	1	5.6	6.3	1.76	1.81	4.9
	FHNP63FB	1	5.6	6.3	2.05	1.78	4.3
	FHBP63FB	1	5.6	6.3	1.74	1.79	4.9
	FHMP63FB	1	5.6	6.3	1.61	1.67	5.0
	FHMMP63FB	1	5.6	6.3	1.61	1.67	4.9
	FVP63FB	1	5.6	6.3	1.57	1.63	5.1
	FHUP63FA	1	5.6	6.3	2.07	1.68	4.9
RZRP80BYT	FHCP80FD	1	7.1	8.0	2.10	2.05	5.8
	FHCP40FC	2	7.1	8.0	1.72	1.85	5.8
	FAP80FB	1	7.1	8.0	2.49	2.49	5.3
	FAP40FB	2	7.1	8.0	2.05	2.20	5.3
	FUP80FB	1	7.1	8.0	2.10	2.20	5.2
	FUP40FB	2	7.1	8.0	1.90	1.95	5.4
	FHP80FB	1	7.1	8.0	2.30	2.37	5.2
	FHP40FB	2	7.1	8.0	2.00	2.00	5.1
	FHGP80FB	1	7.1	8.0	2.25	2.49	4.8
	FHGP40FB	2	7.1	8.0	2.05	2.05	5.1
	FHKP80FB	1	7.1	8.0	2.49	2.45	4.8
	FHKP40FB	2	7.1	8.0	2.15	2.25	5.0
	FHBP80FB	1	7.1	8.0	2.35	2.30	4.8
	FHBP40FB	2	7.1	8.0	2.05	2.10	4.8
	FHMMP80FB	1	7.1	8.0	2.30	2.20	4.8
	FHMP80FB	1	7.1	8.0	2.35	2.45	4.7
	FVP80FB	1	7.1	8.0	2.49	2.65	4.8
	FHTP80FB	1	7.1	8.0	3.10	2.90	4.1
	FHNP40FB	2	7.1	8.0	2.35	2.00	5.0
	FHUP80FA	1	7.1	8.0	2.48	2.33	4.8
	FHUP40FA	2	7.1	8.0	2.31	1.99	5.0
RZRP80BYV	FHCP80FD	1	7.1	8.0	2.10	2.05	5.8
	FHCP40FC	2	7.1	8.0	1.72	1.85	5.8
	FAP80FB	1	7.1	8.0	2.49	2.49	5.3
	FAP40FB	2	7.1	8.0	2.05	2.20	5.3
	FUP80FB	1	7.1	8.0	2.10	2.20	5.2
	FUP40FB	2	7.1	8.0	1.90	1.95	5.4
	FHP80FB	1	7.1	8.0	2.30	2.37	5.2
	FHP40FB	2	7.1	8.0	2.00	2.00	5.1
	FHGP80FB	1	7.1	8.0	2.25	2.49	4.8
	FHGP40FB	2	7.1	8.0	2.05	2.05	5.1
	FHKP80FB	1	7.1	8.0	2.49	2.45	4.8
	FHKP40FB	2	7.1	8.0	2.15	2.25	5.0
	FHBP80FB	1	7.1	8.0	2.35	2.30	4.8
	FHBP40FB	2	7.1	8.0	2.05	2.10	4.8
	FHMMP80FB	1	7.1	8.0	2.30	2.20	4.8
	FHMP80FB	1	7.1	8.0	2.35	2.45	4.7
	FVP80FB	1	7.1	8.0	2.49	2.65	4.8
	FHTP80FB	1	7.1	8.0	3.10	2.90	4.1
	FHNP40FB	2	7.1	8.0	2.35	2.00	5.0
	FHUP80FA	1	7.1	8.0	2.48	2.33	4.8
	FHUP40FA	2	7.1	8.0	2.31	1.99	5.0

DAIKIN

取扱説明書

ワイヤレスリモコン　BRC4L101

ワイヤレスリモコンキット

BRC4Lシリーズ
BRC7Lシリーズ

- このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
  正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
  お読みになったあと、いつでもご覧になれるよう、お手元に保管してください。
- この取扱説明書はワイヤレスリモコン専用ですので、室内ユニットに付属の取扱説明書とあわせてご覧ください。

ご使用の前に

1 安全について
必ず守ってください …… 2

運転について

2 各部の名前と働き …… 6
2−1　リモコンの操作部について …… 6
2−2　リモコンの表示部について …… 7
2−3　リモコンの取扱いについて …… 9
2−4　室内ユニットの表示部について …… 10
3 基本運転のしかた
ダイレクトボタンの使い方 …… 12
3−1　運転モードを切り換える …… 12
3−2　運転を開始・停止する …… 12
3−3　風量を設定する …… 12
3−4　風向を設定する …… 12
3−5　温度を設定する …… 13
3−6　節電設定のON/OFFを切り換える …… 13
3−7　運転の特性 …… 14
3−8　運転の内容と働き …… 15
3−9　ビル用マルチの運転切換について …… 16
3−10　複数台同時運転の場合 …… 17
3−11　2リモコン制御の場合 …… 17
4 メインメニュー一覧 …… 18
5 メニューの操作 …… 19
5−1　メインメニューを表示する …… 19
5−2　エコ全自動 …… 20
5−3　風向個別 …… 21
5−4　快速冷暖 …… 25
5−5　タイマー設定 …… 26
5−6　省エネ・節電 …… 30
5−7　連絡先表示 …… 36
5−8　ドラフト低減 …… 37
5−9　バックライト調整 …… 38
5−10　コントラスト調整 …… 39
5−11　応急運転 …… 40

お手入れについて

6 お手入れについて …… 41
6−1　フィルターサインリセットのしかた …… 41
6−2　液晶表示部・本体のお手入れのしかた …… 41

知っておいてください

7 知っておいてください …… 42
7−1　故障かな？と思ったら …… 42
7−2　サービスを依頼される前に …… 43
7−3　次の場合は販売店にご連絡ください …… 43
7−4　異常診断のしかた …… 44
7−5　初期設定の確認のしかた …… 46
7−6　アフターサービスについて …… 47
8 お客様ご相談窓口 …… 48

1 2 3 4 5 6 7 8

上手に使って上手に節電

3P308027-1E

1　安全について　必ず守ってください

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

●ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いにより、軽傷を負う可能性または物的損害の可能性があるもの。 状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次のとおりです。

	絶対にしないでください。		絶対に水にぬらさないでください。		必ずアース工事をしてください。
	絶対にぬれた手で触れないでください。		必ず指示どおりに行ってください。		

■リモコンについて

⚠警告	 禁止	**●分解や改造・修理をしない** 故障の原因になります。 お買い上げの販売店にご依頼ください。
	 禁止	**●可燃性のガス（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない** **ベンジン・シンナーで本体をふかない** ひび割れ・故障の原因になります。
⚠注意	 禁止	**●本体やリモコンで遊ばせない** 誤った操作による体調悪化や健康障害の原因になることがあります。
	 禁止	**●リモコンは絶対に分解しない** 内部を手で触れると感電や故障の原因になることがあります。 内部の点検調整はお買い上げの販売店にご依頼ください。
	 禁止	**●ワイヤレスリモコン使用時は、本体受光部近くに強い光線やインバーターけい光灯を設置しない** 誤作動の原因になることがあります。
	 ぬれ手禁止	**●ぬれた手で操作しない** 故障の原因になることがあります。
	 水ぬれ禁止	**●リモコンを水洗いしない** 漏電によって故障の原因になることがあります。
	 水ぬれ禁止	**●リモコンは、水のかかるおそれのある場所に設置しない** 水が機器の内部に入ると、感電のおそれがあるほか、内部の電子部品が故障する原因になることがあります。

3P308027-1E

■室内ユニット・室外ユニットについて

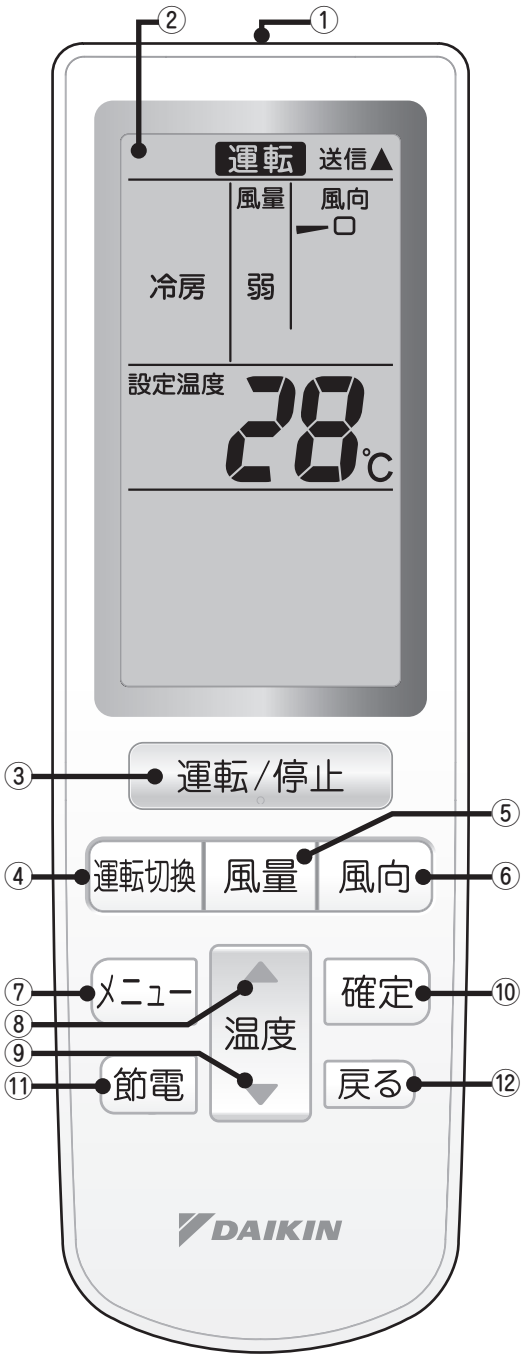
⚠ 警告	禁止	**●長時間冷(温)風を体に直接当てない、冷やし過ぎ(暖め過ぎ)ない** 体調悪化・健康障害の原因になります。
	禁止	**●吸込口・吹出口や風向羽根に指や棒などを入れない** ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。
	禁止	**●調理用油や機械油など油成分が浮遊している場所では使用しない** ひび割れ・感電・引火の原因になります。
	禁止	**●調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属製のホコリのある場所では使用しない** 火災や故障の原因になります。
	禁止	**●冷媒が漏れたら火気厳禁** エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。 燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。 冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。
	禁止	**●ヒューズ付負荷開閉器を使用の場合、正しい容量のヒューズ以外は使用しない** 針金などを使用すると故障や火災の原因になります。
	禁止	**●電源ブレーカーによるエアコンの運転や停止をしない** 火災や水漏れの原因になります。 また、停電補償が有効に設定されている場合、ファンが突然回り、けがの原因になります。
	禁止	**●別売品の取付けは、自分でしない** **別売品は当社指定以外のものは使用しない** 取付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。 お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。▶48ページ
	禁止	**●据付工事は、自分でしない** 据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。 お買い上げの販売店にご依頼ください。
	禁止	**●移動・再設置は、自分でしない** 据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。 お買い上げの販売店にご依頼ください。
	アース線を接続せよ	**●アース工事を行う** アースが不完全な場合は、感電や火災の原因になります。 アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
		●漏電遮断器を取り付ける 取り付けないと感電や火災の原因になります。
		●異常時(焦げ臭いなど)は、運転を停止して電源ブレーカーを遮断する 異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。 お買い上げの販売店にご連絡ください。
		●洪水・台風など天災でエアコンが水没したときは、お買い上げの販売店に相談する 運転をすると、故障や感電・火災などの原因になります。
		●室内・室外ユニット内部の洗浄はお客様自身で行わず、必ずお買い上げの販売店に依頼する 誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水漏れなどの原因になります。 また、洗浄剤が電気部品や電動機にかかると故障や発煙・発火の原因になります。
		●電源は必ずエアコン専用の電源を使用する 専用以外の電源を使用すると発熱・火災・故障の原因になります。

⚠ 警告		**●冷媒漏れ対策は、販売店に相談する** 万一、冷媒が漏れて限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。 小部屋に据え付ける場合は、冷媒が漏れても限界濃度を超えないように対策する必要があります。
⚠ 注意		**●特殊用途には使用しない** 精密機器・食品・美術品などの保存、動植物の飼育や栽培など、特殊用途に使用すると、対象物の性能・品質・寿命に悪影響をおよぼすことがあります。
		●室外ユニットの吹出口を取り外さない 高速で回転するファンにより、けがの原因になることがあります。
		●長期使用などで傷んだままの据付台を使用しない 傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、けがなどの原因になることがあります。
		●室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない 落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。
		●吸込口や吹出口をふさがない 能力低下や故障の原因になることがあります。
		●室内・室外ユニットの吸込口・吹出口やアルミフィンにさわらない けがの原因になることがあります。
		●室内・室外ユニットの真下や近くにぬれて困るものは置かない 運転条件によっては、本体や冷媒配管への結露・エアフィルターの汚れ・ドレン出口の詰りで水が滴下し、家財などをぬらす原因になることがあります。
		●エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わない 燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。
		●室内ユニットの真下や近くでほかの暖房器具を使わない 暖房器具の熱により吸込グリルなどが変形することがあります。
		●動植物に直接風を当てない 動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。
		●吹出口の近くにスプレー缶などを置かない 室内・室外ユニットからの温風によりスプレー缶などが爆発するおそれがあります。
		●フィルター交換のときは電動機部に触れない 電動機部が熱くなっており、やけどの原因になることがあります。
		●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは設置しない 万一、ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。
		●室外ユニットの周辺に、物を置いたり、落ち葉をためない 落ち葉などから侵入した小動物が、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。
		●エアコンの操作やお手入れのときは不安定な台に乗らない 転倒などけがの原因になることがあります。

⚠ 注意	水ぬれ禁止	**●エアコンを水洗いしない** 漏電によって感電や火災の原因になることがあります。
	水ぬれ禁止	**●床置形室内ユニットの上に花びん・植木鉢など、水の入った容器を置かない** 内部に水が浸入して感電や火災の原因になることがあります。
		●お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する 電源を遮断しないと、感電やけがの原因になることがあります。
		●長時間使用しないときは、電源ブレーカーを遮断する ホコリがたまって発熱・発火の原因になることがあります。
		●ときどき換気を行う 換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。特に燃焼器具と一緒に使用するときは、ご注意ください。
		●高所作業をするときは足場に気をつける 足場が不安定な場合、落下・転倒によりけがの原因になることがあります。
		●ドレン配管は、確実に排水するように施工する 不備があると、屋内に水漏れし、汚れや故障の原因になることがあります。

2 各部の名前と働き

2−1 リモコンの操作部について



ご注意

基本運転(運転切換・運転/停止・風向設定・風量設定・温度設定・節電設定ON/OFF)以外はメニュー画面からの設定となります。

お願い

- リモコンのボタンを先のとがったもので押さないでください。破損し、故障の原因になることがあります。

①送信部

- 室内ユニットへ信号を送ります。

②液晶表示部

- 現在の設定内容やメニュー操作の内容などを表示します。▶7ページ

③運転／停止ボタン

- 1度押すと運転します。
- もう一度押すと停止します。▶12ページ

④運転切換ボタン

- 運転モードを切り換えます。▶12ページ
  ※接続機種により設定可能な運転モードは異なります。

⑤風量ボタン

- 風量を切り換えます。▶12ページ
  ※接続機種により設定可能な風量が異なります。

⑥風向ボタン

- 風向を切り換えます。▶12ページ
  ※接続機種により設定可能な風向が異なります。

⑦メニューボタン

- メニューを表示します。▶8, 19ページ
  ※接続機種により設定可能なメニュー項目が異なります。
- メインメニューを確定すると、サブメニューまたは設定内容が表示されます。

⑧上ボタン(温度▲)

- 設定温度を上げます。▶13ページ
- メニュー画面の反転表示を上方向へ移動させます。
- 選択項目を変更します。

⑨下ボタン(温度▼)

- 設定温度を下げます。▶13ページ
- メニュー画面の反転表示を下方向へ移動させます。
- 選択項目を変更します。

⑩確定ボタン

- 選択内容または設定内容を確定します。

⑪節電ボタン

- 節電設定機能のON・OFFを切り換えます。▶13ページ

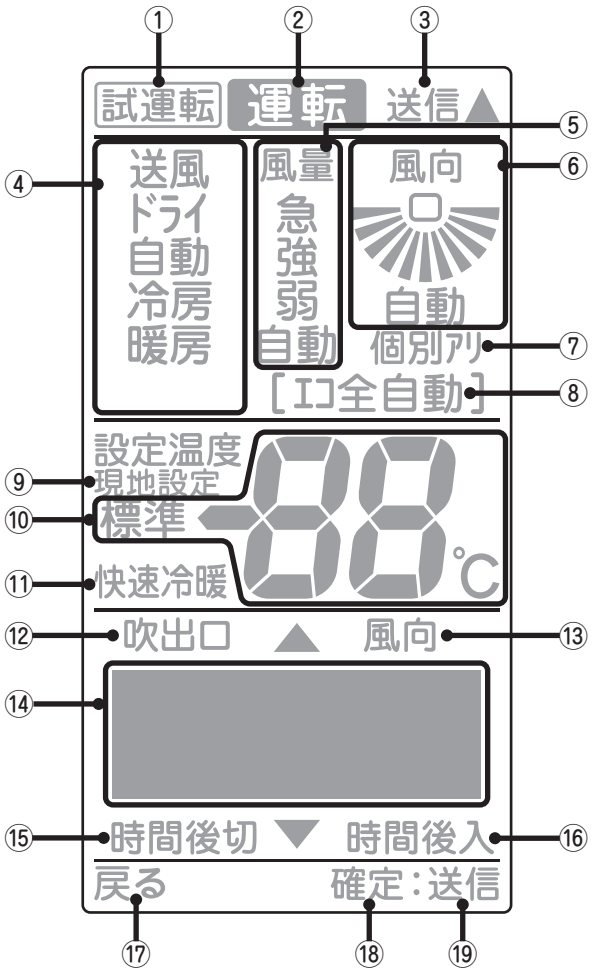
⑫戻るボタン

- メニュー画面またはメニュー設定画面を表示中にこのボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

3P308027-1E

2−2　リモコンの表示部について

液晶表示部



①試運転表示

試運転中に表示します。付属の取付説明書をご覧ください。

②運転表示

運転中に表示します。▶12ページ

③送信▲表示

室内ユニットへの信号を送信するときに点滅します。

④運転モード表示部

設定した運転モードを表示します。▶12ページ

⑤風量表示部

設定した風量を表示します。▶12ページ

⑥風向表示部

設定した風向・風向スイングを表示します。▶12ページ

⑦個別アリ表示

吹出口ごとに風向を個別に設定(風向個別設定)しているときに表示します。▶21ページ

⑧[エコ全自動]表示

「エコ全自動」を設定したときに表示されます。
また「自動」・「冷房」・「暖房」モードで運転中に、
風向・風量の両方を「自動」に設定すると表示されます。
▶20ページ

⑨現地設定表示

点検や試運転などの現地設定を行う場合に表示されます。
付属の取付説明書をご覧ください。

⑩設定温度表示

「自動」・「冷房」・「暖房」モードで運転するときの設定温度が表示されます。▶13ページ

⑪快速冷暖表示

「快速冷暖」を設定したときに表示します。(スカイエアのみ)
▶25ページ

⑫吹出口表示

風向個別設定時に、吹出口を表示します。

⑬風向表示

風向個別設定時に、風向を表示します。

⑭ドット表示部

メニューボタンを押すと、設定可能なメニューを表示します。
▶8ページ

⑮切タイマー表示

切タイマーで設定した運転停止までの時間を表示します。
▶27ページ

⑯入タイマー表示

入タイマーで設定した運転開始までの時間を表示します。
▶27ページ

⑰戻る表示

戻るボタンが有効なときに表示されます。

⑱確定表示

確定ボタンが有効なときに表示されます。

⑲送信表示

室内ユニットへ送信できる状態のときに表示します。

■表示時間

ボタン操作後に一定の時間が経過すると表示が消えます。これはリモコンの電池の消耗を抑えるためです。
- 約7秒が経過するとバックライトが消灯します。
- 約60秒が経過するとメニュー表示および設定画面が消えます。
  ただし、室内ユニットへ送信したときは、送信完了後約10秒でメニュー表示および設定画面が消えます。
- 約120秒が経過すると液晶表示部の表示がすべて消えます。

ドット表示部

■表示方法

- メニュー ボタンを押すと、ドット表示部には
  複数のメニューのうちの２つが表示されます。
- 他のメインメニューを表示するには、
  ▲ ▼ ボタンを押してスクロールします。
- 反転している部分が選択したメニューです。

▲ ボタンを1回押すごとに、ひとつ上へ
▼ ボタンを1回押すごとに、ひとつ下へ移動します。

- 再度 メニュー ボタンを押すとメニュー表示は消えます。
  またボタン操作後、約60秒が経過した場合でも
  メニュー表示は消えます。
  ※ただし、設定内容をユニットへ送信したときは、
  送信完了後約10秒でメニュー表示および設定画面は
  消えます。
- メニューを選択・確定すると、
  サブメニューまたは設定内容を表示します。
  ※サブメニューまたは設定内容の表示方法は、
  各メニューの操作方法をご覧ください。
- メニュー画面またはメニュー設定画面を表示中は、
  戻る ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

■表示範囲

- 「フィルターサインリセット」などの文字数の多いメニュー名は
  文字列の右端が一部表示されませんが、メニューを選択すると、
  反転した文字列が左右に移動し、全体を確認することができます。

3P308027-1E

2−3　リモコンの取扱いについて

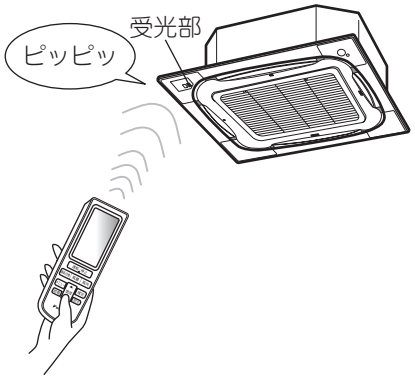
リモコンの取扱いについてご注意ください

■送信部は室内ユニットの受光部に向けて
室内ユニットとリモコンの間にカーテンなど信号を
さえぎるものがあると作動しません。

■送信距離は最大7〜9m
室内ユニットの設置状態により異なります。

■落としたり水をかけたりしない
故障する原因になることがあります。

■リモコンのボタンを先のとがったもので押さない
故障する原因になることがあります。



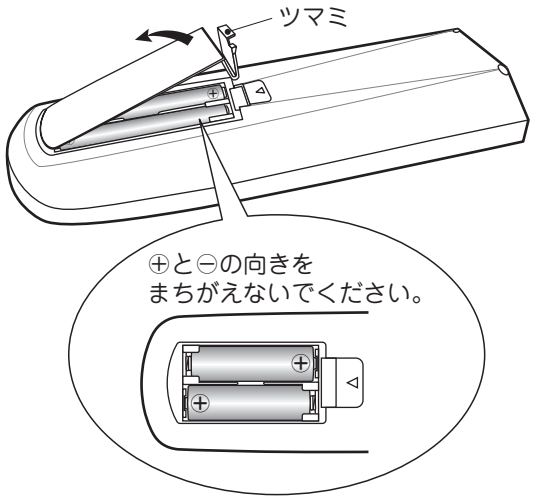
※室内ユニットの形状および受光部の位置は
機種によって異なります。
ご使用機種の詳細については
「2−4　室内ユニットの表示部について」を
ご覧ください。▶10ページ

お願い

- インバーター蛍光灯がある部屋では、信号を受け付けない場合があります。
  新しく蛍光灯をお買い上げになる場合は、販売店にご相談ください。
- リモコンでほかの電気機器が作動する場合は電気機器を離すか、
  販売店にご相談ください。

電池の入れかた

1)リモコン裏面のふたのツマミを▽印の方向へ押しながら
　矢印の方向へ開けます。
2)電池を入れます。
　アルカリ乾電池(単3)を2個お使いください。
3)元どおりふたを閉めます。



電池交換時期
通常のご使用で約1年ですが、
- 受信されにくくなる
- リモコン表示部がうすくなる

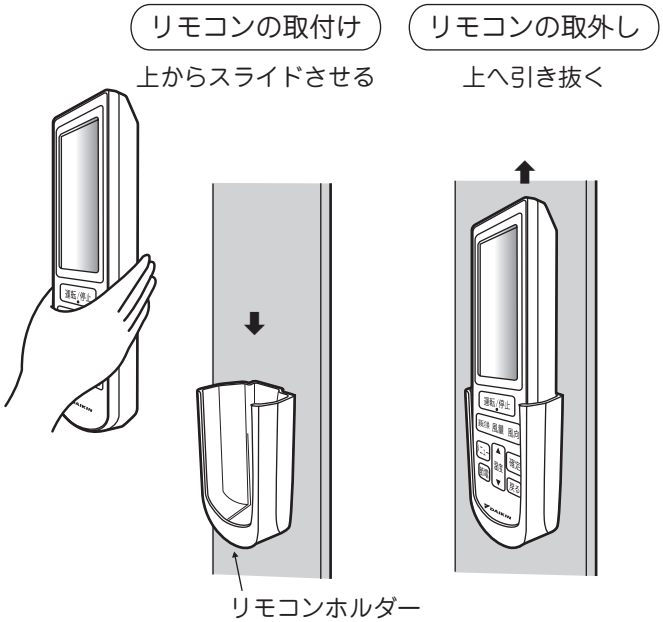
状態になりましたら、新しい乾電池と交換してください。

お願い

- 電池は、古いものや、種類のちがうものをまぜて
  使わないでください。
- 電池の漏液による故障をさけるため、長い間お使いに
  ならないときは電池を全部取り出してください。

リモコンの取付けかた

リモコンホルダーは付属のねじで、壁・柱などに取り付けます。
取付方法については付属の取付説明書をご覧ください。



お願い

- リモコンは直射日光の当たる場所には設置しないでください。
  液晶表示部が変色し表示できなくなることがあります。

2−4　室内ユニットの表示部について

ユニット表示部

①受光部
リモコンからの信号を受けます。

②運転ランプ(赤)
運転中に点灯します。また、機械異常時は点滅します。

③タイマーランプ(緑)
タイマーセットされているときに点灯します。

④フィルターサインランプ(赤)
エアフィルターの洗浄時期になると点灯します。

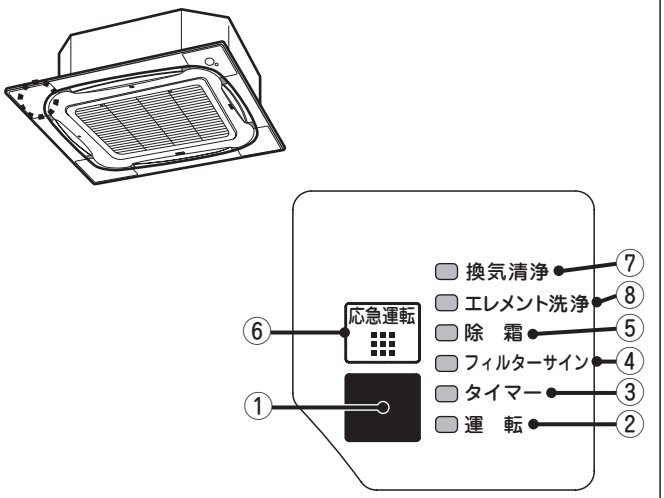
⑤除霜ランプ(橙)
除霜運転中に点灯します。
(冷房専用タイプの場合は点灯しません。)
また、電源を入れたときに数分間点滅します。

⑥応急運転ボタン
リモコンが使えないときの運転に使用します。

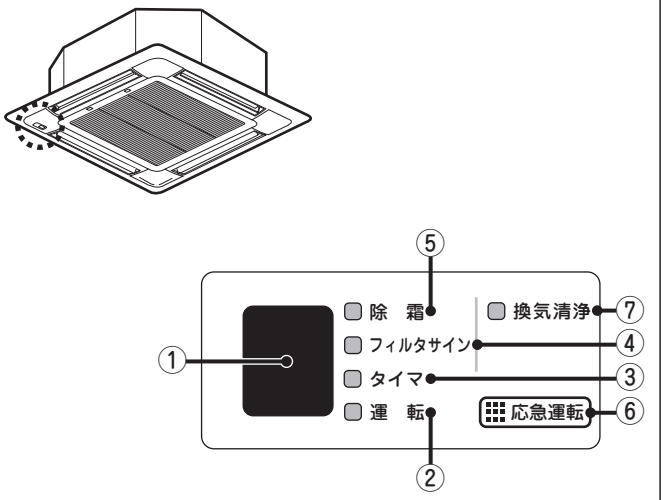
⑦換気清浄ランプ(緑)
グループ制御している空気清浄ユニットや
全熱交換ユニットが運転中に点灯します。

⑧エレメント洗浄ランプ(赤)
エレメントの洗浄時期になると点灯します。

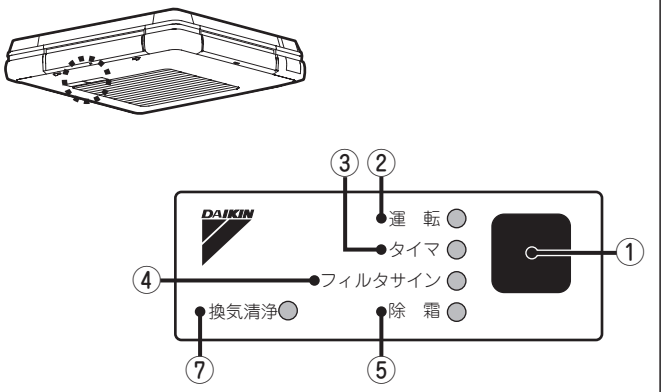
センシングフロー、ラウンドフロー
エコ・ラウンドフロー、S-ラウンドフロー



ショーカセ



天吊自在形ワンダ風流



※⑥応急運転ボタンは吸込グリルを開けた
エアコン本体側にあります。

受信音の種類

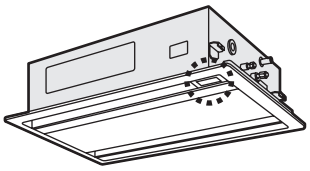
受光部がリモコンからの信号を受信すると、
次のような受信音が鳴ります。

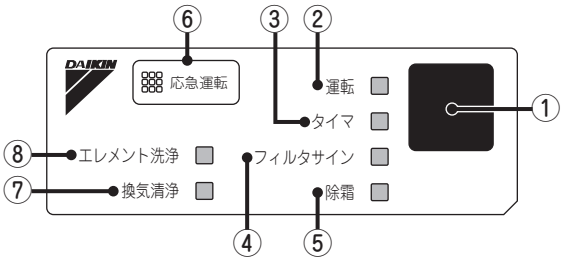
「ピッピッ」
リモコンからの信号を正しく受信しました。

「ピーッ」
(エラー音)この室内ユニットでは対応していない
設定です。

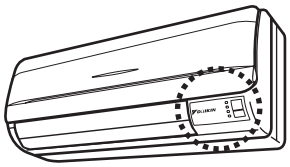
「ピッピッピッ」
(エラー音)集中管理中につき、このリモコンからの設定・
変更はできません。

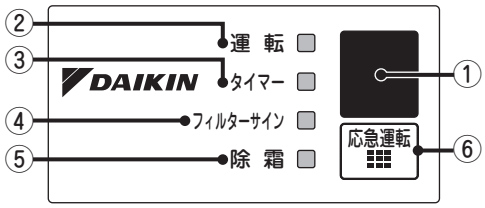
ダブルフロー



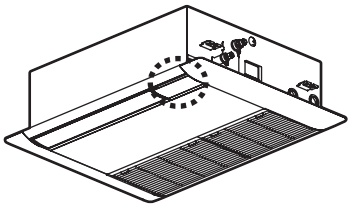


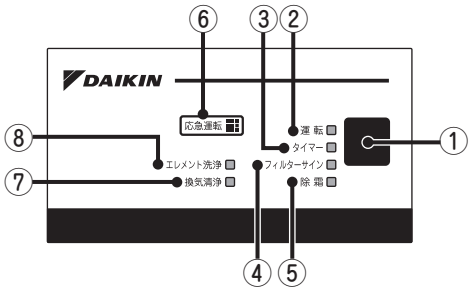
壁掛形



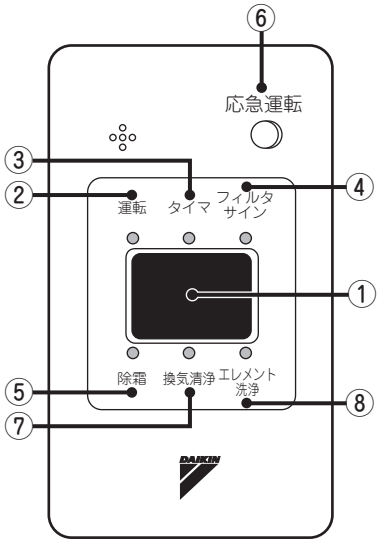


シングルフロー・コーナー

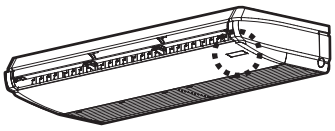


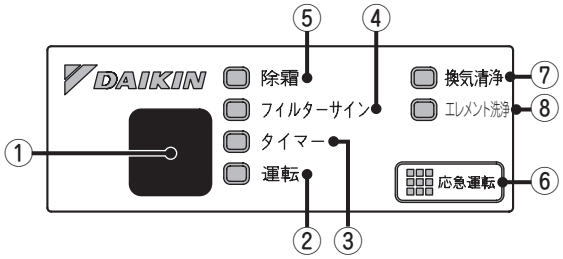


別置受光ユニット



天井吊形





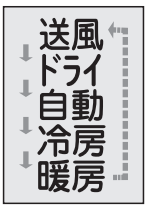
3　基本運転のしかた　ダイレクトボタンの使い方

操作する前に

●機械保護のため、運転を開始する6時間以上前にエアコンの電源を入れてください。
●シーズン中はエアコンの電源を遮断しないでください。始動を円滑にするためです。
●ビル用マルチをご使用の場合は、「3−9　ビル用マルチの運転切換について」をご確認ください。▶16ページ

3−1　運転モードを切り換える

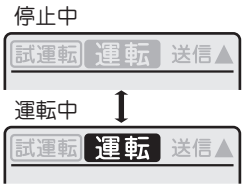
運転切換 ボタンを1回押すごとに、
運転モード表示部の運転モードが
切り換わります。



※機種によって設定できない運転モードは表示されません。
※各運転モードに関する詳細は、「3−7　運転の特性」をご確認ください。▶14ページ

3−2　運転を開始・停止する

運転/停止 ボタンを押します。
停止中に押すと運転を開始し、
運転中に押すと停止します。



3−3　風量を設定する

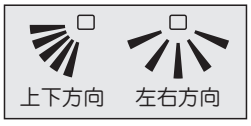
風量 ボタンを1回押すごとに
風量が切り換わります。

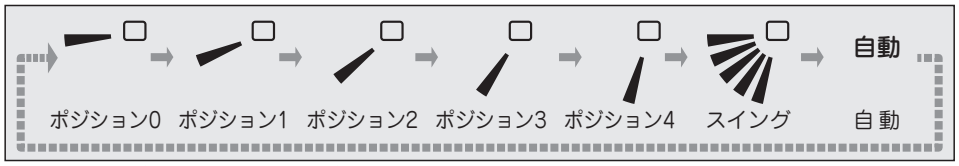
※室内ユニットの種類により「強」・「弱」の2段階調節の場合や、
「急」・「強」・「弱」の3段階調節の場合もあります。
また風量調節がない機種は、風量が表示されません。
※「自動」は設定温度と室温により風量を調節しています。
ただし、送風運転時は「強」と同じ風量になります。
※設定風量の詳細については、「3−7　運転の特性」を
ご確認ください。▶14ページ

3−4　風向を設定する

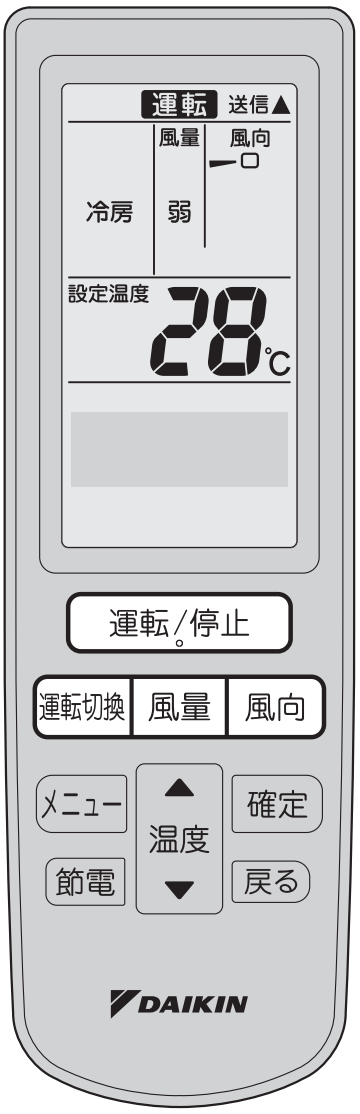
風向 ボタンを1回押すごとに風向が切り換わります。

※画面の風向表示には右記の2種類があります。
下記表示例は上下方向の場合を示しています。





※風向調節がない機種は風向が表示されません。
※設定風向の詳細については「3−7　運転の特性」▶14ページ
および「3−8　風向設定の内容と働き」▶15ページをご確認ください。



お願い

●運転停止後、すぐに電源を遮断しないでください。
ドレン排出運転のため、必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。
●設定変更や運転/停止をした場合、室内ユニットの受信音が「ピッピッ」と鳴ることを確認してください。

3P308027-1E

3−5　温度を設定する

▲ ボタンを押すごとに1℃ずつ上がり、
▼ ボタンを押すごとに1℃ずつ下がります。

設定温度の範囲

冷　房	20℃～35℃
暖　房	15℃～30℃
自　動	標準温度より−3℃～+3℃ ※「3−8　運転の内容と働き」をご覧ください。▶15ページ
ﾏｲｺﾝﾄﾞﾗｲ	設定できません
送　風	設定できません

※メニュー画面操作中は、このボタンによる設定温度の変更はできません。

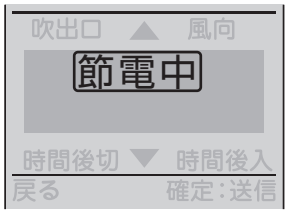
3−6　節電設定のON/OFFを切り換える

節電 ボタンを押すごとに、
節電設定のON/OFFの切換えができます。

節電設定をONにすると、電気代を抑えるために能力を制限した運転をします。

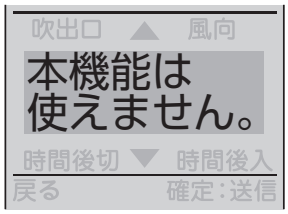
●節電設定がONのときは、ドット表示部に「節電中」が表示されます。

●節電設定ONの状態



●節電設定OFFの状態

●室内ユニットに本機能がない場合、または従リモコンの場合、節電 ボタンを押すとドット表示部に「本機能は使えません。」と表示されます。
▶17, 42ページ



※メニュー画面操作中は、このボタンによる節電設定ON/OFFの切換えはできません。
※機種によっては本機能がないものがあります。
※節電設定の節電率の設定は、「5−6−2　節電設定」をご覧ください。
▶31ページ

ご注意

メニュー画面を操作しているときは、
▲ ▼ ボタンはほかの働きをするため、設定温度の変更は行うことができません。
また 節電 ボタンは無効となります。

ご注意

基本運転(運転切換・運転/停止・風向設定・風量設定・温度設定・節電設定ON/OFF)以外はメニュー画面からの設定となります。
メニューについては「4　メインメニュー一覧」をご覧ください。▶18ページ

3−7　運転の特性

冷房・自動冷房運転

●水平吹出しまたは下吹出しの状態で連続運転した場合、風向羽根に結露しないように、
一定の間は設定と異なる風向で運転します。(リモコンには設定した風向が表示されます。)
●室内温度が低い状態で冷房運転をした場合、室内ユニット熱交換器に霜が着き冷房能力が下がる場合があります。
その場合、しばらくの間自動で除霜運転を行います。除霜運転中は溶けた水が飛ぶのを防ぐため、風量「弱」運転になります。
(リモコンには設定した風量が表示されます。このとき、室内ユニット表示部の除霜ランプは点灯しません。)
●外気温度が高い場合、設定温度になるまで時間がかかります。

暖房・自動暖房運転

運転開始時について

●一般的に暖房運転の場合、冷房運転と比べ設定温度になるまで時間がかかります。
タイマー運転を活用した事前の運転開始をおすすめします。

運転停止後について

●室内ユニット内の熱を取り去るため約1分間送風運転します。

暖房能力の低下や冷風が吹き出すのを防ぐために次の運転をします。

■ 運転開始時および除霜運転終了後

●お部屋全体を暖める温風循環方式なので、運転を開始してから温まるまで、しばらく時間がかかります。
エアコン内部の温度がある程度高くなるまでは、室内ファンは自動で微風運転をします。
そのとき室内ユニット表示部の除霜ランプが点灯します。(リモコンには設定した風量が表示されます。)
●冷風が吹き出すのを防ぐために、風向は水平になります。(リモコンには設定した風向が表示されます。)

■ 除霜運転(室外ユニットの霜取り運転)

●室外ユニットに霜が着くと暖房能力が下がるため自動で除霜運転に切り換わります。
除霜運転中は温風が止まり、室内ユニット表示部の除霜ランプが点灯します。(リモコンには設定した風量が表示されます。)
●約6〜8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。
●風向は水平になります。(リモコンには設定した風向が表示されます。)

■ 外気温度と暖房能力について

室内温度が設定温度以上になった場合、エアコンの風は微風運転になります。風向は水平になります。
(リモコンには設定した風量・風向が表示されます。)

送風運転

●室内ユニット内のファンのみが動作して、室内の空気を循環させます。

マイコンドライ運転

●マイコンドライ運転は、運転モード「ドライ」で運転を開始したときの室内温度を自動で設定温度として運転します。
また、風量を自動でコントロールします。
(リモコンには設定温度・風量の表示はされません。室内温度が下がった場合、エアコンの風が止まる場合があります。)
●水平吹出しまたは下吹出しの状態で連続運転した場合、風向羽根に結露しないように一定の間、
設定と異なる風向で運転します。(リモコンには設定した風向が表示されます。)
●室内温度が低い状態でマイコンドライ運転をした場合、室内ユニット熱交換器に霜が着く場合があります。
その場合、自動でしばらくの間、除霜運転を行います。
(このとき、室内ユニット表示部の除霜ランプは点灯しません。)

風向羽根の動き

下記の運転状態のときは自動で風向をコントロールするため、リモコンの表示とは異なる場合があります。

運転状態	設定温度より室温が高いとき(暖房運転の場合)	風が直接体に当たらないように、水平吹出しとなります。
	暖房運転開始時、除霜運転時(暖房運転の場合)	冷風が直接体に当たらないように、水平吹出しとなります。
	下吹出しまたは水平吹出しの状態で連続運転したとき	風向羽根に結露しないように一定の間、設定と異なる風向で運転します。
	ドラフト低減が有効なとき	人を検知して風が直接体に当たらないように、水平吹出しとなります。

※暖房運転は、「自動」運転の場合も含みます。
※機種によって異なりますので、室内ユニットの取扱説明書をご確認ください。

3−8　運転の内容と働き

冷　房	室内の温度を涼しくします。 おすすめ設定温度は 26〜28℃ です。
暖　房	室内の温度を暖めます。 おすすめ設定温度は 18〜23℃ です。
送　風	室内の空気を循環させます。
マイコンドライ	冷え過ぎを防止するために室内温度をできるだけ下げないよう、弱めの冷房運転と停止を繰り返し温度と風量を自動でコントロールすることで湿気を取ります。
自　動	室内の温度に合わせて冷房運転と暖房運転を自動で切り換えます。 設定温度は、**標準**(冷房27℃・暖房22℃)となります。

自動(冷暖自動)について

自動モードで運転を開始すると、室内温度に合わせて運転内容と設定温度を自動で選び運転を始めます。
また、運転中も室内温度の変化に応じて運転内容と設定温度を自動で切り換えます。

●標準温度の場合、室内温度の変化に伴い、下表のように運転内容と設定温度が切り換わります。

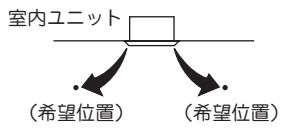
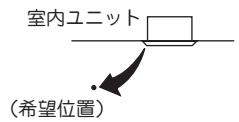
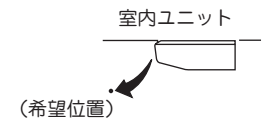
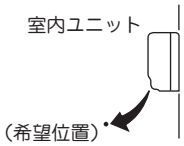
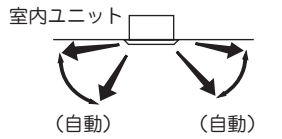
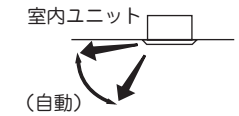
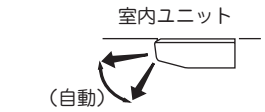
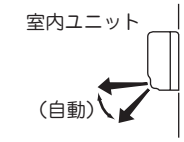
室内温度	運転内容	設定温度
27℃以上	冷房	27℃
27℃未満25℃以上	送風	27℃
25℃未満22℃以上	送風	22℃
22℃以下	暖房	22℃

※設定温度は、お好みに合わせて標準温度より＋3℃(高め)から−3℃(低め)の範囲で変更できます。
設定温度を変更すると、運転モードが切り換わる温度も同様にシフトしていきます。

3

風向設定の内容と働き

風向羽根の可動範囲は室内ユニットの機種によって異なりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

風向設定	ラウンドフロー、センシングフロー エコ・ラウンドフロー、S-ラウンドフロー ダブルフロー、ショーカセ、ワンダ風流	シングルフロー コーナー	天吊	壁掛
固　定	●ポジション0からポジション4の範囲でご希望の位置に風向を固定させることができます。 			
スイング	●ポジション0からポジション4の範囲で風向羽根を自動で往復動作させます。 			
自　動	●室温や人の在否により自動で風向を変化させます。ただし送風運転時はポジション0になります。 ※機種によっては、本機能が設定できないものがあります。			
個　別	●上記、3とおりの風向と「風ブロック(風向羽根が反転して吹出口を閉じた状態)」を吹出口ごとに設定することができます。▶21ページ ※風ブロックは1方向のみ設定できます。 ※機種によっては、本機能が設定できないものがあります。			

使用条件

下記以外の使用条件で長時間運転すると、安全装置が働き運転しないことや室内ユニットから露が落ちたり、または室内ユニット内部で凍結し水漏れの原因になることがあります。

運転モード	タイプ		使用条件(室内ユニット吸込空気)			
			スカイエア		ビル用マルチ	
			温度	湿度	温度	湿度
冷房	冷暖房兼用・冷房専用		21〜32℃	80%以下	21〜35℃注)2	80%以下
暖房	冷暖房兼用		15〜27℃	−	15〜27℃	−
自動	冷暖房兼用	冷房	21〜32℃	80%以下		
		暖房	15〜27℃	−		

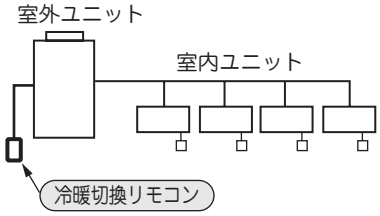
注)1. 室内ユニットの使用条件は接続する室外ユニットにより異なります。室外ユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。
2. ビル用マルチの水熱源ユニットに接続した場合の室内使用温度条件は、21〜32℃です。
3. ビル用マルチの外気処理エアコンの使用条件は、当該機種の取扱説明書をご覧ください。
4. 機種によっては、設定可能範囲全域にわたっての設定ができない機種があります。詳しくは販売店にお問合わせください。

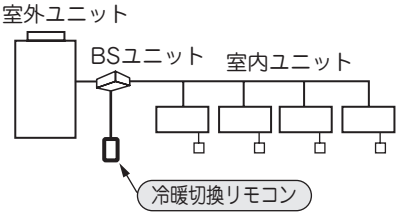
3−9　ビル用マルチの運転切換について

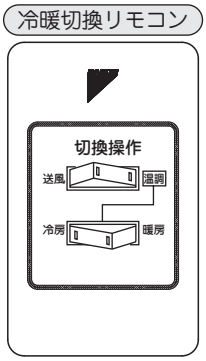
ビル用マルチシステムでは、室外ユニット（またはBSユニット）で「温調（冷房・暖房）」・「送風」運転の一括切換を行うために、室外ユニット（またはBSユニット）に「**冷暖切換リモコン**」を設置する場合があります。（下記A参照）
また、「冷暖切換リモコン」を設置していないシステムでは、複数の室内ユニットのうち特定の室内ユニットに「**冷暖選択権**」を設定して「冷房」・「暖房」の切換権限をもたせることで、ほかの室内ユニットの運転切換を管理します。（下記B参照）

A　「冷暖切換リモコン」を設置している場合

●ワイヤレスリモコンで運転切換を行う前に、「冷暖切換リモコン」を下表のとおり設定してください。





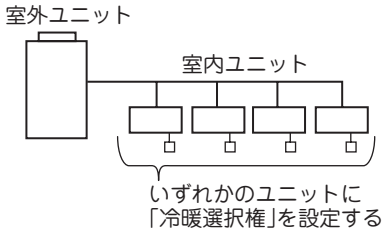


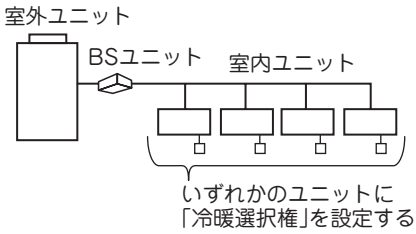
冷暖切換リモコンの運転モードと設定		ワイヤレスリモコンで切換可能な運転モード
冷房 マイコンドライ	上段：温調　下段：冷房	冷房・マイコンドライ・送風
暖房	上段：温調　下段：暖房	暖房・送風
送風	上段：送風　下段：ー	送風のみ

※「冷暖切換リモコン」を設置している場合、「自動」運転はできません。

B　「冷暖切換リモコン」を設置していない場合

●ワイヤレスリモコンを使って、はじめに下記の手順で特定の室内ユニットに「冷暖選択権」を設定してください。





1）ワイヤレスリモコンの運転切換ボタンを約4秒間押し続けます。
同一の室外ユニットまたはBSユニットにつながっている、すべての室内ユニットの表示部にあるタイマーランプが点滅します。

2）「冷暖選択権」を設定したい室内ユニットに向けて
もう1度運転切換ボタンを押します。
設定したい室内ユニット表示部のタイマーランプの点滅が止まると設定完了です。

※表示部の形式は機種によって異なります。

ワイヤレスリモコンでの運転切換は、「冷暖選択権」をもつ室内ユニットに向けて送信してください。
「冷暖選択権」をもたない室内ユニットの運転は、「冷暖選択権」をもつ室内ユニットに追従します。
「冷暖選択権」の設定を変更する場合は、1〜2）の手順を再度行ってください。
※「冷暖選択権」のない室内ユニットに向けて送信すると、冷暖切換や運転モードの切換えはできずに「ピーッ」というエラー音が鳴ります。

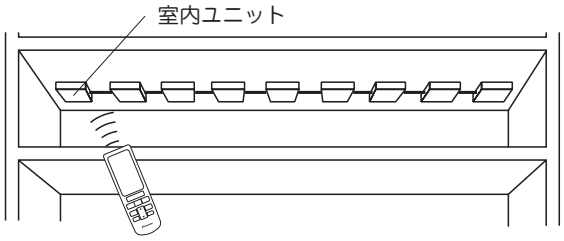
3P308027-1E

3−10 複数台同時運転の場合

複数台の室内ユニットを同時運転するシステムの場合、下記のリモコン制御が可能です。

1つのリモコンでグループ制御

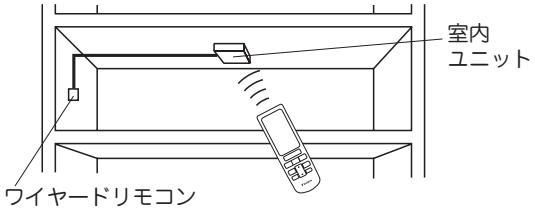
●1つのリモコンで最大16台まで運転操作できます。
●すべての室内ユニットが同じ設定となります。



3−11 2リモコン制御の場合

2リモコン制御

●2つのリモコン(ワイヤードとワイヤレス)で
1台(グループ制御の場合は1グループ)の
室内ユニットを運転操作できます。
このとき、ワイヤードリモコンは主リモコンに、
ワイヤレスリモコンは従リモコンになります。
また、ワイヤレスのみの2リモコン制御はできません。
●別置受光ユニットでの2リモコン制御は、
ワイヤレスリモコンからタイマー運転はできません。
また、室内ユニット表示部の表示は、
運転ランプのみになります。
●ワイヤードリモコンで運転操作した場合、
ワイヤレスリモコンの表示は変更されません。



お願い

- グループ制御・2リモコン制御の組合わせや設定については、必ずお買い上げの販売店にご確認ください。
- グループ制御・2リモコン制御の組合わせや設定を変更される場合はご自分でなさらずに、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

リモコンを併設する場合のメニュー項目の設定について

室内ユニットを2つのリモコンで制御する場合、従リモコンでは下記のメニュー項目の設定ができません。
主リモコン(ワイヤード)で設定してください。

●風向個別　●消し忘れタイマー　●節電設定　●ドラフト低減
●設定温度自動復帰　●不在時停止　●不在時省エネ

4 メインメニュー一覧

メインメニューには次の項目があります。★機種によっては本機能がないもの(一部機能が制限されるもの)があります。

メニュー		詳細内容	操作ページ
エコ全自動★		室温や人の在否により風量および風向を自動で制御し、省エネ運転を行います。 エコ全自動を解除するときは風量または風向を「自動」以外に設定してください。	20
風向個別★	個別設定	室内ユニットの吹出口ごとに風向を設定します。 ●吹出口付近に表示している吹出口マーク(□・□□・□□□・□□□□)に合わせておのおのの風向を設定します。 ●スカイエアの場合は同時運転マルチで最大4台(ユニットA・B・C・D)まで設定可能です。 ●ビル用マルチの場合は、1グループで最大16台(ユニット0～15)まで設定可能です。	21
	個別設定 オールリセット	風向個別設定の内容をすべてリセットします。	24
快速冷暖★		すばやく快適な室内温度にします。 (マイコンドライ・送風運転の場合を除く。) ●快速冷暖運転は、最大30分です。	25
タイマー設定	切タイマー	運転時に停止させるまでの時間を1時間単位で設定します。	27
	入タイマー	停止時に運転させるまでの時間を1時間単位で設定します。	27
	消し忘れ タイマー	運転開始～停止までの時間を設定します。 ●設定時間は10分単位で30～180分まで選択可能です。	28
省エネ・節電	節電設定★	定格電力を100%として設定した節電率(%)以下で節電運転します。 ※節電中は電力消費のピークを制限するため、室温が設定温度に至らない場合があります。快適性を優先したい場合は節電設定をOFFにするか節電率の設定により最大出力を調整してください。 (サーバールームなど人のいない環境でご使用の場合は、必ず本設定が解除されていることを確認してください。)	31
	温度自動復帰	リモコンの設定温度を変更しても一定時間後に設定した温度に戻します。 ●設定時間は30分単位で30～120分まで選択可能です。 ●冷房復帰温度は20～35℃、暖房復帰温度は15～30℃です。 ※自動運転時は機能しません。	32
	温度範囲制限	設定温度範囲を制限します。 ●運転モードによる温度範囲の制限が可能です。 ※自動運転時は機能しません。	33
	不在時停止★	人がいない状態が一定時間続いた場合、自動で運転を停止します。 ●設定時間は30分単位で60～180分まで選択可能です。 ※人検知センサー機能付きの機種のみ対応しています。 サーバールームなど人のいない環境でご使用される場合は、必ず本設定が無効となっていることを確認してください。	34
	不在時省エネ★	人がいない状態が一定時間続いた場合、自動で空調目標温度を変化させて能力を制限した運転を行います。 人を検知すると通常の設定温度に戻します。 ※人検知センサー機能付きの機種のみ対応しています。 サーバールームなど人のいない環境でご使用される場合は、必ず本設定が無効となっていることを確認してください。	35
連絡先表示		サービス連絡先を表示します。	36
ドラフト低減★		風向自動(エコ全自動)設定時に、人を検知すると風向を水平向きにして風あたりによる不快感を低減させます。 ※人検知センサー機能付機種のみ対応しています。 ※本機能は初期状態で有効になっています。	37
バックライト調整		バックライト(画面の明るさ)の調整を行います。	38
コントラスト調整		液晶の濃度の調整を行います。	39
フィルターサインリセット		ユニット表示部のフィルターサインランプやエレメント洗浄ランプを消します。 ※詳細は室内ユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。	41

注)接続する機種により設定できる項目が異なります。メニューには設定可能な項目のみが表示されます。

5　メニューの操作

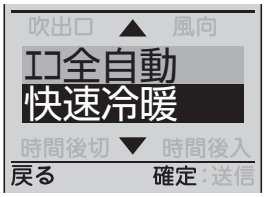
メニューをリモコンに表示して操作します。
※機種によって対応していないメニューがあります。その場合表示されません。

5−1　メインメニューを表示する

操作方法

1 **メニューボタンを押します。**
ドット表示部に2つのメニューが表示されます。

2 **▲または▼ボタンを押すと画面がスクロールします。**
設定したいメニューを選択します。
※反転している部分が選択中のメニューです。▶8ページ



確定ボタンを押します。
ドット表示部に、選択したメニューの設定内容またはサブメニューが表示されます。
※右記は「快速冷暖」を選択・確定した場合の表示です。

選択したメニューの詳細を設定するには、各メニューの操作方法をご覧ください。
▶20〜39ページ

ご注意

ボタン操作後に約60秒が経過すると、メニュー表示および設定画面が消えて基本画面に戻ります。
ただし、ユニットへ送信したときは、送信完了後約10秒で消えます。
これはリモコンの電池の消耗を抑えるためです。
操作中に基本画面に戻った場合は、再度1の手順からやりなおしてください。

5−2　エコ全自動

室温や人の在否により風量および風向を自動で制御し、
省エネ運転を行います。

※この機能は「冷房」・「暖房」・「自動」運転時にのみ有効です。
※風量と風向に「自動」モードがない機種は対応できません。

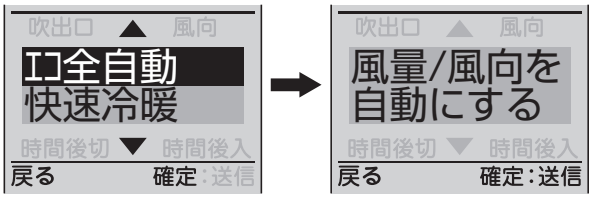
操作方法

1

メニューボタンを押し、エコ全自動を選択します。

ドット表示部にメニューが表示されます。

※通常「エコ全自動」はメニューの先頭にあります。
ほかのメニューが選択されている場合は、
▲または▼ボタンで
スクロールして選択してください。



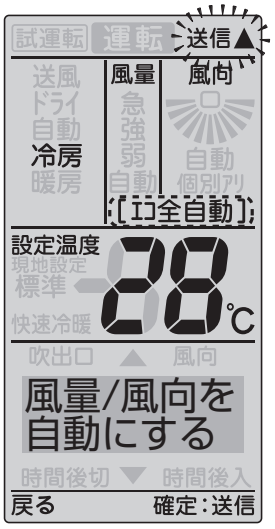
確定ボタンを押します。

メニュー表示部に、「風量／風向を自動にする」と表示されます。

2

もう1度確定ボタンを押します。

「送信▲」表示が2度点滅して、室内ユニットの受信音が「ピッピッ」と鳴ります。
基本画面には［エコ全自動］が表示されます。
これで設定完了です。



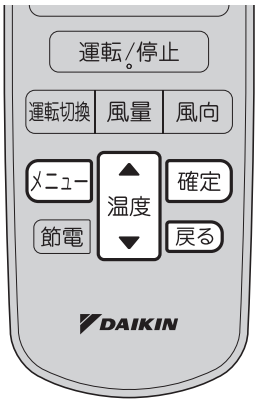
#

エコ全自動は、風量・風向ボタンを押して、風量・風向の両方を「自動」にすることでも設定ができます。
エコ全自動を解除するときは、風量・風向ボタンのどちらかを押して、「自動」以外に設定してください。

※風量・風向の設定は「3　基本運転のしかた」をご覧ください。▶12ページ

5−3　風向個別

吹出口ごとに独立した風向羽根を制御し、
風向を個別設定します。
※機種によっては対応していない機能があります。その場合表示されません。

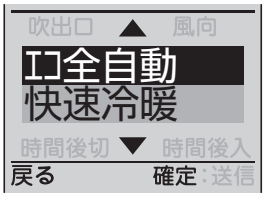


5−3−1　風向個別設定メニューを表示する

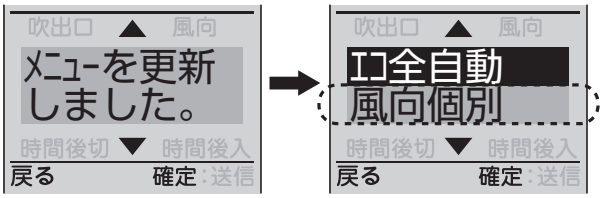
操作方法

1 **メニューボタンを押します。**
ドット表示部にメニューが表示されます。

※このとき「風向個別」はメニュー項目に含まれていません

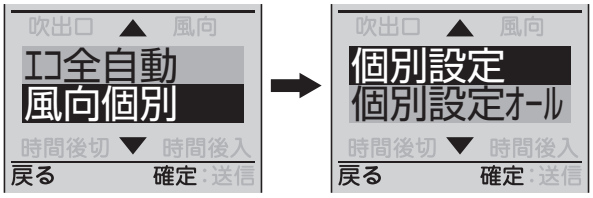


2 **メニュー表示中に、もう一度メニューボタンを4秒以上押し続けます。**
ドット表示部に「メニューを更新しました。」と表示され、
その直後に「風向個別」が追加されたメニューが表示されます。



3 **▲または▼ボタンを押して風向個別を選択します。**

確定ボタンを押します。
ドット表示部にサブメニューの
「個別設定」・「個別設定オールリセット」が表示されます。



詳細の設定・解除のしかたについては、「5−3−2　個別設定」▶22ページおよび
「5−3−3　個別設定オールリセット」▶24ページをご覧ください。

5−3−2　個別設定

吹出口ごとに風向(「風向固定」・「スイング」・「風ブロック」・「個別ナシ」)を設定します。

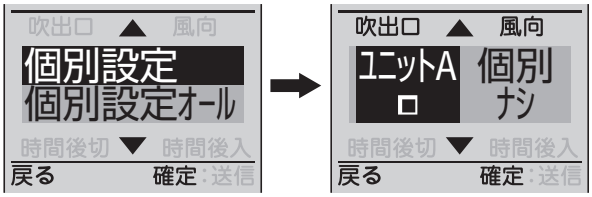
※「風ブロック」は1方向のみ設定可能です。
※機種によっては対応していない機能があります。

操作方法

1 **この設定を行うには、はじめに「5−3−1　風向個別設定メニューを表示する」の操作を行ってください。**
▶21ページ

2 **▲または▼ボタンを押して 個別設定 を選択します。**

※通常「個別設定」は右図のようにメニューの先頭にあります。
ほかのメニューが選択されている場合は、
▲または▼ボタンでスクロールして選択してください。

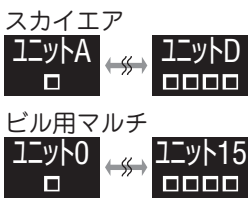


確定ボタンを押します。

ドット表示部に設定内容が表示されます。
●左側：(上段)ユニット名・(下段)吹出口、右側：風向
●反転している側が選択中の項目です。

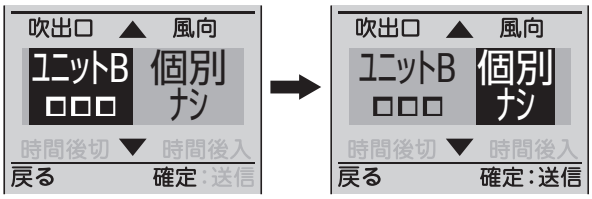
3 **左側が反転している状態で、▲または▼ボタンを押して、設定するユニットと吹出口を選択します。**

●ユニット：スカイエアは同時運転マルチで最大4台(ユニットA〜D)まで設定可能です。
ビル用マルチは1グループで最大16台(ユニット0〜15)まで設定可能です。
●吹出口：　吹出口付近に表示された吹出口マーク(□・□□・□□□・□□□□)にあわせて吹出口を選択します。

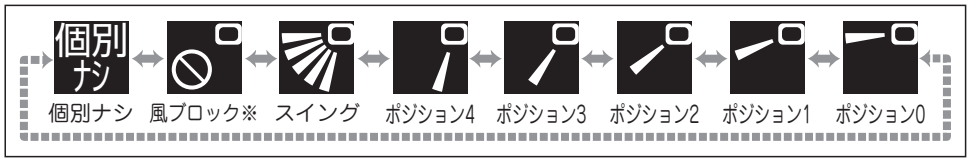


確定ボタンを押します。

左側のユニット・吹出口が確定し、
反転部分が右側の風向部分へ移動します。

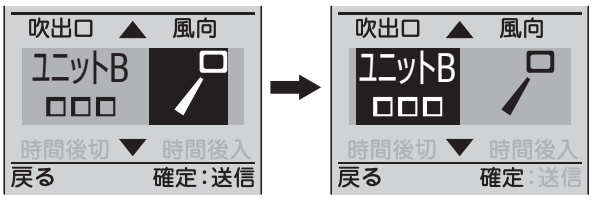


4 ▲または▼ボタンを押し、設定した吹出口に対してご希望の風向を選択します。



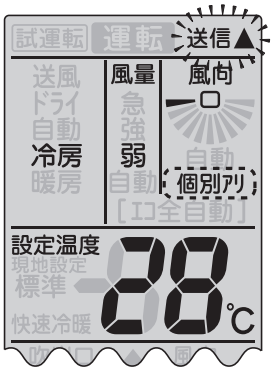
確定ボタンを押します。

「送信▲」表示が2度点滅して、
室内ユニットの受信音が「ピッピッ」と鳴ります。
反転部分は左側のユニット・吹出口部分へ移動します。
これで設定は完了です。
※「風ブロック」機能は、以下の機種にのみ対応しています。
以下の機種以外は、リモコンに「風ブロック」が
表示されても設定することはできません。
「風ブロック」対応機種：FHCP-B～, C～, D～
FHCXP-B, CB
FXYFP-B, BA, C
FGXFP-B, C



●つづけて別の吹出口の風向を設定する場合は、3、4の手順を繰り返してください。

各吹出口の風向を設定するたびに、「送信▲」表示が2度点滅して、
室内ユニットの受信音が「ピッピッ」と鳴ります。
風向個別設定を行うと、風向表示部に「個別アリ」が表示されます。



5

5−3−3　個別設定オールリセット

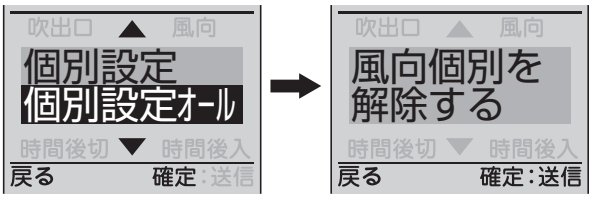
風向個別設定を一括で解除します。

操作方法

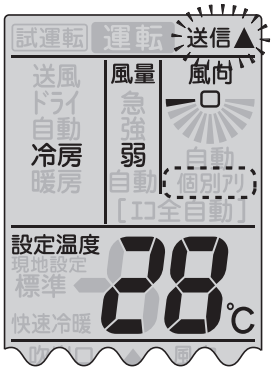
1 **この設定を行うには、はじめに「5−3−1　風向個別設定メニューを表示する」の操作を行ってください。**
▶21ページ

2 **▲または▼ボタンを押して**
個別設定オールリセット を選択します。

確定ボタンを押します。
ドット表示部に「風向個別を解除する」と表示されます。



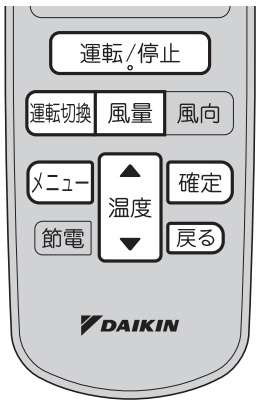
3 **もう1度確定ボタンを押します。**
「送信▲」表示が2度点滅して、室内ユニットの受信音が「ピッピッ」と鳴ります。
基本画面の「個別アリ」表示が消灯すると、設定完了です。



5−4　快速冷暖

室内ユニットの風量を自動でコントロールし、
室外ユニットの能力を上げて、すばやく快適な室温にします。

※最大30分間運転し、自動で通常運転に戻ります。
※運転切換や風量切換を行ったときも、通常運転に戻ります。
※「冷房」・「暖房」・「自動」で運転中の場合のみ有効です。「送風」・「ドライ」の場合は設定できません。
※風量表示は「自動」に固定されます。
※暖房運転時、風量がアップし、通常より吹出温度が低くなる場合があります。
　お好みに合わない場合は、解除してください。



操作方法

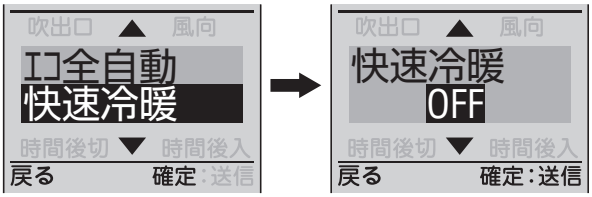
1　メニュー **ボタンを押します。**

ドット表示部にメニューが表示されます。

2　▲ **または** ▼ **ボタンを押して**
快速冷暖 を選択します。

確定 **ボタンを押します。**

ドット表示部に、「快速冷暖**OFF**」が表示されます。

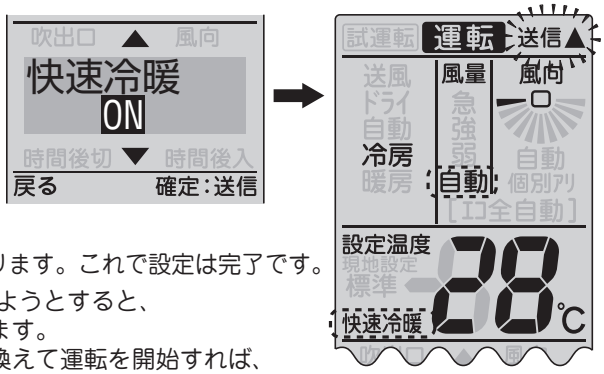


3　**●快速冷暖を設定(ON)する場合は、**
▲ **または** ▼ **ボタンを押して**
「快速冷暖ON」を選択します。

確定 **ボタンを押します。**

「送信▲」表示が2度点滅して、室内ユニットの受信音が
「ピッピッ」と鳴ります。
基本画面の「快速冷暖」表示が点灯し、風量表示が「自動」に変わります。これで設定は完了です。

※運転停止中または「送風」・「ドライ」で運転中に設定(ON)しようとすると、
「快速冷暖」表示が10秒間点滅して、設定操作は無効となります。
ただし、10秒間の点滅中に「冷房」・「暖房」・「自動」に切り換えて運転を開始すれば、
「快速冷暖」表示が点灯に変わり、設定を完了させることができます。

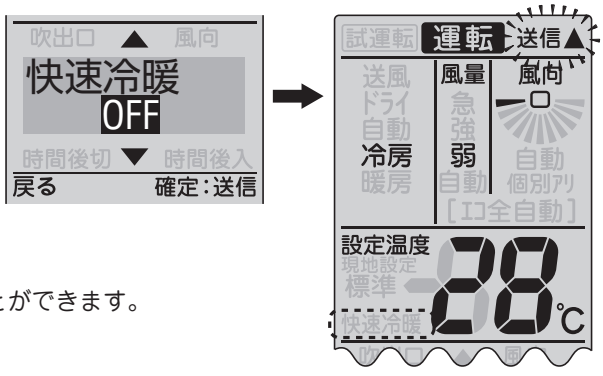


●設定した快速冷暖を解除(OFF)する場合は、
▲ **または** ▼ **ボタンを押して**
「快速冷暖OFF」を選択します。

確定 **ボタンを押します。**

「送信▲」表示が2度点滅して、室内ユニットの受信音が
「ピッピッ」と鳴ります。
「快速冷暖」表示が消灯すると解除は完了です。

※風量を「自動」以外に切り換えることでも解除(OFF)することができます。



5−5　タイマー設定

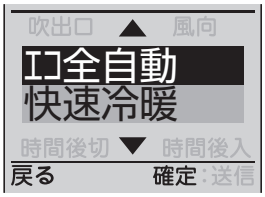
3種類のタイマー設定ができます。
- ●切タイマー：設定した時間が経過すると運転を停止します。
- ●入タイマー：設定した時間が経過すると運転を開始します。
- ●消し忘れタイマー：運転開始するたびに、設定時間が経過すると運転を停止します。

※切タイマーと消し忘れタイマーの併用はできません。
※切タイマーと入タイマーは都度の設定が必要です。
※消し忘れタイマーは1度設定すると継続して有効です。
（運転/停止ボタンを押して運転開始した場合にのみ有効です。）

5−5−1　タイマー設定メニューを表示する

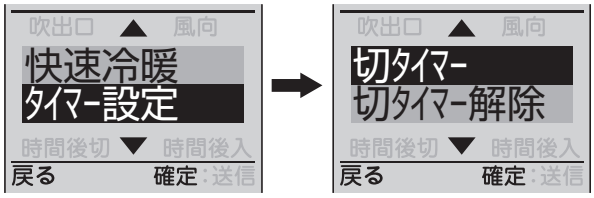
操作方法

1 **メニューボタンを押します。**
ドット表示部にメニューが表示されます。



2 **▲または▼ボタンを押して**
タイマー設定を選択します。

確定ボタンを押します。
表示部にタイマー設定のサブメニューが表示されます。
- ●切タイマー
- ●切タイマー解除
- ●入タイマー
- ●入タイマー解除
- ●消し忘れタイマー
- ●消し忘れタイマー解除



選択したタイマーの設定・解除のしかたについては、各操作方法をご覧ください。▶27〜28ページ

5−5−2　切タイマー・入タイマー

運転停止(切)または運転開始(入)までの時間を1時間単位で設定します。

※設定した時間はタイマー運転完了時に解除されるので、ご使用の都度設定してください。

操作方法

1 **この設定を行うには、はじめに「5−5−1　タイマー設定メニューを表示する」の操作を行ってください。**
▶26ページ

2 **▲または▼ボタンを押して**
切タイマーまたは入タイマーを選択します。

●切タイマーの場合

●入タイマーの場合

確定ボタンを押します。

ドット表示部に切タイマーまたは入タイマーの設定時間が表示されます。
※現在の設定時間が表示されています。

●切タイマーの場合

●入タイマーの場合

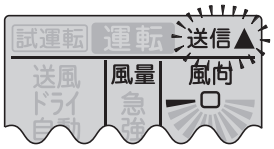
3 **▲または▼ボタンを押して、**
ご希望の運転停止時間または運転開始時間を設定します。
※1時間単位で、1〜72時間の範囲で設定可能です。

●切タイマーの場合

●入タイマーの場合

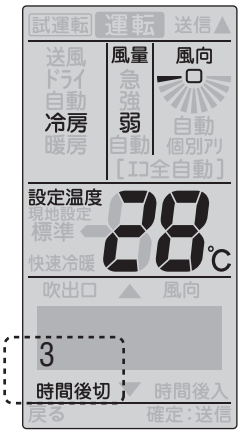
確定ボタンを押します。

「送信▲」が2度点滅し、室内ユニットの受信音が「ピッピッ」と鳴ります。
これで切タイマーまたは入タイマー時間の設定は完了です。

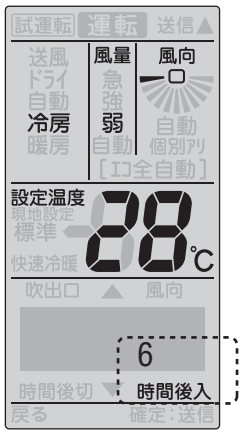


基本画面に戻ると、ドット表示部に設定時間が表示されます。
※基本画面に戻るには、戻るボタンを数回押してください。

●切タイマーの場合



●入タイマーの場合



5−5−3　消し忘れタイマー

運転開始するたびに、設定時間が経過すると運転を停止します。

※消し忘れタイマーは1度設定すると継続して有効です。

操作方法

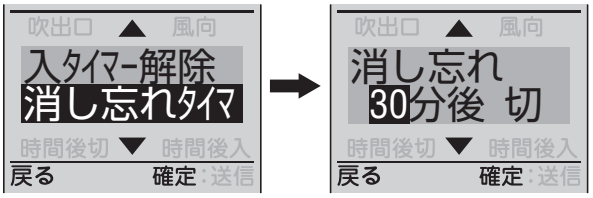
1 **この設定を行うには、はじめに「5−5−1　タイマー設定メニューを表示する」の操作を行ってください。**
▶26ページ

※「切タイマー」と「消し忘れタイマー」は同時に設定できません。

2 **▲または▼ボタンを押して**
消し忘れタイマー を選択します。

確定ボタンを押します。

ドット表示部に消し忘れタイマーの設定時間が表示されます。
※30分(初期設定値)または前回の設定時間が表示されています。

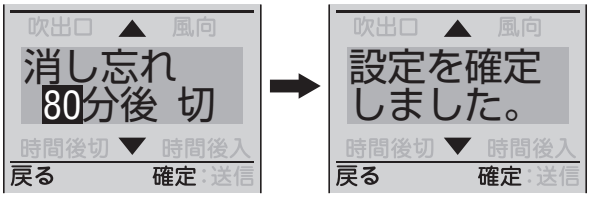


3 **▲または▼ボタンを押して、**
ご希望の運転停止時間を設定します。

10分単位で、30〜180分の範囲で設定可能です。

確定ボタンを押します。

ドット表示部に「設定を確定しました。」が約1秒間表示されます。
これで消し忘れタイマー時間の設定は完了です。



5−5−4　タイマーの解除

設定した各タイマーを解除します。

操作方法

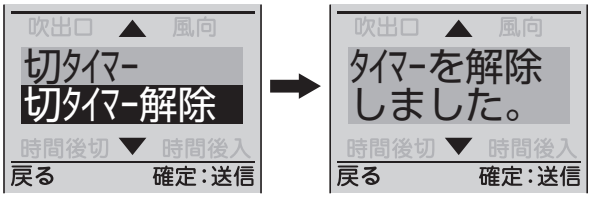
1 **この設定を行うには、はじめに「5−5−1　タイマー設定メニューを表示する」の操作を行ってください。**
▶26ページ

2 **▲または▼ボタンを押して、**
解除メニュー(切タイマー解除 ・ 入タイマー解除 ・
消し忘れタイマー解除)を選択します。

確定ボタンを押します。

ドット表示部に「タイマーを解除しました。」が約1秒間表示されるとタイマーの解除は完了です。

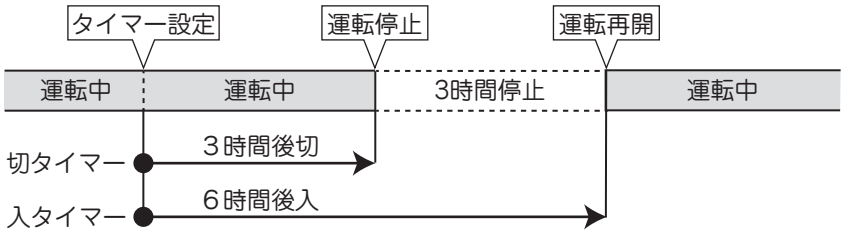
※右図は「切タイマー」を解除した場合の表示です。



タイマー使用例

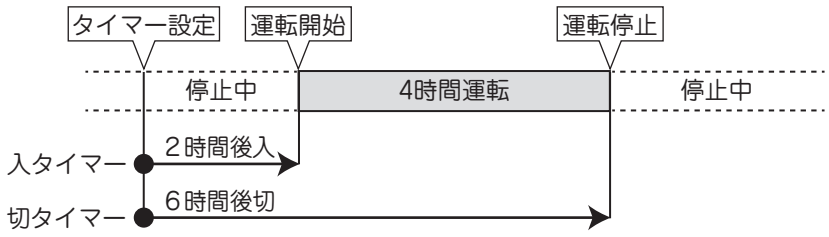
■切タイマーと入タイマーを組み合わせて使用する

(例)運転中、今から3時間後に運転を停止し、6時間後に運転を再開する。



切タイマーにより運転が停止すると、切タイマーの時間表示が消えて、
入タイマーの時間表示は「6時間後入」から「3時間後入」に変更されます。

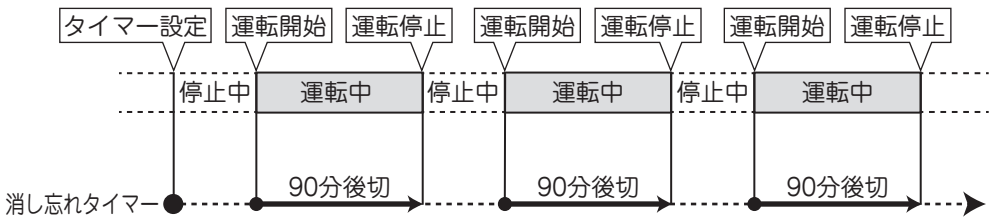
(例)停止中、今から2時間後に運転を開始し、6時間後に運転を停止する。

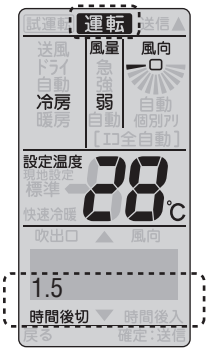


入タイマーにより運転が開始すると、入タイマーの時間表示は消えて、
切タイマーの時間表示は「6時間後切」から「4時間後切」に変更されます。

■消し忘れタイマーを使用する

(例)運転を開始すると、毎回90分後に運転を停止する。 ※ 運転/停止 ボタンを押して運転開始した場合にのみ有効です。





設定後は、 運転/停止 ボタンで運転を開始すると設定時間が表示されます。
停止中は表示しません。また、設定はタイマーを解除するまで繰り返し有効です。

ご注意

- 切タイマーおよび入タイマーは、運転中・停止中に関わらず、タイマーを設定した時点からカウントを開始します。
- 切タイマーと消し忘れタイマーは併用できません。
- 消し忘れタイマーは、 運転/停止 ボタンを押して運転開始した場合にのみ有効です。
  入タイマーで運転開始した場合は、消し忘れタイマーは動作しません。
- 消し忘れタイマーは1度設定すると運転開始のたびに動作を繰り返します。
  無効にしたいときや切タイマーを使用するときは「消し忘れタイマー解除」を行ってください。

5−6　省エネ・節電

5種類の機能が設定できます。

●節電設定　●温度自動復帰　●温度範囲制限
●不在時停止　●不在時省エネ

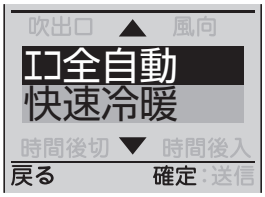
※対応していない機種の場合はリモコンに表示されません。

5−6−1　省エネ・節電メニューを表示する

操作方法

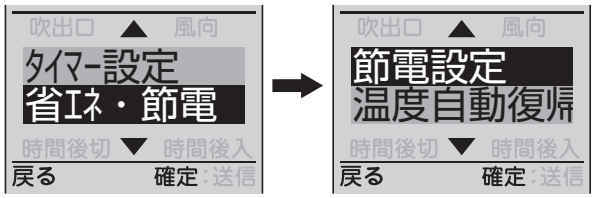
1　**メニューボタンを押します。**

ドット表示部にメニューが表示されます。



2　**▲または▼ボタンを押して**
省エネ・節電を選択します。

確定ボタンを押します。



ドット表示部にサブメニューが表示されます。

●節電設定
●温度自動復帰
●温度範囲制限
●不在時停止
●不在時停止解除
●不在時省エネ

詳細の設定・解除については、各操作方法をご覧ください。▶31〜35ページ

5−6−2　節電設定

定格電力を100%として設定した節電率(%)以下で節電運転します。

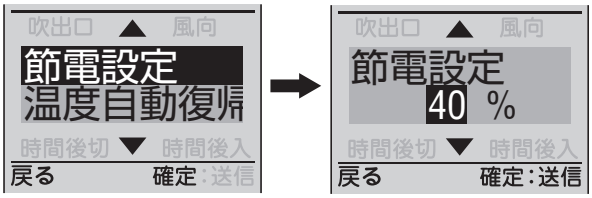
※設定した節電率を有効にするには、
節電 ボタンで節電設定ONに切り換える必要があります。

操作方法

1 **この設定を行うには、はじめに「5−6−1　省エネ・節電メニューを表示する」の操作を行ってください。**
▶30ページ

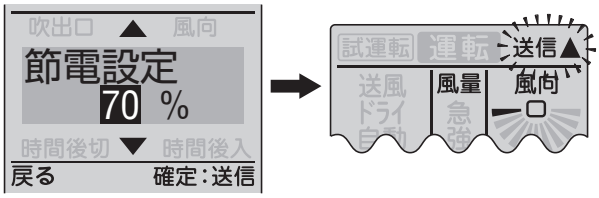
2 **▲ または ▼ ボタンを押して**
節電設定 を選択します。

確定 ボタンを押します。
ドット表示部に、節電設定の節電率が表示されます。



3 **▲ または ▼ ボタンを押して節電率を設定します。**

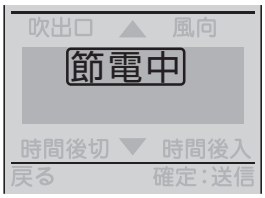
節電率の設定範囲
ご使用の機種によって異なりますので、表示にしたがって設定してください。
●40%と70%のどちらかを選択
●40〜100%の範囲で、5%単位で設定
※節電率を設定できない機種の場合は表示されません。



確定 ボタンを押します。
「送信▲」表示が2度点滅して、室内ユニットの受信音が「ピッピッ」と鳴ります。これで設定完了です。

お願い

●この設定を有効にするには、節電設定ONに切り換える必要があります。
節電設定ONに切り換えるには、まず上記の設定完了後に基本画面に戻り、
節電 ボタンを押してドット表示部が「節電中」になったことを確認してください。
「3−6　節電設定のON/OFFを切り換える」をご覧ください。▶13ページ



5−6−3　温度自動復帰

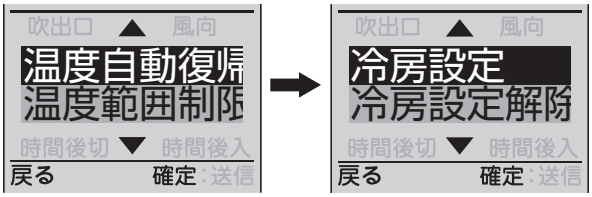
リモコンの設定温度を変更しても
一定時間後に設定した温度に戻します。
※自動運転時には機能しません。

操作方法

1 **この設定を行うには、はじめに「5−6−1　省エネ・節電メニューを表示する」の操作を行ってください。**
▶30ページ

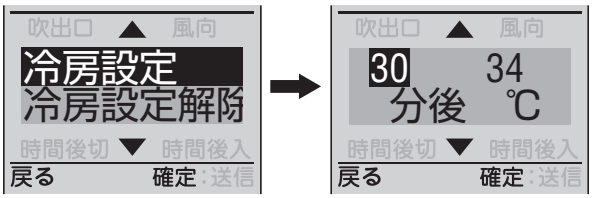
2 **▲または▼ボタンを押して**
温度自動復帰を選択します。

確定ボタンを押します。
ドット表示部に下記のサブメニューが表示されます。
- ●冷房設定
- ●冷房設定解除
- ●暖房設定
- ●暖房設定解除



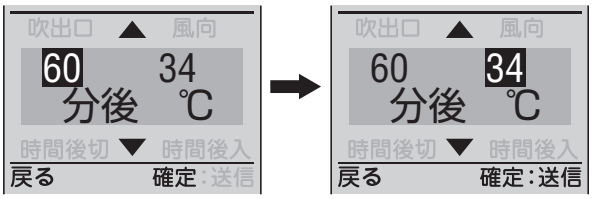
3 **▲または▼ボタンを押して、**
冷房設定または暖房設定を選択します。

確定ボタンを押します。
ドット表示部の左側に時間、右側に温度が表示されます。
※反転している部分が選択中の項目です。



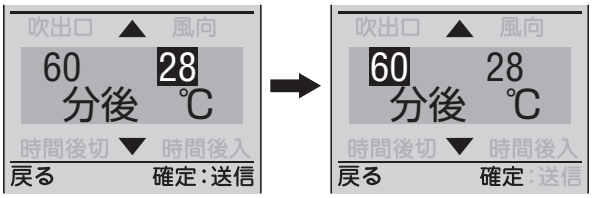
4 **▲または▼ボタンを押して、**
自動復帰する時間を設定します。
※30〜120分の範囲で、30分単位で設定できます。

確定ボタンを押します。
反転部分が右側の温度表示に移動します。



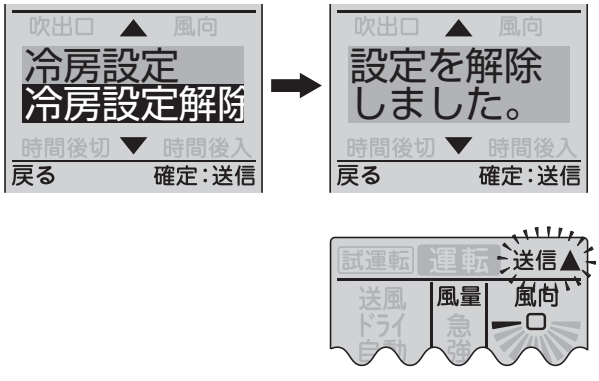
5 **▲または▼ボタンを押して、**
自動復帰する温度を設定します。
※温度範囲は、冷房：20〜35°、暖房：15〜30℃です。

確定ボタンを押します。
反転部分が左側の時間設定に移動します。
また、「送信▲」表示が2度点滅して、室内ユニットの受信音が「ピッピッ」と鳴ります。これで設定完了です。



**●温度自動復帰の設定を解除する場合**
3の手順で、解除メニューを選択します。

確定ボタンを押します。
ドット表示部に「設定を解除しました。」が約1秒間表示されます。
さらに、「送信▲」表示が2度点滅して、室内ユニットの受信音が「ピッピッ」と鳴ります。これで解除は完了です。



3P308027-1E

5−6−4　温度範囲制限

設定温度の範囲を制限します。
※自動運転時には機能しません。

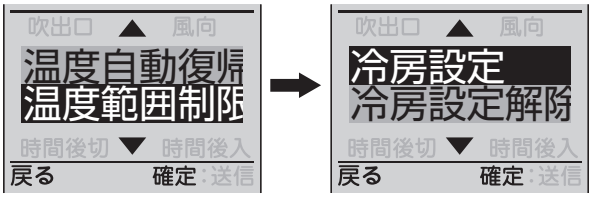
操作方法

1 **この設定を行う前に運転停止中であることを確認してください。**
運転中に設定を変更した際、設定範囲内で運転しない場合があります。
はじめに「5−6−1　省エネ・節電メニューを表示する」の操作を行ってください。
▶30ページ

2 **▲または▼ボタンを押して**
温度範囲制限を選択します。

確定ボタンを押します。

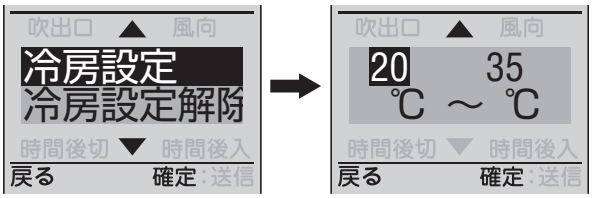
ドット表示部に下記のサブメニューが表示されます。
- ●冷房設定
- ●冷房設定解除
- ●暖房設定
- ●暖房設定解除



3 **▲または▼ボタンを押して、**
冷房設定または暖房設定を選択します。

確定ボタンを押します。

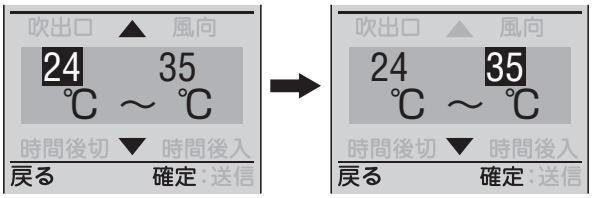
ドット表示部の左側に最低温度、右側に最高温度が表示されます。
※反転している部分が選択中の項目です。



4 **▲または▼ボタンを押して、**
最低温度を設定します。
※最低温度下限は、冷房時：20℃・暖房時15℃です。

確定ボタンを押します。

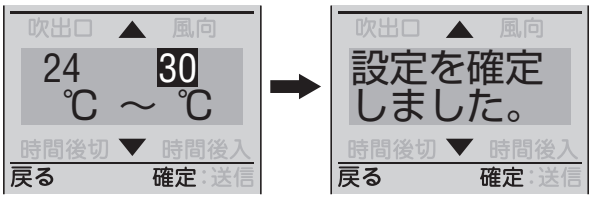
反転部分が右側の最高温度表示に移動します。



5 **▲または▼ボタンを押して、**
温度範囲制限を設定します。
※最高温度上限は、冷房時：35℃・暖房時30℃です。

確定ボタンを押します。

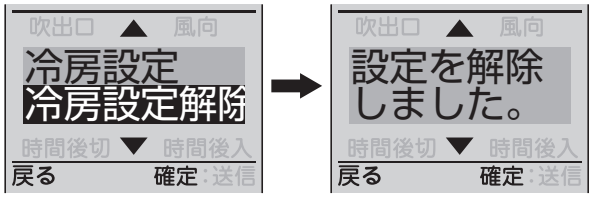
ドット表示部に「設定を確定しました。」が約1秒間表示されると設定完了です。



**●温度範囲制限の設定を解除する場合**
3の手順で、解除メニューを選択します。

確定ボタンを押します。

ドット表示部に「設定を解除しました。」が約1秒間表示されると解除は完了です。



5−6−5　不在時停止

人がいない状態が一定時間続いた場合、
自動で運転を停止します。

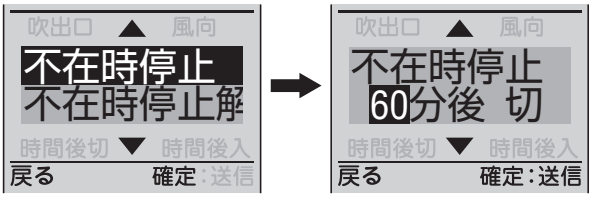
※人検知センサー機能付きの機種のみ対応しています。
サーバールームなど人のいない環境で
ご使用される場合は必ず本設定が無効となっている
ことを確認してください。

操作方法

1 **この設定を行うには、はじめに「5−6−1　省エネ・節電メニューを表示する」の操作を行ってください。**
▶30ページ

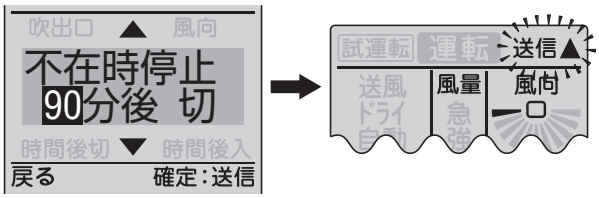
2 **▲または▼ボタンを押して**
不在時停止を選択します。

確定ボタンを押します。
ドット表示部に不在時停止時間が表示されます。



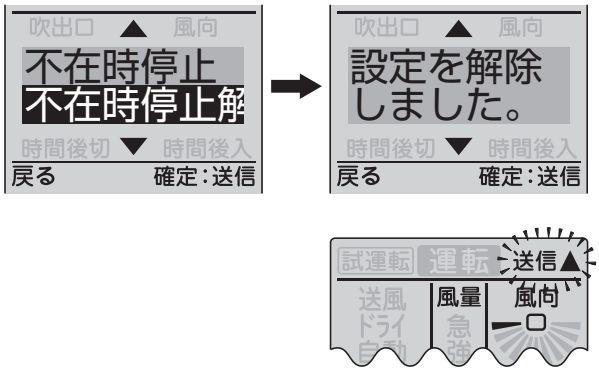
3 **▲または▼ボタンを押して、**
不在時停止時間を設定します。
※60〜180分の範囲で、30分単位で設定できます。

確定ボタンを押します。
「送信▲」表示が2度点滅して、室内ユニットの受信音が
「ピッピッ」と鳴ります。これで設定は完了です。



**●不在時停止の設定を解除する場合**
2の手順で、不在時停止解除を選択します。

確定ボタンを押します。
ドット表示部に「設定を解除しました。」が約1秒間表示されます。
さらに、「送信▲」表示が2度点滅して、室内ユニットの受信音が
「ピッピッ」と鳴ります。これで解除は完了です。



5−6−6　不在時省エネ

人がいない状態が一定時間続いた場合、
自動で空調目標温度を変化させて
能力を制限した運転を行います。

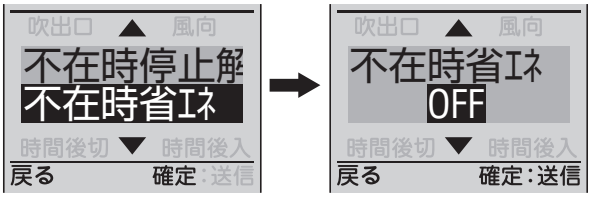
※人検知センサー機能付きの機種のみ対応しています。
サーバールームなど人のいない環境で
ご使用される場合は必ず本設定が無効となっている
ことを確認してください。

操作方法

1 **この設定を行うには、はじめに「5−6−1　省エネ・節電メニューを表示する」の操作を行ってください。**
▶30ページ

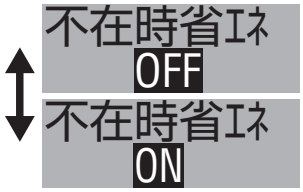
2 **▲または▼ボタンを押して**
不在時省エネを選択します。

確定ボタンを押します。
ドット表示部に、「不在時省エネOFF」が表示されます。

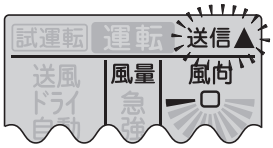


3 **●不在時省エネを設定(ON)する場合は、**
▲または▼ボタンを押して「不在時省エネON」を選択します。

●設定した不在時省エネを解除(OFF)する場合は、
▲または▼ボタンを押して「不在時省エネOFF」を選択します。



確定ボタンを押します。
「送信▲」表示が2度点滅して、室内ユニットの受信音が「ピッピッ」と鳴ります。
これで設定または解除は完了です。



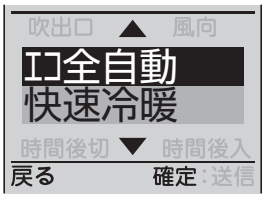
5−7　連絡先表示

サービス連絡先の電話番号を表示します。

操作方法

1　**メニューボタンを押します。**

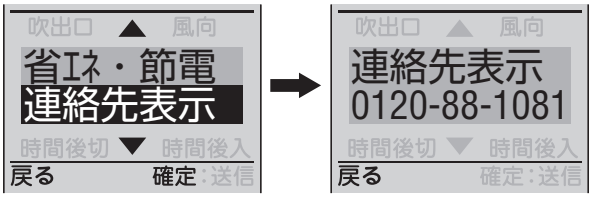
ドット表示部にメニューが表示されます。



2　**▲または▼ボタンを押して**
連絡先表示を選択します。

確定ボタンを押します。

ドット表示部にコンタクトセンターの電話番号が表示されます。



5−8　ドラフト低減

風向自動(エコ全自動)設定時にセンサーが人を検知すると、
風向を水平吹きにして、風あたりによる不快感を低減させます。

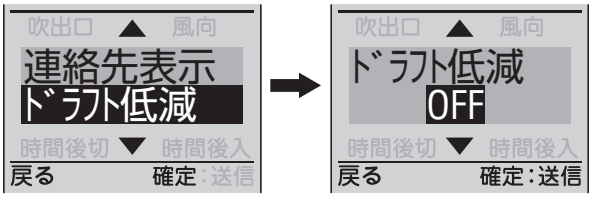
※人検知センサー機能付きの機種のみ対応しています。
※この機能は初期状態で「ドラフト低減ON」となっています。

操作方法

1 **メニューボタンを押します。**
ドット表示部にメニューが表示されます。

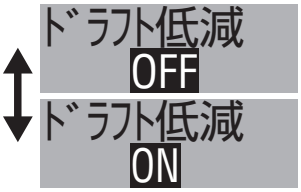
2 **▲または▼ボタンを押して**
ドラフト低減を選択します。

確定ボタンを押します。
ドット表示部に、「ドラフト低減OFF」が表示されます。

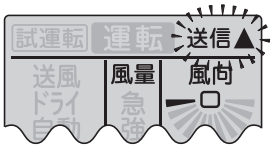


3 **●ドラフト低減を設定(ON)する場合は、**
▲または▼ボタンを押して「ドラフト低減ON」を選択します。

●設定したドラフト低減を解除(OFF)する場合は、
▲または▼ボタンを押して「ドラフト低減OFF」を選択します。



確定ボタンを押します。
「送信▲」表示が2度点滅して、室内ユニットの受信音が「ピッピッ」と鳴ります。
これで設定または解除は完了です。



5

5−9　バックライト調整

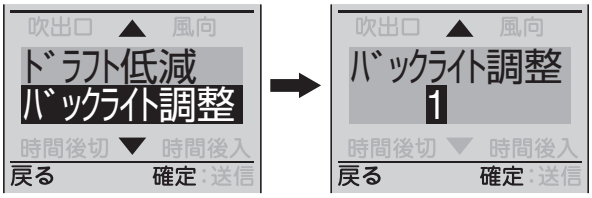
液晶表示部のバックライト(画面の明るさ)の調整を行います。

操作方法

1 **メニューボタンを押します。**
ドット表示部にメニューが表示されます。

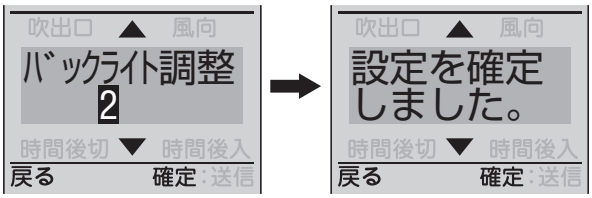
2 **▲または▼ボタンを押して**
バックライト調整を選択します。

確定ボタンを押します。
ドット表示部に、現在設定中のバックライトの
明るさレベルが表示されます。



3 **▲または▼ボタンを押して**
明るさレベルを設定します。
※明るさのレベルは1～3の3段階です。

確定ボタンを押します。
ドット表示部に、「設定を確定しました。」と表示されると
設定は完了です。



5−10 コントラスト調整

液晶表示部の濃度の調整を行います。

操作方法

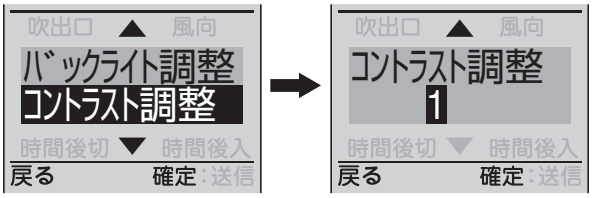
1 **メニューボタンを押します。**

ドット表示部にメニューが表示されます。

2 **▲または▼ボタンを押して**
コントラスト調整を選択します。

確定ボタンを押します。

ドット表示部に、現在設定中のコントラストのレベルが表示されます。

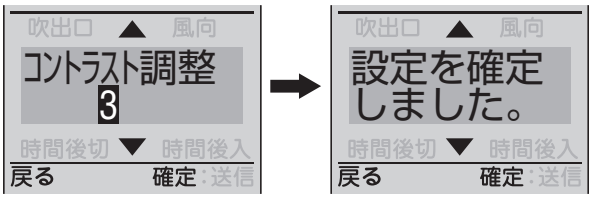


3 **▲または▼ボタンを押して**
コントラストのレベルを設定します。

※コントラストのレベルは1〜10の10段階です。

確定ボタンを押します。

ドット表示部に、「設定を確定しました。」と表示されると設定は完了です。



5

5−11 応急運転

リモコンが使えないときには、応急運転ボタンで
室内ユニットを運転・停止させることができます。

※応急運転ボタンは室内ユニットの表示部にあります。
※運転モード・風量は、直前の設定で運転します。

操作方法

運転を開始するとき

応急運転ボタンを押します。

運転を停止するとき

もう一度応急運転ボタンを押します。

※表示部や応急運転ボタンの形式や位置は、機種によって異なります。
ご使用の機種の表示部については、
「2−4　室内ユニットの表示部について」をご覧ください。▶10ページ

お願い

●電池を新しいものに交換してもリモコンが使えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

6 お手入れについて

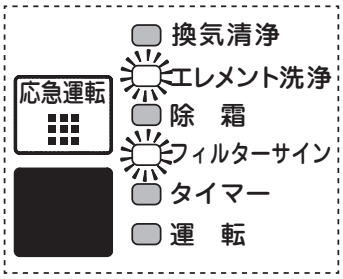
6−1 フィルターサインリセットのしかた

操作方法

1 **フィルターまたはエレメントのお手入れ時期になると、ユニットの表示部の下記のランプが点灯します。**

フィルターサイン……エアフィルターの清掃
エレメント洗浄……エレメントの洗浄

それぞれのランプが点灯したら、室内ユニットや空気清浄ユニットに付属の取扱説明書をご覧のうえ、適切なお手入れを行ってください。



※表示部の形式は機種によって異なります。

お願い

●清掃をされる際には安全のため運転/停止ボタンを必ず停止にし、電源を遮断してください。

2 **お手入れ終了後、フィルターサインランプまたはエレメント洗浄ランプをリセット(消灯)します。**

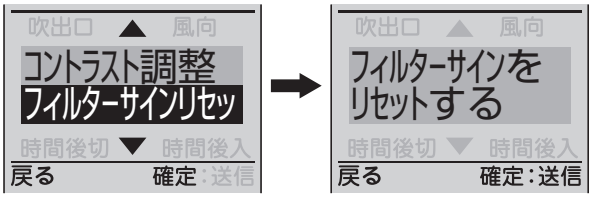
[メニュー]ボタンを押します。

ドット表示部にメニューが表示されます。

3 **[▲]または[▼]ボタンを押して フィルターサインリセット を選択します。**

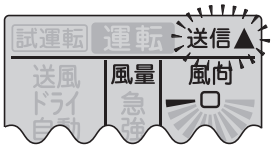
[確定]ボタンを押します。

ドット表示部に「フィルターサインをリセットする」が表示されます。



もう1度、[確定]ボタンを押します。

「送信▲」表示が2度点滅して、室内ユニットの受信音が「ピッピッ」と鳴り
ユニットの表示部のフィルターサインランプまたはエレメント洗浄ランプが消灯します。



⚠ 注意	❗	**●お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する** 電源を遮断しないと、感電やけがの原因になることがあります。

6−2 液晶表示部・本体のお手入れのしかた

●リモコンの液晶表示部および本体が汚れたときには、やわらかい布でからぶきしてください。
●汚れがとれないときは、水で薄めた中性洗剤を布にしみこませて固く絞り、汚れをふき取ったあと、からぶきしてください。

お願い

シンナー・有機溶剤・強酸系などは使用しないでください。

⚠ 警告	禁止	**●可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない** **ベンジン・シンナーで本体をふかない** ひび割れ・故障の原因になります。
⚠ 注意	水ぬれ禁止	**●リモコンを水洗いしない** 漏電によって故障の原因になることがあります。

7 知っておいてください

7−1 故障かな？と思ったら

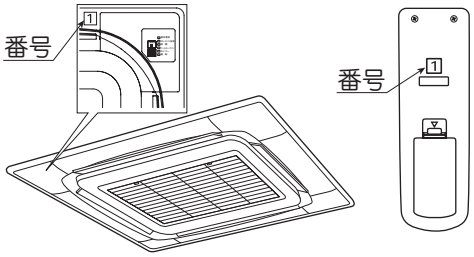
次の場合は、故障ではありません

症状		原因
運転しない	停止後、すぐに運転したとき	室内ユニット表示部の運転ランプが点灯していれば正常です。機械に無理がかからないようコントロールしているためです。3分後に自動で運転を開始します。
	温度ボタンを押して、すぐ元の設定に戻したとき	
	室内ユニットの受信音が「ピッ ピッ ピッ」と鳴ったとき（正常時は「ピッ ピッ」）	集中機器により管理されているためです。
	暖房運転開始後、室内ユニット表示部の除霜ランプがついたとき	冷たい空気が吹き出すのを防ぐためです。
	室外ユニットが停止	室内温度が設定温度に達しているためです。 室内ユニットは送風運転となります。
ときどき止まる	リモコンに「U4」・「U5」が表示され、停止するが数分で運転を再開する	エアコン以外の機器からの電気雑音（ノイズ）によりユニット間の通信が遮断されて停止しているためです。 電気雑音（ノイズ）がなくなると自動で運転を再開します。
冷房・暖房の切換えができない	室内ユニットの受信音が「ピッ ピッ ピッ」と鳴ったとき	集中機器により管理されている室内ユニットに、できないモードを設定したためです。 ▶10ページ
風量が設定どおりにならない	風量ボタンを押しても風量が変わらない	〈冷房時〉除霜運転のときは、溶けた水が飛ぶのを防ぐため風量「弱」（3・2方向吹きの場合は「微風」）運転になります。
		〈暖房時〉室内温度が設定温度に達したときは室外ユニットは停止し、室内ユニットは微風運転になります。 風量が変わるまでに時間がかかります。
風向が設定どおりにならない	リモコン表示と風向が異なる 風向スイングができない	自動でコントロールされているためです。 ▶14ページ
表示が一部しか出ない	運転しても、運転の表示しか出ていない 表示が出ても、しばらくして運転以外の表示は消える	対応する室内ユニットがマルチ機でリモコンがマルチ設定されているためです。
表示が出なくなるまたは、すべて出る	リモコンのボタンを押したとき	電池切れのためです。
表示が消える	ボタン操作後： ・約7秒後にバックライトが消える ・約10秒後にドット表示部の表示が消える ・約60秒後にドット表示部の表示が消える ・約120秒後に液晶表示部の表示が消える	リモコンの電池の消耗を抑えるためです。 ▶7ページ
よく冷えない	マイコンドライ運転中	マイコンドライ運転は、室内温度をできるだけ下げないような運転をするためです。▶14ページ
節電機能が使えない	節電ボタンを押したとき	〈ワイヤードリモコン併設時〉 ワイヤレスリモコンは従リモコンになるためです。 ワイヤードリモコンで操作してください。▶17ページ
		〈ワイヤードリモコン併設時以外〉 室内ユニットが節電機能に対応していないためです。
使いたいメニュー項目が表示されない	メニュー画面表示時に使用したい機能が表示されないとき	〈ワイヤードリモコン併設時〉 ワイヤレスリモコンは従リモコンになるためです。 ワイヤードリモコンで操作してください。▶17ページ
		〈ワイヤードリモコン併設時以外〉 室内ユニットが機能に対応していないためです。

●「3−7 運転の特性」を一読してください。▶14ページ

7−2　サービスを依頼される前に

サービスを依頼される前にお調べください

症状	原因	処置
全然運転しない	受光部に日光や、強い照明光が当たっていませんか？	受光部に光を当てないようにしてください。
	リモコンの電池は入っていますか？	電池を入れてください。
	室内ユニットの番号とワイヤレスリモコンの番号が一致していますか？  	室内ユニットの番号と同じ番号のリモコンで操作してください。 番号の異なるリモコンの信号は受け付けません。 （番号のない場合は「1」を示します。）
よく冷えない、よく暖まらない	設定温度は適正ですか？	▶13ページ
	設定風量が「弱」になっていませんか？	▶12ページ
	風の吹出方向は適正ですか？	▶12ページ
送信しても受信音がしない	リモコンと受光部の間にさえぎるものはありませんか？	さえぎるものがない状態で受光部に向けて送信してください。
	室内ユニットが非対応の機能ではありませんか？	初期設定値の確認をしてください。 ▶46ページ

以上のことをお調べになったうえで、なお調子が良くないときはご自分で修理しないで、お買い上げの販売店にご連絡ください。

7−3　次の場合は販売店にご連絡ください

⚠ 警告	❗	**●異常時（焦げ臭いなど）は、運転を停止して電源ブレーカーを遮断する** 異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。 お買い上げの販売店にご連絡ください。

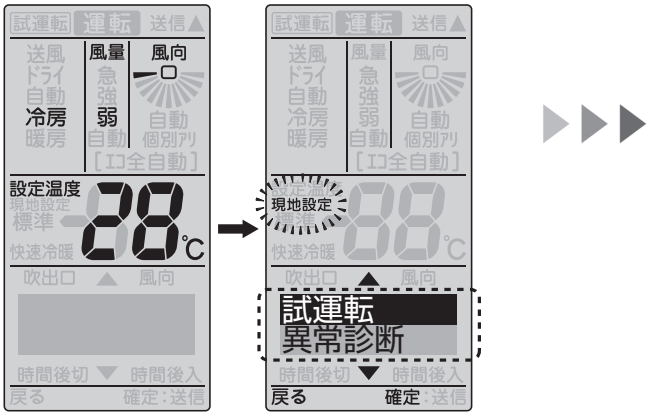
7−4　異常診断のしかた

エアコンが異常停止すると、ユニット表示部の運転ランプが点滅します。
下記の手順でリモコンを操作し、表示されたエラーコードをお買い上げの販売店にご連絡ください。

※表示部の形式は機種によって異なります。

異常診断メニューを表示する

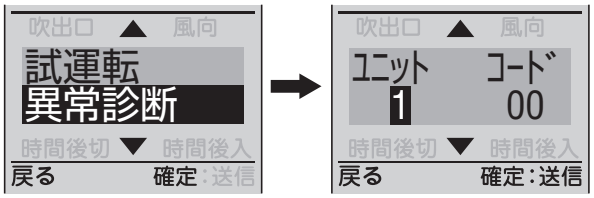
●基本画面が表示された状態で、
戻る ボタンを約4秒間押します。
「現地設定」表示が点灯し、ドット表示部にメニューが表示されます。



※運転モード・風量・風向・設定温度の表示は消えます。

●▲ または ▼ ボタンを押して、
異常診断 を選択します。

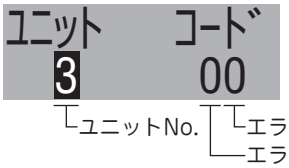
● 確定 ボタンを押します。
ドット表示部に、ユニット名とエラーコードが表示されます。



異常停止したユニットとエラーコードを確認する

●▲ または ▼ ボタンを押して、
運転ランプが点滅しているユニットNo.を選択します。

●ユニットNo.を選択したときの受信音を確認します。



※反転している部分が現在選択中の項目です。

●受信音によってユニットの状態およびエラーコードの確認手順は異なります。
下表をご覧のうえ、次ページの手順を実施してください。

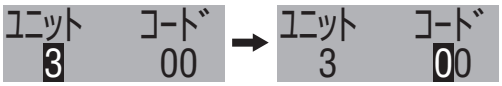
受信音	ユニットの状態
3回音「ピッピッピッ」	異常あり：次ページの手順でエラーコードの**上位桁**および**下位桁**を確認してください。
2回音「ピッピッ」	異常あり：次ページの手順でエラーコードの**下位桁**を確認してください。
1回音「ピッ」	異常あり：次ページの手順でエラーコードの**上位桁**を確認してください。
連続音「ピー」	異常あり：現在表示しているコードが、エラーコードです。 ただし、「00」を表示して連続音が鳴った場合、このユニットは異常ありません。
音なし	このユニットは接続されていません。

3回音「ピッピッピッ」の場合

エラーコードの上位桁・下位桁を特定してください。

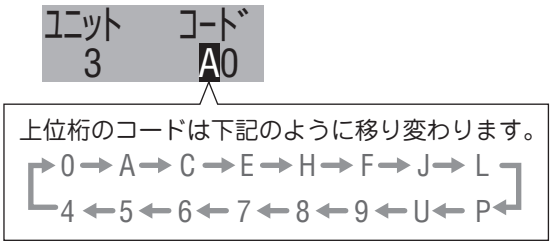
①ユニットNo.を選択した状態で 確定 ボタンを押します。

エラーコードの上位桁が反転した状態に変わります。



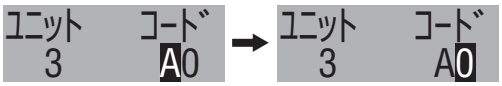
② ▲ または ▼ ボタンを押して上位桁のコードを特定します。

ボタンを押すたびに、ユニットの受信音が「ピッピッピッ(3回音)」と鳴りますが、該当する上位桁のコードを選択したときは、「ピッピッ(2回音)」に変わります。
受信音が「ピッピッ」と鳴るまで押し続けてください。



③ 確定 ボタンを押します。

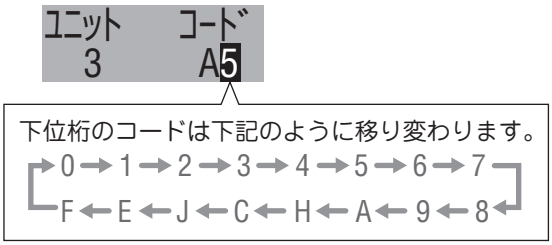
エラーコードの下位桁が反転した状態に変わります。



④ ▲ または ▼ ボタンを押して下位桁のコードを特定します。

ボタンを押すたびに、ユニットの受信音が「ピッピッ(2回音)」と鳴りますが、該当する上位・下位桁のコードを選択したときは、「ピー(連続音)」に変わります。
受信音が「ピー」と鳴るまで押し続けてください。
受信音が「ピー」と鳴るとエラーコードは確定です。

※操作例では、ユニット「3」のエラーコードは「A5」となります。

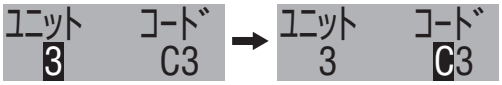


2回音「ピッピッ」の場合

エラーコードの下位桁を特定してください。

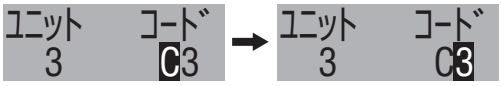
①ユニットNo.を選択した状態で 確定 ボタンを押します。

エラーコードの上位桁が反転した状態に変わります。



②もう一度 確定 ボタンを押します。

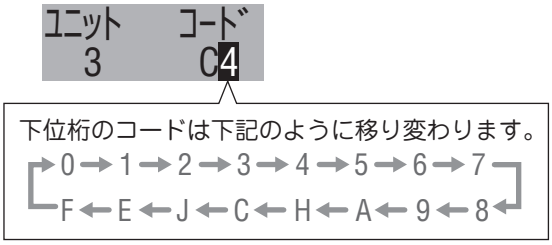
エラーコードの下位桁が反転した状態に変わります。



③ ▲ または ▼ ボタンを押して下位桁のコードを特定します。

ボタンを押すたびに、ユニットの受信音が「ピッピッ(2回音)」と鳴りますが、該当する上位・下位桁のコードを選択したときは、「ピー(連続音)」に変わります。
受信音が「ピー」と鳴るまで押し続けてください。
受信音が「ピー」と鳴るとエラーコードは確定です。

※操作例ではユニット「3」のエラーコードは「C4」となります。

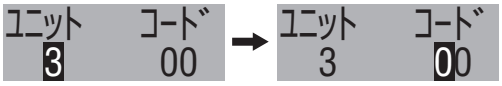


1回音「ピッ」の場合

エラーコードの上位桁を特定してください。

①ユニットNo.を選択した状態で 確定 ボタンを押します。

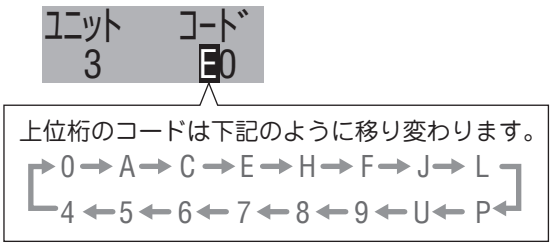
エラーコードの上位桁が反転した状態に変わります。



② ▲ または ▼ ボタンを押して上位桁のコードを特定します。

ボタンを押すたびに、ユニットの受信音が「ピッ(1回音)」と鳴りますが、該当する上位・下位桁のコードを選択したときは、「ピー(連続音)」に変わります。
受信音が「ピー」と鳴るまで押し続けてください。
受信音が「ピー」と鳴るとエラーコードは確定です。

※操作例ではユニット「3」のエラーコードは「E0」となります。



基本画面に戻るには、 戻る ボタンを数回押してください。

7−5　初期設定の確認のしかた

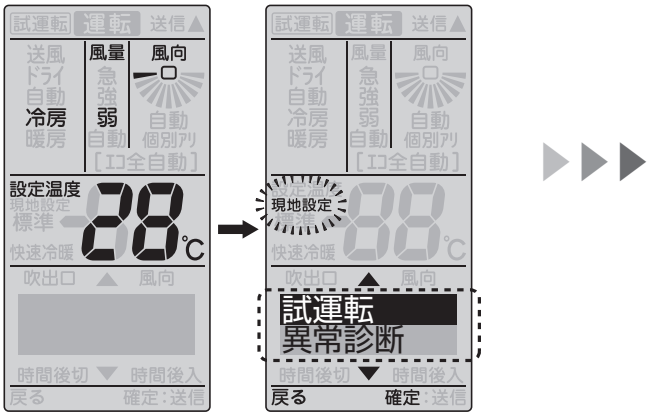
機能の有無についてご不明な点がございましたら下記の手順でリモコンを操作し、表示された初期設定値をご確認のうえお買い上げの販売店にお問合わせください。

初期設定値確認メニューを表示する

●基本画面が表示された状態で、

戻る ボタンを約4秒間押します。

「現地設定」表示が点灯し、ドット表示部にメニューが表示されます。



※運転モード・風量・風向・設定温度の表示は消えます。

●▲ または ▼ ボタンを押して、

初期設定値確認 を選択します。

●確定 ボタンを押します。

ドット表示部に、初期設定値確認画面が表示されます。

※上記の設定値は一例です。

7−6　アフターサービスについて

⚠ 警告	禁止	**●分解や改造・修理をしない** 故障の原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。

■修理を依頼されるときは次のことをお知らせください。

- ●機種名
- ●据付年月日
- ●故障状況 —— できるだけ詳しく
- ●ご住所・お名前・お電話番号

■移設および廃棄などについて

専門の技術が必要ですので、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
なお、この場合は、移設に必要な実費をいただきます。

■無料修理保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。
（保証期間…据付け日から1年）

■ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

8 お客様ご相談窓口

商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問合わせは下記の ご購入店 へご連絡ください。

ご購入店名	TEL	据付年月日　　年　　月　　日

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。
電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

コンタクトセンター
（お客様総合窓口）

非通知設定の方は、最初に **186** をダイヤルしていただき、発信番号の通知をお願いしております。

フリーダイヤル 0120-88-1081（全国共通フリーダイヤル）
FAXでのお問合わせは　0120-07-0881（FAX専用フリーダイヤル）
http://www.daikincc.com（ご相談対応ホームページ）

営業時間：24時間365日対応いたします。
対応業務：商品に関するすべてのご相談・お問合わせをお受けいたします。
（修理、メンテナンス、取扱い、機種選定および別売品・消耗品・補用部品の販売など）

1205

ダイキン工業株式会社
本　　社　大阪市北区中崎西二丁目4番12号　梅田センタービル
郵便番号 530-8323
東京支社　東京都港区港南二丁目18番1号　JR品川イーストビル
郵便番号 108-0075

3P308027-1E　M11A044D　<1907> FS